

Volume
Licensing

Microsoft Online Services
サービスレベル契約
2023 年 3 月 3 日

目次

目次	2	APPLICATION INSIGHTS	25
はじめに	4	AZURE APPLIED AI サービス	25
一般条件	5	AZURE ARC	26
サービス固有の条件	7	AUTOMATION	26
MICROSOFT DYNAMICS 365	7	AZURE BACKUP	27
DYNAMICS 365 BUSINESS CENTRAL	7	AZURE BASTION	27
DYNAMICS 365 COMMERCE	7	BATCH	28
DYNAMICS 365 CUSTOMER INSIGHTS	8	BIZTALK SERVICES	28
DYNAMICS 365 CUSTOMER SERVICE ENTERPRISE、DYNAMICS 365		AZURE BOT SERVICE	29
CUSTOMER SERVICE PROFESSIONAL、DYNAMICS 365 CUSTOMER SERVICE		AZURE CACHE FOR REDIS	29
INSIGHTS; DYNAMICS 365 FIELD SERVICE; DYNAMICS 365 MARKETING	8	CLOUD SERVICES	30
DYNAMICS 365 FRAUD PROTECTION	9	AZURE COGNITIVE SEARCH	31
DYNAMICS 365 GUIDES	9	AZURE COGNITIVE SERVICES	31
DYNAMICS 365 HUMAN RESOURCES	9	AZURE COMMUNICATION GATEWAY	32
DYNAMICS 365 INTELLIGENT ORDER MANAGEMENT	10	AZURE コミュニケーション サービス	32
DYNAMICS 365 REMOTE ASSIST	10	AZURE CONFIDENTIAL LEDGER	33
DYNAMICS 365 SALES ENTERPRISE、DYNAMICS 365 SALES PROFESSIONAL ..	10	AZURE CONTAINER APPS	34
DYNAMICS 365 SUPPLY CHAIN MANAGEMENT; DYNAMICS 365 FINANCE;		AZURE CONTAINER INSTANCES	34
DYNAMICS 365 PROJECT OPERATIONS	11	AZURE CONTAINER REGISTRY	35
OFFICE 365 サービス	12	コンテンツ配信ネットワーク (CDN)	35
DUET ENTERPRISE ONLINE	12	AZURE COSMOS DB	36
EXCHANGE ONLINE	12	DATA CATALOG	40
EXCHANGE ONLINE ARCHIVING	13	AZURE DATA FACTORY	40
EXCHANGE ONLINE PROTECTION	13	DATA LAKE ANALYTICS	41
MICROSOFT STREAM	14	DATA LAKE STORAGE GEN1	41
MICROSOFT TEAMS	14	AZURE DATABASE FOR MARIADB	42
MICROSOFT 365 APPS FOR BUSINESS	15	AZURE DATABASE FOR MYSQL	42
MICROSOFT 365 APPS FOR ENTERPRISE	15	AZURE DATABASE FOR POSTGRESQL	43
OFFICE 365 ADVANCED COMPLIANCE	15	AZURE DATABRICKS	45
OFFICE ONLINE	16	AZURE DDoS PROTECTION	45
OFFICE 365 ビデオ	16	AZURE DEFENDER	45
ONEDRIVE FOR BUSINESS	16	DEFENDER EXTERNAL ATTACK SURFACE MANAGEMENT	46
PROJECT	17	AZURE DEV OPS	46
SHAREPOINT ONLINE	17	AZURE DIGITAL TWINS	47
SKYPE FOR BUSINESS ONLINE	18	AZURE DNS	48
MICROSOFT TEAMS – CALLING PLAN、PHONE SYSTEM、および AUDIO		EVENT GRID	48
CONFERENCING	18	EVENT HUBS	49
MICROSOFT TEAMS – VOICE QUALITY	19	AZURE EXPRESSROUTE	49
WORKPLACE ANALYTICS	19	AZURE FIREWALL	50
YAMMER ENTERPRISE	19	AZURE FLUID RELAY	51
MICROSOFT AZURE サービスおよびプラン	20	AZURE FRONT DOOR AND AZURE FRONT DOOR (クラシック)	51
AZURE ACTIVE DIRECTORY (AZURE AD)	20	AZURE FUNCTIONS	52
AZURE ACTIVE DIRECTORY B2C	20	HDINSIGHT	52
AZURE ACTIVE DIRECTORY ドメイン サービス	21	HEALTH BOT	53
ANALYSIS SERVICES	21	AZURE INFORMATION PROTECTION	53
API MANAGEMENT サービス	21	AZURE IoT CENTRAL	54
APP CENTER	22	AZURE IoT HUB	54
APP CONFIGURATION	23	KEY VAULT	55
APP SERVICE	24	AZURE KEY VAULT MANAGED HSM	55
APPLICATION GATEWAY	24	AZURE KUBERNETES SERVICE (AKS)	56
		AZURE ラボ サービス	57
		AZURE LOAD BALANCER	57

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

Azure Load Testing	58	MICROSOFT KAIZALA PRO	94
LOG ANALYTICS (クエリの可用性に関する SLA)	58	MICROSOFT POWER APPS.....	94
LOGIC APP	59	MICROSOFT POWER VIRTUAL AGENTS	94
Azure Machine Learning	59	MICROSOFT SUSTAINABILITY MANAGER	95
Azure Machine Learning Studio (クラシック)	60	MINECRAFT: EDUCATION EDITION	95
Azure Maps	60	POWER BI EMBEDDED	96
MEDIA SERVICES.....	61	POWER BI PREMIUM	96
MICROSOFT COST MANAGEMENT	63	POWER BI PRO.....	96
MICROSOFT GENOMICS.....	64	TRANSLATOR API	97
MOBILE SERVICES	64	MICROSOFT DEFENDER FOR ENDPOINT	97
Azure Monitor.....	65	ユニバーサル印刷	98
MULTI-FACTOR AUTHENTICATION サービス.....	65	WINDOWS 365.....	98
Azure NetApp Files.....	66		
NETWORK WATCHER	66	付録 A – 電子メール配信、ウイルスの検出およびブロック、迷惑メ	
NOTIFICATION HUBS.....	67	ール対策の有効性、または誤判定に関するサービスレベルの確	
Azure Virtual Machines のオンデマンド キャパシティ予約	67	約事項	100
Azure Orbital Ground Station	68		
Azure Private 5G Core.....	69	付録 B – 稼働時間および電子メール配信に関するサービスレベ	
Azure Private Link	70	ルの確約事項	102
Azure Red Hat OpenShift	70		
REMOTE RENDERING	70		
Azure Route Server	71		
SAP HANA ON Azure Large Instances.....	72		
SCHEDULER	72		
SERVICE-BUS	73		
Azure SignalR サービス.....	74		
Azure Site Recovery	74		
SPATIAL ANCHORS	75		
Azure Spring Apps.....	76		
Azure SQL Database	76		
Azure SQL Managed Instance	78		
SQL Server Stretch Database	79		
STATIC WEB APPS.....	79		
ストレージ アカウント.....	80		
STORSIMPLE	82		
Azure Stream Analytics	82		
Azure Synapse Analytics.....	83		
Azure Time Series Insights	84		
TRAFFIC MANAGER サービス.....	85		
仮想マシン	85		
Azure Virtual Network Manager.....	87		
Azure Virtual WAN.....	87		
Azure VMware ソリューション	87		
Azure VMware Solution by CloudSimple	88		
Azure VNet NAT	89		
VPN Gateway.....	90		
Azure Web PubSub.....	90		
WINDOWS 10 IoT Core Services	91		
その他のオンライン サービス	91		
MICROSOFT DEFENDER FOR IDENTITY	91		
BING MAPS ENTERPRISE PLATFORM.....	92		
BING MAPS MOBILE ASSET MANAGEMENT	92		
MICROSOFT CLOUD APP SECURITY.....	92		
MICROSOFT POWER AUTOMATE	93		
MICROSOFT INTUNE	93		

はじめに

本書について

本 Microsoft Online Services サービス レベル契約 (以下「本 SLA」といいます) は、お客様のマイクロソフト ボリューム ライセンス契約 (以下「本契約」といいます) の一部としてマイクロソフトが作成するものです。本 SLA で使用されている用語のうち定義のないものについては、本契約における定義が適用されます。本 SLA は本 SLA に規定する Microsoft Online Services (以下「本サービス」といいます) に適用されますが、本サービスまたは本サービスに含まれるオンプレミス ソフトウェアと共にまたは関連して提供される別のブランドのサービスには適用されません。

マイクロソフトが本 SLA に規定されている各本サービスのサービス レベルを達成および維持しない場合、お客様は、月間サービス料金の一部についてクレジットの適用を受けることができます。マイクロソフトは、お客様のサブスクリプションの初回契約期間中にお客様の SLA の条件を変更することはありません。ただし、お客様がサブスクリプションを更新する場合、更新期間の開始時点における本 SLA の最新バージョンが、更新期間中適用されます。お客様に不利になる重要な変更が本 SLA に加えられる場合、マイクロソフトは 90 日以上前に通知します。お客様はいつでも、本 SLA の最新バージョンを <http://www.microsoftvolumelicensing.com/SLA> からご確認いただけます。

本書の以前のバージョン

本 SLA には、現在利用可能な本サービスに関する情報が記載されています。本書の以前のバージョンは、<http://www.microsoftvolumelicensing.com> から入手できます。必要なバージョンを探すには、リセラーまたはマイクロソフト アカウント マネージャーまでご連絡ください。

本書の説明および変更事項の概要

以下では、最近行われた本 SLA に対する追加、削除、および他の変更について説明します。また、お客様からよく寄せられるご質問に対応するため、マイクロソフトの方針に関する明確化事項についても記載しています。

追加/更新	削除
Azure Active Directory	Multi-Factor Authentication サービス
Log Analytics	

Azure Active Directory: Azure Active Directory Basic と Premium を 1 つの項目にまとめました。

Log Analytics: パブリッシュ時のエラーのために意図せずに削除された Log Analytics SLA を追加しました。

Multi-Factor Authentication サービス: パブリッシュ時のエラーのために意図せずに追加された Multi-Factor Authentication サービスを削除しました。

[目次 / 定義](#)[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

一般条件

定義

「**当該月期間**」とは、サービス クレジットの支払義務を負う暦月について、お客様が本サービスのサブスクライバーである日数を意味します。

「**当該月間サービス料金**」とは、サービス クレジットの支払義務を負う月に適用される、お客様が本サービスに対して実際に支払った合計料金を意味します。

「**ダウンタイム**」は、以下のサービス固有の条件において本サービスごとに定義されます。Microsoft Azure サービスを除き、ダウンタイムには予定されていたダウンタイムは含まれません。ダウンタイムには、以下およびサービス固有の条件に規定されている制限事項が原因で本サービスを利用できなかった時間は含まれません。

「**エラー コード**」とは、5xx の範囲の HTTP 状態コードなど、操作が失敗したことを示す表示を意味します。

「**外部接続**」とは、パブリック IP アドレスから送受信することができる、HTTP および HTTPS などのサポートされているプロトコルを介した双方向のネットワークトラフィックを意味します。

「**インシデント**」とは、ダウンタイムの原因となる (i) 単一のイベント、または (ii) 一連のイベントを意味します。

「**管理ポータル**」とは、お客様が本サービスを管理するために使用することができる、マイクロソフトが提供する Web インターフェイスを意味します。

「**予定されていたダウンタイム**」とは、ネットワーク、ハードウェア、または本サービスの保守もしくはアップグレードに関するダウンタイムの期間を意味します。マイクロソフトは、当該ダウンタイム開始の少なくとも 5 日前までに通知を公開するかお客様に通知します。

「**サービス クレジット**」とは、当該月間サービス料金のうち、マイクロソフトによる申し立ての承認後にお客様に返金される割合を意味します。

「**サービス レベル**」とは、マイクロソフトが本サービスの提供において遵守することに同意した、本 SLA に規定するパフォーマンスの指標を意味します。

「**サービス リソース**」とは、本サービス内で使用できる個々のリソースを意味します。

「**成功コード**」とは、2xx の範囲の HTTP 状態コードなど、操作が成功したことを示す表示を意味します。

「**サポート期間**」とは、本サービスの機能または別の製品もしくはサービスとの互換性がサポートされる期間を意味します。

「**ユーザー時間 (分)**」とは、月の総時間 (分) にユーザーの総数を乗じた時間から、予定されていたダウンタイムの総時間を差し引いたものを意味します。

条件

申し立て

マイクロソフトが申し立てを検討するためには、お客様はその申し立てを、マイクロソフトが当該申し立てを検証するために必要なすべての情報と共に Microsoft Corporation のカスタマー サポートに提出しなければなりません。この情報には、(i) インシデントの詳細な説明、(ii) ダウンタイムの発生日時および継続期間に関する情報、(iii) 影響を受けたユーザー (該当する場合) の数および所在地、ならびに (iv) インシデント発生時にお客様がインシデント解決のために講じた措置の説明、を含みますが、これらに限定されません。

Microsoft Azure に関連する申し立てについては、申し立ての対象インシデントが発生した請求期間 (月) の末日から 2 か月以内に、マイクロソフトがその申し立てを受理していなければなりません。他のすべての本サービスに関する申し立てについては、かかるインシデントが発生した月の翌月末までに、マイクロソフトがその申し立ておよび必要なすべての情報を受理する必要があります。たとえば、インシデントが 2 月 15 日に発生した場合、マイクロソフトは申し立ておよび必要なすべての情報を 3 月 31 日までに受理していなければなりません。

マイクロソフトは、合理的な方法で入手可能なあらゆる情報を評価して、サービス クレジットを支払うべきか否かを誠実に判断します。マイクロソフトは、当該サブスクリプション月内、かつ受領から 45 日以内に申し立てを処理するため、商業的に合理的な努力を行います。お客様は、サービス クレジットの適用を受けるためには、本契約を遵守していなければなりません。お客様に対してサービス クレジットを支払う義務があるとマイクロソフトが判断した場合、マイクロソフトはお客様の当該月間サービス料金にサービス クレジットを適用します。

お客様が複数の本サービスを (スイートとしてではなく) 購入する場合、お客様は、上記のプロセスに従って、各本サービスを個別の SLA の対象とみなし、申し立てを行うことができます。たとえば、お客様が Exchange Online および SharePoint Online の両方を (スイートの一部としてではなく) 購入し、サブスクリプションの期間中、インシデントによって両方の本サービスのダウンタイムが発生した場合、お客様は、本 SLA に基づいて 2 件の申し立てを提出することによって、2 件の個別のサービス クレジット (本サービスごとに 1 つ) の適用を受けることができます。同じインシデントが原因で特定の本サービスについて複数のサービス レベルが満たされなかった場合、お客様はそのインシデントに基づいて申し立てを行うサー

ビス レベルを 1 つだけ選ぶ必要があるものとします。特定の SLA に別途規定されている場合を除き、当該月期間において本サービスごとに認められるサービス クレジットは 1 件のみです。

サービス クレジット

サービス クレジットは、本契約および本 SLA に基づく本サービスのパフォーマンス上の問題または可用性の問題に対するお客様の唯一かつ排他的な権利です。お客様は、パフォーマンス上の問題または可用性の問題について、当該月間サービス料金を一方的に相殺することはできません。

サービス クレジットは、サービス レベルが満たされなかった特定の本サービス、サービス リソース、またはサービス層について支払われた料金にのみ適用されます。サービス レベルが個々のサービス リソースまたは別個のサービス層に適用される場合、サービス クレジットは、適宜影響を受けたサービス リソースまたはサービス層について支払われた料金にのみ適用されます。特定の本サービスまたはサービス リソースについて 1 請求月に付与されるサービス クレジットは、いかなる場合も、その請求月における当該本サービスまたはサービス リソースについてのお客様の月額サービス料金を超えることはありません。

スイートの一部としてまたは他の単一サービスとして本サービスを複数購入した場合、各本サービスの当該月間サービス料金およびサービス クレジットは比例配分されます。

お客様がリセラーから本サービスを購入した場合、お客様はサービス クレジットをリセラーから直接受領し、リセラーはマイクロソフトから直接サービス クレジットを受領します。サービス クレジットは、該当する本サービスに対してマイクロソフトが合理的な裁量によって決定する参考価格を基準とします。

制限事項

本 SLA および該当するサービス レベルは、次の要因によるパフォーマンス上の問題または可用性の問題には適用されません。

1. マイクロソフトが合理的な方法で制御不能な要因によるもの (自然災害、戦争、テロ行為、暴動、政府機関の行為、またはマイクロソフトのデータ センター外部のネットワーク障害やデバイス障害など。お客様のサイトにおけるもの、またはお客様のサイトとマイクロソフトのデータ センターとの間におけるものを含みます)
2. マイクロソフトが提供したもの以外のサービス、ハードウェアまたはソフトウェアの使用に起因するもの (帯域幅の不足に起因する問題または第三者のソフトウェアもしくはサービスに関連する問題を含みますがこれらに限定されません)
3. ネットワーク接続が場所回復性のない方法で Microsoft Datacenter の単一の場所に明示的に依存している場合、その場所で発生した障害に起因するもの
4. マイクロソフトが本サービスの使用上の改善をお客様に助言した後に、お客様が助言されたとおりの改善を実施せずに本サービスを使用したことに起因するもの
5. 本サービス、機能またはソフトウェアのプレビュー版、プレリリース版、ベータ版、または試用版 (マイクロソフトの定めるところによる) の期間中またはこれらに関して発生したもの、またはマイクロソフトのサブスクリプション クレジットを使用してなされた購入に関して発生したもの
6. お客様の従業員、代理人、下請業者、ベンダーもしくはお客様のパスワードまたは機器を使用してマイクロソフトのネットワークにアクセスできる者が許可されていない行為を行ったことまたは必要な行為を行わなかったことに起因するもの、またはお客様が適切なセキュリティ対策に従わなかったことに起因するもの
7. お客様が、所要構成要件を遵守せず、サポート対象プラットフォームを使用せず、利用規定に従わなかったことに起因するもの、または、お客様が本サービスの機能に適合しない (サポートされていない操作の実行を試みることなど)、またはマイクロソフトから公開されているガイダンスに適合しない方法で本サービスを使用したことによるもの
8. 誤った入力、命令、または引数に起因するもの (存在しないファイルに対するアクセス要求など)
9. お客様が規定のクォータを超える操作を実行しようとしたこと、またはマイクロソフトが不正行為と疑われる行為を調整したこと、に起因するもの
10. 関連するサポート期間以外で本サービスの機能をお客様が使用したことに起因するもの
11. インシデント発生の時点で予約済みであっても未払のライセンス
12. ダウンタイムが発生し、稼働率の計算から除外される再開、停止、開始、フェールオーバー、スケール計算、スケール ストレージなどお客様が開始した操作。
13. パッチを適用するためのダウンタイムが発生し、インフラストラクチャが稼働率の計算から除外される月間メンテナンス期間。

オープン、オープン バリュー、およびオープン バリュー サブスクリプション ボリューム ライセンス契約を通じて購入された本サービス、ならびにプロダクト キーの形態で購入された Office 365 Small Business Premium スイートに含まれる各本サービスでは、サービス料金に基づくサービス クレジットの適用を受けることはできません。これらの本サービスにおいては、お客様が適用を受けることができるサービス クレジットは、サービス料金ではなくサービス時間 (例: 日数) の形態で返金されます。また、「当該月間サービス料金」という記述は「当該月期間」に変更されます。

[目次 / 定義](#)

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

サービス固有の条件

Microsoft Dynamics 365

Dynamics 365 Business Central

ダウンタイム: エンド ユーザーがインスタンスにログインすることができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Dynamics 365 Commerce

用語の追加定義:

「**アクティブ テナント**」とは、(A) パートナー アプリケーション サービスにデプロイされ、かつ、(B) ユーザーがログインできるアクティブ データベースを保有する、管理ポータル内のアクティブな高可用性運用トポロジを備えたテナントを意味します。

「**パートナー アプリケーション サービス**」とは、(A) お客様の組織の実際の取引を処理するために使用され、かつ、(B) お客様のパートナーが該当するパートナー アプリケーションについて選択したいいずれかのスケール単位以上の予約コンピューティングおよびストレージリソースを持つプラットフォーム上に構築され、当該プラットフォームと組み合わせて使用されるパートナー アプリケーションを意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、アクティブ テナントがアクティブな高可用性運用トポロジを使用してパートナー アプリケーション サービスにデプロイされていた、1 請求月間における合計累積時間 (分) を意味します。

「**プラットフォーム**」とは、本サービスのクライアント フォーム、SQL サーバー レポート、バッチ処理、および API エンドポイント、または商取引もしくは小売目的でのみ使用される本サービスの Retail API を意味します。

「**スケール単位**」とは、コンピューティングおよびストレージリソースがパートナー アプリケーション サービスに対して追加または削除される一定数量の差分を意味します。

「**サービス インフラストラクチャ**」とは、マイクロソフトが本サービスに関連して提供する認証、コンピューティング、およびストレージリソースを意味します。

ダウンタイム: 有効期限内のプラットフォームまたはサービス インフラストラクチャの障害 (自動化された稼働状況の監視およびシステム ログからマイクロソフトが判断します) により、エンド ユーザーがアクティブ テナントにアクセスできない期間です。ダウンタイムには、予定されていたダウンタイム、本サービスのアドオン機能を利用できなかった期間、お客様が本サービスを改変したために本サービスにアクセスできなかった期間、またはスケール単位の容量を超過した期間は含まれません。

月間稼働率: 1 暦月の所定のアクティブ テナントの月間稼働率は、次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Dynamics 365 Customer Insights

ダウンタイム: エンド ユーザーが環境にログインすることができない期間です。ダウンタイムには、予定されていたダウンタイム、本サービスのアドオン機能を利用できなかった期間、またはお客様が本サービスを改変したために本サービスにアクセスできなかった期間は含まれません。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Dynamics 365 Customer Service Enterprise、Dynamics 365 Customer Service Professional、Dynamics 365 Customer Service Insights; Dynamics 365 Field Service; Dynamics 365 Marketing

ダウンタイム: 適切な権限を有するエンド ユーザーが本サービスのデータの読み取りまたは書き込みを行うことができない期間。ただし、サービスのアドオン機能を利用できなかった時間は含まれません。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

Dynamics 365 Fraud Protection

ダウンタイム: 適切な権限を有するエンド ユーザーが本サービスのデータの読み取りまたは書き込みを行うことができない期間です。ただし、サービスのアドオン機能を利用できなかった時間は含まれません。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{月内時間(分)} - \text{DFP サービスを使用できなかった時間(分)}}{\text{月内時間(分)}} \times 100$$

外部 DNS を介したサービスのウォッチドッグ ping テストが成功している場合、任意の間隔 (分) でサービスを使用できるとみなされます。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Dynamics 365 Guides

用語の追加定義

ダウンタイム: 適切な権限を有するエンド ユーザーが本サービスのデータの読み取りまたは書き込みを行うことができない期間。エンド ユーザーが通話の開始または参加ができない期間。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

* ダウンタイムには予定されていたダウンタイムは含まれません。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.5% 未満	25%
99% 未満	50%

[目次](#) / [定義](#)

Dynamics 365 Human Resources

用語の追加定義:

「**アクティブ テナント**」とは、ユーザーがログインできるアクティブ データベースを保有する、管理ポータル内のアクティブな高可用性運用トポロジを備えたテナントを意味します。

ダウンタイム: 適切な権限を有するエンド ユーザーが本サービスのデータの読み取りまたは書き込みを行うことができない期間です。ダウンタイムには予定されていたダウンタイムは含まれません。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.5% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Dynamics 365 Intelligent Order Management

ダウンタイム: 適切な権限を有するエンド ユーザーが本サービスのデータの読み取りまたは書き込みを行うことができない期間です。ただし、サービスのアドオン機能を利用できなかった時間は含まれません。ダウンタイムには予定されていたダウンタイムは含まれません。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Dynamics 365 Remote Assist

用語の追加定義

ダウンタイム: エンド ユーザーがインスタント メッセージングの会話、通話の開始または参加ができない期間*。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{U \text{ ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

* インスタント メッセージングの会話は一部のプラットフォームでのみ提供

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%

[目次](#) / [定義](#)

Dynamics 365 Sales Enterprise、Dynamics 365 Sales Professional

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

ダウンタイム: 適切な権限を有するエンド ユーザーが本サービスのデータの読み取りまたは書き込みを行うことができない期間です。ただし、サービスのアドオン機能を利用できなかった時間は含まれません。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Dynamics 365 Supply Chain Management; Dynamics 365 Finance; Dynamics 365 Project Operations

用語の追加定義:

「**アクティブ テナント**」とは、(A) パートナー アプリケーション サービスにデプロイされ、かつ、(B) ユーザーがログインできるアクティブ データベースを保有する、管理ポータル内のアクティブな高可用性運用トポロジを備えたテナントを意味します。

「**パートナー アプリケーション サービス**」とは、(A) お客様の組織の実際の取引を処理するために使用され、かつ、(B) お客様のパートナーが該当するパートナー アプリケーションについて選択したいいずれかのスケール単位以上の予約コンピューティングおよびストレージリソースを持つプラットフォーム上に構築され、当該プラットフォームと組み合わせて使用されるパートナー アプリケーションを意味します。

「**最大利用時間(分)**」とは、アクティブ テナントがアクティブな高可用性運用トポロジを使用してパートナー アプリケーション サービスにデプロイされていた、1 請求月間における合計累積時間(分)を意味します。

「**プラットフォーム**」とは、本サービスのクライアント フォーム、SQL サーバー レポート、バッチ処理、および API エンドポイント、または商取引もしくは小売目的でのみ使用される本サービスの Retail API を意味します。

「**スケール単位**」とは、コンピューティングおよびストレージリソースがパートナー アプリケーション サービスに対して追加または削除される差分を意味します。

「**サービス インフラストラクチャ**」とは、マイクロソフトが本サービスに関連して提供する認証、コンピューティング、およびストレージリソースを意味します。

ダウンタイム: 有効期限内のプラットフォームまたはサービス インフラストラクチャの障害 (自動化された稼働状況の監視およびシステム ログからマイクロソフトが判断します) により、エンド ユーザーがアクティブ テナントにログインできない期間。ダウンタイムには、予定されていたダウンタイム、本サービスのアドオン機能を利用できなかった期間、お客様が本サービスを改変したために本サービスにアクセスできなかった期間、またはスケール単位の容量を超過した期間は含まれません。

月間稼働率: 1 暦月の所定のアクティブ テナントの月間稼働率は、次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間稼働率	サービス クレジット
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Office 365 サービス

Duet Enterprise Online

ダウンタイム: 適切な権限を有するユーザーが SharePoint Online サイト コレクションの一部について読み取りまたは書き込みを行うことができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

サービス レベルの例外: SharePoint Online サイトの一部について読み取りまたは書き込みを行うことができない原因が、マイクロソフトが管理していない第三者のソフトウェア、機器もしくはサービスの不具合、またはマイクロソフト自身が本サービスの一環として実行していないマイクロソフトソフトウェアにある場合、本 SLA は適用されません。

追加条件: お客様は、お客様が Duet Enterprise Online User SL の前提条件として購入した SharePoint Online Plan 2 User SL のサービス クレジットの適用を受けることができる場合に限り、Duet Enterprise Online のサービス クレジットの適用を受けることができます。

[目次](#) / [定義](#)

Exchange Online

ダウンタイム: ユーザーが Outlook Web Access を使用して電子メールを送受信することができない期間です。このサービスには予定されていたダウンタイムはありません。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

追加条件: 付録 1「電子メール配信、ウイルスの検出およびブロック、迷惑メール対策の有効性、または誤判定に関するサービス レベルの確約事項」を参照してください。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

[目次](#) / [定義](#)

Exchange Online Archiving

ダウンタイム: ユーザーがアーカイブに格納されている電子メール メッセージにアクセスすることができない期間です。このサービスには予定されていたダウンタイムはありません。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

サービス レベルの例外: 本 SLA は、オープン バリューおよびオープン バリュー サブスクリプション ボリューム ライセンス契約を通じて購入した Enterprise CAL Suite には適用されません。

[目次](#) / [定義](#)

Exchange Online Protection

ダウンタイム: ネットワークが電子メール メッセージの受信および処理を行うことができない期間です。このサービスには予定されていたダウンタイムはありません。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

サービス レベルの例外: 本 SLA は、オープン バリューおよびオープン バリュー サブスクリプション ボリューム ライセンス契約を通じて購入した Enterprise CAL Suite には適用されません。

追加条件: 付録 1「電子メール配信、ウイルスの検出およびブロック、迷惑メール対策の有効性、または誤判定に関するサービス レベルの確約事項」、および付録 2「稼働時間および電子メール配信に関するサービス レベルの確約事項」を参照してください。

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft MyAnalytics

ダウンタイム: ユーザーが MyAnalytics ダッシュボードにアクセスすることができない期間です。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Microsoft Stream

ダウンタイム: ユーザーが適切な権限を有し、コンテンツが有効である場合に、ビデオのアップロード、再生、削除またはビデオ メタデータの編集を行うことができない期間です。ただし、サポート対象外のシナリオ¹を除きます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス レベルの確約事項:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

サービス レベルの例外: 無料の Microsoft Stream については、SLA は提供されません。

¹ サポート対象外のシナリオには、サポート対象外のデバイス/OS での再生、クライアント側ネットワークの問題、およびユーザー エラーが含まれる可能性があります。

[目次 / 定義](#)

Microsoft Teams

ダウンタイム: エンド ユーザーがプレゼンス状態を表示したり、インスタント メッセージングの会話を実施したり、オンライン会議を開始したりすることができない期間です。¹

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

¹ オンライン会議機能は、Skype for Business Online プラン 2 サービスのライセンスを取得したユーザーにのみ適用されます。

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft 365 Apps for business

ダウンタイム: Office 365 のライセンス認証に関する問題が発生したために、Office アプリケーションが機能制限モードに移行している期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft 365 Apps for enterprise

ダウンタイム: Office 365 のライセンス認証に関する問題が発生したために、Office アプリケーションが機能制限モードに移行している期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Office 365 Advanced Compliance

ダウンタイム: Office 365 に関する問題が発生したために、Office 365 Advanced Compliance の Customer Lockbox コンポーネントが機能制限モードに移行している期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Office Online

ダウンタイム: 適切な権限を有するユーザーが Web アプリケーションを使用して SharePoint Online サイトに格納されている Office ドキュメントを表示および編集することができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Office 365 ビデオ

ダウンタイム: ユーザーが適切な権限と有効なコンテンツを有している場合に、ビデオ ポータルのビデオについてアップロード、表示または編集を行うことができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス レベルの確約事項:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

OneDrive for Business

ダウンタイム: ユーザーが個人の OneDrive for Business ストレージに保存されているファイルを閲覧または編集することができない期間です。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Project

ダウンタイム: 適切な権限を有するユーザーが、Project Web App が追加された SharePoint Online サイト コレクションの一部について読み取りまたは書き込みを行うことができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

SharePoint Online

ダウンタイム: 適切な権限を有するユーザーが SharePoint Online サイト コレクションの一部について読み取りまたは書き込みを行うことができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間稼働率	サービス クレジット
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Skype for Business Online

ダウンタイム: エンド ユーザーがプレゼンス状態を表示したり、インスタント メッセージングの会話を実施したり、オンライン会議¹を開始したりすることができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

¹ オンライン会議機能は Skype for Business Online プラン 2 サービスにのみ適用されます。

[目次 / 定義](#)

Microsoft Teams – Calling Plan、Phone System、および Audio Conferencing

ダウンタイム: エンド ユーザーが PSTN 通話を開始できない、PSTN を介して会議の音声にダイヤルインできない、または通話キューや自動応答を使用して通話を処理できない期間です。

月間稼働率: 各サービスの月間稼働率は、次の計算式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。クレジットは、実際に影響を受けたサービスに対してのみ支払われます。

サービス停止の原因が、マイクロソフトが管理していない第三者のソフトウェア、機器もしくはサービスの不具合、またはマイクロソフト自身が本サービスの一環として実行していないマイクロソフトソフトウェアにある場合、本 SLA は適用されません。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

Microsoft Teams – Voice Quality

本 SLA は、任意の種類の通話 (VoIP または PSTN) を行うことができるサブスクリプション内の任意の音声サービスのユーザーが行った対象通話に適用されます。

用語の追加定義:

「**対象通話**」とは、以下の両方の条件を満たす、(1 つのサブスクリプション内の) Microsoft Teams で行われた通話を意味します。

- 当該通話が、ワイヤードイーサネット上の Microsoft Teams 認定の IP 卓上電話から行われたこと。
- 当該通話に関するパケット損失、ジッター、待ち時間の問題が、マイクロソフトが管理するネットワークに起因していること。

「**総通話数**」とは、対象通話の総数を意味します。

「**低品質通話数**」とは、マイクロソフトが管理するネットワークにおいて通話品質に影響を及ぼす可能性のある多数の要因に基づいて、低品質として分類される対象通話の総数を意味します。現在の低品質通話の分類指標は、主に RTT (ラウンドトリップ時間)、パケット損失率、ジッター、パケット損失/遅延隠蔽係数などのネットワークパラメーターに基づいていますが、これは動的なもので、何百万もの Skype、Skype for Business、および Microsoft Teams の通話を使用した分析とデバイス、アルゴリズムおよびエンドユーザー評価の進化による学習結果に基づいて絶えず更新されます。

月間高品質通話率: 月間高品質通話率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{総通話数} - \text{低品質通話数}}{\text{総通話数}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間高品質通話率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Workplace Analytics

ダウンタイム: ユーザーが Workplace Analytics Web サイトにアクセスすることができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Yammer Enterprise

ダウンタイム: 5% を超えるエンドユーザーが、適切な権限を有する Yammer ネットワークの一部でメッセージの投稿または読み取りを行うことができない 10 分を超える期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft Azure サービスおよびプラン

Azure Active Directory (Azure AD)

Azure Active Directory Basic および Azure Active Directory Premium

用語の追加定義

ダウンタイム: ユーザーが Azure Active Directory サービスにログインできない期間、またはサービスに接続されたアプリケーションにユーザーがログインするために必要な認証および認証トークンが Azure Active Directory によって正常に発行されない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Active Directory B2C

用語の追加定義

「デプロイ時間(分)」とは、1 請求月間において Azure AD B2C ディレクトリがデプロイされていた総時間(分)です。

「最大利用時間(分)」とは、1 請求月間において所定の Microsoft Azure サブスクリプションのすべての Azure AD B2C ディレクトリのデプロイ時間(分)を合計した時間です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての Azure AD B2C ディレクトリにわたる時間のうち、その Azure AD B2C ディレクトリを使用できなかった合計累積時間(分)です。ユーザーによるサインアップおよびサインインを処理するすべての試行が、トークンまたは有効なエラー コードを返す、または 2 分以内に応答を返さない場合、その 1 分間は使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間(分)}} \times 100$$

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Active Directory ドメイン サービス

用語の追加定義

「**管理対象ドメイン**」とは、Azure Active Directory ドメイン サービスによってプロビジョニングおよび管理される Active Directory ドメインを意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が所定の管理対象ドメインを Microsoft Azure にデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて所定の管理対象ドメインを使用できなかった合計累積時間 (分) です。管理対象ドメインが有効になっている仮想ネットワーク内からの、管理対象ドメインに属するユーザー アカウントのドメイン認証、ルート DSE に対する LDAP バインド、またはレコードの DNS 参照に関するすべての要求が、エラー コードに終わるか、30 秒以内に成功コードが返されなかった場合に、その管理対象ドメインは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Active Directory ドメイン サービスの使用に適用されるサービス レベルおよびサービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Analysis Services

用語の追加定義

「**サーバー**」とは、Azure Analysis Services サーバーを意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて所定のサーバーが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**クライアント操作**」とは、Azure Analysis Services がサポートする登録されたすべての操作のセットを意味します。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて 1 請求月間に所定のサーバーを使用できなかった合計累積時間 (分) です。1 分間に完了したすべてのクライアント操作のうち 1% を超える操作についてエラー コードが返された場合、そのサーバーは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 所定のサーバーの月間稼働率は、次の計算式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

API Management サービス

[目次](#)

→ [はじめに](#)

→ [一般条件](#)

→ [サービス固有の条件](#)

→ [付録](#)

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間において所定の API Management インスタンスが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての API Management インスタンスにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**プロキシ**」とは、API 要求を受信して、構成された依存 API に転送する、API Management サービスのコンポーネントを意味します。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての API Management インスタンスにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、その API Management サービスを使用できなかった時間です。プロキシを通じて操作を実行しようとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、その API Management インスタンスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

単一リージョン内で展開される Consumption レベル、Basic レベル、Standard レベル、Premium レベルのサービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

2 つ以上のリージョンにわたって展開される Premium レベルのサービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

App Center

用語の追加定義

「**ビルド サービス**」とは、お客様が Visual Studio App Center でモバイル アプリケーションをビルドできるようにする機能です。

「**テスト サービス**」とは、お客様が Visual Studio App Center で実行されている物理デバイスにモバイル アプリケーションをアップロードしテストを実行できるようにする機能です。

「**プッシュ通知サービス**」とは、お客様が Visual Studio App Center を使用して、メッセージを受信するように構成された特定のデバイスにメッセージをプッシュできるようにする機能です。

Visual Studio App Center ビルド サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がビルド サービスをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、ビルド サービスを使用できなかった総時間 (分) です。お客様が開始した操作の実行を求めるビルド サービスに対するすべての HTTP 要求が 1 分間連続してエラー コードに終わるか、1 分以内に応答が返されなかった場合に、ビルド サービスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: Visual Studio App Center ビルド サービスの月間稼働率は、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割って 100 を乗じた値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Visual Studio App Center ビルド サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。Free レベルのサービスは本 SLA の適用対象外です。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

Visual Studio App Center テスト サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がテスト サービスをデプロイしていた総時間 (分) です。

ダウンタイム: 最大利用時間 (分) のうち、テスト サービスを使用できなかった総時間 (分) です。お客様が開始した操作の実行を求めるテスト サービスに対するすべての HTTP 要求が 1 分間連続してエラー コードに終わるか、1 分以内に応答が返されなかった場合に、テスト サービスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: Visual Studio App Center テスト サービスの月間稼働率とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割って 100 を乗じた値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Visual Studio App Center テスト サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。Free レベルのサービスは本 SLA の適用対象外です。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Visual Studio App Center プッシュ通知サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がプッシュ通知サービスをデプロイしていた総時間 (分) です。

ダウンタイム: 最大利用時間 (分) のうち、プッシュ通知サービスを使用できなかった総時間 (分) です。お客様が開始した操作の実行を求めるプッシュ通知サービスに対するすべての HTTP 要求が 1 分間連続してエラー コードに終わるか、1 分以内に応答が返されなかった場合に、プッシュ通知サービスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: Visual Studio App Center プッシュ通知サービスの月間稼働率とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割って 100 を乗じた値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Visual Studio App Center プッシュ通知サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。Free レベルのサービスは本 SLA の適用対象外です。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

App Configuration

用語の追加定義

「**Azure App Configuration**」とは、お客様が作成し、管理ポータル の App Configuration タブに列挙される、1 つの Azure App Configuration のデプロイを意味します。

Azure App Configuration の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Configuration Store が Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての Configuration Store にわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Configuration Store を使用できなかった合計累積時間 (分) です。Configuration Store とマイクロソフトのインターネット ゲートウェイ間で 1 分間連続して接続が失われたときに、その Configuration Store は 1 分間使用できなかったと見なされます。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

Azure App Configuration の「**月間稼働率**」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間について、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による App Configuration の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。Azure App Configuration の Free レベルは本 SLA の適用対象外です。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

App Service

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間において所定のアプリを Microsoft Azure で実行するように設定していた総時間 (分) です。デプロイ時間 (分) は、アプリが作成された時点またはアプリを実行する操作をお客様が開始した時点から、アプリを停止または削除する操作をお客様が開始した時点まで測定されます。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのアプリにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**アプリ**」とは、Free および Shared レベルのアプリを除く、App Service 内でお客様がデプロイする Web Apps、Mobile Apps、API Apps、Logic Apps を意味します。SLA は、1 つのインスタンスでまた複数のインスタンスで実行するときにサポートされます。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのアプリにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、そのアプリを使用できなかった時間です。所定のアプリとマイクロソフトのインターネット ゲートウェイ間で 1 分間連続して接続が失われたときに、そのアプリは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

追加条件: サービス クレジットは、お客様の Web Apps、Mobile Apps、API Apps または Logic Apps の使用により発生する料金のみ適用され、App Service を通じて提供される他の種類のアプリにより発生する料金には適用されません。これらは本 SLA の適用対象外です。

[目次](#) / [定義](#)

Application Gateway

用語の追加定義

「**Application Gateway クラウド サービス**」とは、HTTP 負荷分散サービスを実行するよう構成された 2 つ以上の中～大規模の Application Gateway インスタンスまたは自動スケールもしくはゾーンの冗長性をサポートできるデプロイの集合を意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Application Gateway クラウド サービスが Microsoft Azure サブスクリプションにデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

ダウンタイム: 所定の Application Gateway クラウド サービスの 1 請求月間の最大利用時間 (分) のうち、その Application Gateway クラウド サービスを使用できなかった合計累積時間 (分) です。Application Gateway クラウド サービスへの接続の試行が 1 分間連続して失敗した場合、Application Gateway クラウド サービスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Application Insights

用語の追加定義

「**Application Insights リソース**」とは、1 つのインストルメンテーション キーに関するデータを収集、処理、および保存する、Application Insights 内のコンテナを意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様が特定の Application Insights リソースをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Application Insights リソースのデータを使用できなかった総時間 (分) です。HTTP 操作で成功コードが 1 分間返されなかった場合、所定の Application Insights リソースが 1 分間利用できなかったと見なされます。

月間クエリ稼働率: 所定の Application Insights リソースについて、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割り、100 を乗じた値です。

月間クエリ稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Application Insights サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます – クエリ可用性 SLA。

月間クエリ稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Applied AI サービス

用語の追加定義

「**トランザクション試行総数**」とは、所定の Applied AI Services API について 1 請求月間にお客様が行った、認証された API 要求の総数です。トランザクション試行総数には、最初のエラー コードを受信してから 5 分以内に繰り返し行われる、エラー コードを返す API 要求は含まれません。

「**失敗したトランザクション数**」とは、トランザクション試行総数のうち、エラー コードに終わった Applied AI Services API に対するすべての要求のセットです。失敗したトランザクション数には、最初のエラー コードを受信してから 5 分以内に繰り返し行われる、エラー コードを返す API 要求は含まれません。

月間稼働率の計算

各 API サービスの「**月間稼働率**」とは、特定の API サブスクリプションの 1 請求月間のトランザクション試行総数から失敗したトランザクション数を差し引き、トランザクション試行総数で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

Applied AI Services API には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

サービスレベルの例外: Free レベルについては SLA は提供されません。

[目次](#) / [定義](#)

Azure Arc

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、1 つ以上の Kubernetes 構成 Azure リソースが Azure Arc 対応 Kubernetes リソースにデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、1 請求月間に 1 つ以上の Kubernetes 構成 Azure リソースが Azure Arc 対応 Kubernetes リソースにデプロイされていた合計累積最大利用時間 (分) のうち、Kubernetes 構成 Azure リソースを使用できなかった時間です。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Arc 対応 Kubernetes 上での Kubernetes 構成 Azure リソースの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Automation

Automation サービス – Desired State Configuration (DSC)

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間において所定の Automation アカウントが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**DSC エージェント サービス**」とは、DSC ノードからのプル、登録、およびレポート要求を受信してそれに応答する、Automation サービスのコンポーネントです。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてデプロイされたすべての Automation アカウントにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてデプロイされたすべての Automation アカウントにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、DSC エージェント サービスを使用できなかった時間です。Automation アカウントに関連付けられた DSC ノードから DSC エージェント サービスへのすべてのプル、登録、およびレポート要求が 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合、その Automation アカウントは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

追加条件: サービス クレジットは、お客様による Automation サービス内の DSC 機能の使用により発生する料金のみ適用されます。

Automation サービスの Free レベルについては、SLA は提供されません。

Automation サービス – プロセス自動化

用語の追加定義

「**遅延ジョブ数**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションについて、予定開始時間から 30 分以内に開始できなかったジョブの総数を意味します。

「**ジョブ**」とは、Runbook の実行を意味します。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**予定開始時間**」とは、ジョブの実行開始が予定されている時間を意味します。

「**Runbook**」とは、お客様が Microsoft Azure 内で実行するように指定したアクションのセットを意味します。

「**総ジョブ数**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションについて、所定の請求月に実行が予定されているジョブの総数を意味します。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{総ジョブ数} - \text{遅延ジョブ数}}{\text{総ジョブ数}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

追加条件: サービス クレジットは、お客様による Automation サービス内のプロセス自動化機能の使用により発生する料金のみに適用されます。Automation サービスの Free レベルについては、SLA は提供されません。

[目次](#) / [定義](#)

Azure Backup

用語の追加定義

「**バックアップ**」とは、登録されているサーバーからバックアップ コンテナにコンピューター データをコピーするプロセスを意味します。

「**Backup エージェント**」とは、登録されているサーバーにインストールされ、そのサーバーで 1 つ以上の保護された項目をバックアップまたは復元できるようにするソフトウェアを意味します。

「**バックアップ コンテナ**」とは、お客様がバックアップを目的として 1 つ以上の保護された項目を登録することができるコンテナを意味します。

「**失敗**」とは、Backup サービスを使用できなくなったために、Backup エージェントまたは本サービスが、正しく構成されたバックアップまたは復旧操作を完了できないことを意味します。

「**保護された項目**」とは、Backup サービスにバックアップのスケジュールが設定され、管理ポータルの [復旧サービス] セクションの [保護された項目] タブに保護された項目として列挙されている、ボリューム、データベース、仮想マシンなどのデータの集合を意味します。

「**復旧**」または「**復元**」とは、バックアップ コンテナから登録されているサーバーにコンピューター データを復元する処理を意味します。

Backup サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義:

「**デプロイ時間 (分)**」とは、保護された項目についてバックアップ コンテナへのバックアップ スケジュールが設定されていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてすべての保護された項目にわたるデプロイ時間 (分) を合計した時間です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がバックアップ スケジュールを設定したすべての保護された項目にわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、保護された項目について Backup サービスを使用できなかった時間です。所定の保護された項目のバックアップまたは復元が最初に失敗した時点から、その保護された項目のバックアップまたは復旧が正常に開始されるまで、Backup サービスは、その保護された項目について使用できなかったと見なされます。ただし、30 分に 1 回以上の頻度で継続的に再試行することを条件とします。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Bastion

用語の追加定義

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間稼働率の計算

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいて所定の Azure Bastion がデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Azure Bastion を使用できなかった合計累積時間 (分) です。Azure Bastion への接続試行が 1 分間連続して失敗した場合、Azure Bastion はその 1 分間使用できなかったと見なされます。

Azure Bastion の「**月間稼働率**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおける最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による各 Azure Bastion の使用には、以下のサービスレベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Batch

用語の追加定義

1 請求月間における「**平均エラー率**」とは、請求月における各時間のエラー率の合計を、請求月の合計時間数で割った値です。

「**エラー率**」とは、所定の 1 時間に「失敗した要求」の総数を「要求総数」で割った値です。所定の 1 時間における要求総数が 0 である場合、その期間のエラー率は 0% となります。

「**除外される要求**」とは、HTTP 408 状態コード以外の HTTP 4xx 状態コードに終わった要求です。

「**失敗した要求**」とは、要求総数のうち、エラー コードもしくは HTTP 408 状態コードを返した、または 5 秒以内に成功コードを返さなかったすべての要求のセットです。

「**要求総数**」とは、所定の Azure サブスクリプションにおいて 1 時間以内に試行された、除外される要求を除く、Batch アカウントに対する認証された REST API 操作実行要求の総数です。

月間稼働率: Batch サービスの「月間稼働率」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間の平均エラー率を、100% から引いた値です。1 請求月間における「平均エラー率」とは、その請求月における各時間のエラー率の合計を、その請求月の合計時間数で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\text{月間稼働率 (\%)} = 100\% - \text{平均エラー率}$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

BizTalk Services

用語の追加定義

「**BizTalk Service 環境**」とは、管理ポータルに表示される、お客様が作成した BizTalk Services のデプロイを意味します。お客様はこれに対してランタイム メッセージ要求を送信することができます。

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の BizTalk Service 環境が Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての BizTalk Service 環境にわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**監視用ストレージ アカウント**」とは、BizTalk Services の実行に関連する監視情報を保存するために BizTalk Services が使用する Azure ストレージ アカウントを意味します。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての BizTalk Service 環境にわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、BizTalk Service 環境を使用できなかった時間です。所定の BizTalk Service 環境とマイクロソフトのインターネット ゲートウェイ間で 1 分間連続して接続が失われたときに、その BizTalk Service 環境は 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービス レベルの例外: サービス レベルおよびサービス クレジットは、お客様による BizTalk Services の Basic、Standard、および Premium レベルの使用に適用されます。Microsoft Azure BizTalk Services の Developer レベルは本 SLA の適用対象外です。

追加条件: お客様は、申し立てを提出する際には、監視用ストレージ アカウント内に完全な監視データを保存し、マイクロソフトが利用できるようにしなければなりません。

[目次 / 定義](#)

Azure Bot Service

用語の追加工義

「**Azure Bot サービスプレミアムチャンネル**」とは、プレミアムカテゴリの Bot Framework チャンネルを意味します。

「**ボット**」とは、開発者が作成したインターネットに接続する会話アプリケーションで、Azure Bot Service に登録しており、Azure Bot Service からメッセージが送受信されるように構成されたものです。

「**Bot Framework**」とは、強力かつインテリジェントなボットを構築、接続、テスト、およびデプロイするためのプラットフォームです。

「**クライアント**」とは、ボットのうち、エンド ユーザーが利用する部分です。

「**プレミアム チャンネル API エンドポイント**」とは、Azure Bot サービス プレミアム チャンネル用の Bot Framework REST API エンドポイントを意味します。

Azure Bot サービス プレミアム チャンネルの月間稼働時間の計算とサービス レベル

「**API 要求総数**」とは、Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、1 請求月間でプレミアム チャンネルの API エンドポイントに Bot またはクライアントが行った要求の総数を意味します。

「**失敗した API 要求数**」とは、API 要求総数のうち、エラー コードを返した要求、または 2 分以内に応答しなかった要求の総数を意味します。

「**月間稼働率**」とは、API 要求総数から失敗した API 要求数を差し引き、API 要求総数で割り、100 で乗じた値です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{API 要求総数} - \text{失敗した API 要求数}}{\text{API 要求総数}} \times 100$$

お客様による Azure Bot Service Premium チャンネルの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

サービス レベルとサービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Azure Cache for Redis

用語の追加工義

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**キャッシュ**」とは、お客様が作成した Cache サービスのデプロイを意味します。キャッシュ エンドポイントは、管理ポータル内のキャッシュ タブに列挙されます。

「**キャッシュ エンドポイント**」とは、キャッシュにアクセスする際に使用するエンドポイントを意味します。

「**可用性ゾーン**」とは、Azure リージョン内の障害分離領域であり、冗長電源、冷却、およびネットワークを提供します。

Cache サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定のキャッシュが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのキャッシュにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのキャッシュにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、キャッシュを使用できなかった時間です。キャッシュに関連付けられている 1 つまたは複数のキャッシュ エンドポイントとマイクロソフトのインターネット ゲートウェイ間で 1 分間連続して接続が失われたときに、そのキャッシュは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Cache サービスの使用に適用されるサービス レベルとサービス クレジットは、Cache サービスのデプロイ条件およびレベルによって異なります。上記に特に指定のない限り、お客様による Cache サービス (Azure Managed Cache サービスまたは Azure Cache for Redis サービスの Standard、Premium、Enterprise、および Enterprise Flash レベルを含む) の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。Azure Cache for Redis サービスの Basic レベルは本 SLA の適用対象外です。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Enterprise または Enterprise Flash クラス Cache が同じ Azure リージョン内の 3 つ以上の可用性ゾーン内にデプロイされた場合、お客様の Cache サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

Enterprise および Enterprise Flash クラス Cache が、(1) 少なくとも 3 つの Azure リージョンとこれらのリージョン内のそれぞれの 3 つ以上の可用性ゾーンにデプロイされ、(2) アクティブ ジオ (主要地域) レプリケーション機能が有効で一般に利用可能になったときに (プレビューは対象外)、アクティブ ジオ (主要地域) レプリケーションがすべての Cache インスタンスで有効になっている場合、お客様の Cache サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.999% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Cloud Services

用語の追加定義

「**クラウド サービス**」とは、Web ロールと Worker ロールに利用されるコンピューティング リソースのセットを意味します。

「**ロール インスタンス接続**」とは、ロール インスタンスと、ロール インスタンスが許可されたトラフィック用に構成されている、TCP または UDP ネットワーク プロトコルを使用する他の IP アドレスとの間の、双方向ネットワークトラフィックを意味します。この IP アドレスは、仮想マシンと同じクラウド サービス内の IP アドレスでも、仮想マシンと同じ仮想ネットワーク内の IP アドレスでも、ルーティング可能なパブリック IP アドレスでも構いません。

「**テナント**」とは、それぞれ 1 つのパッケージにデプロイされた 1 つ以上のロール インスタンスで構成される 1 つ以上のロールを意味します。

「**更新ドメイン**」とは、プラットフォームの更新が同時に適用される Microsoft Azure インスタンスのセットを意味します。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**Web ロール**」とは、IIS と ASP.NET でサポートされている、Web アプリケーション プログラミング用にカスタマイズされた Azure 実行環境で実行される Cloud Services コンポーネントを意味します。

「**Worker ロール**」とは、汎用的なデプロイに役立ち、Web ロールのためにバックグラウンド処理を実行することができる Azure 実行環境で実行される Cloud Services コンポーネントを意味します。

Cloud Services の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、異なる更新ドメインにデプロイされた 2 つ以上のインスタンスを持つ、インターネットに接続するすべてのロールの、1 請求月間における合計累積時間 (分) です。最大利用時間 (分) は、テナントがデプロイされ、お客様が開始した操作の結果としてテナントに関連するロールが開始された時点から、テナントを停止または削除する操作をお客様が開始した時点まで測定されます。

ダウンタイム: 最大利用時間 (分) のうちロール インスタンス接続が確保されていなかった合計累積時間 (分) です。

月間稼働率: 月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\text{月間稼働率} = \frac{(\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム})}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Cognitive Search

用語の追加定義

1 請求月間における「**平均エラー率**」とは、請求月における各時間のエラー率の合計を、請求月の合計時間数で割った値です。

「**エラー率**」とは、所定の Azure サブスクリプションのすべての Search サービス インスタンスにおいて、所定の 1 時間に失敗した要求の総数を要求総数で割った値です。1 時間以内の要求総数が 0 である場合、その期間のエラー率は 0% となります。

「**除外される要求**」とは、HTTP 503 状態コードと要求が調整されたことを表す応答ヘッダーが示すように、Search サービス インスタンスに割り当てられたリソースの消費が原因で調整されたすべての要求です。

「**失敗した要求**」とは、要求総数のうち、成功コードまたは HTTP 4xx 応答が返されなかったすべての要求のセットです。

「**レプリカ**」とは、Search サービス インスタンス内の検索インデックスの複製を意味します。

「**Search サービス インスタンス**」とは、1 つ以上の検索インデックスを含む Azure Search サービスのインスタンスを意味します。

「**要求総数**」とは、所定の Azure サブスクリプションにおいて 1 時間以内に行われた、除外される要求を除く、(i) 3 つ以上のレプリカを持つ Search サービス インスタンスに対するすべての更新要求と、(ii) 2 つ以上のレプリカを持つ Search サービス インスタンスに対するすべてのクエリ要求のセットです。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$100\% - \text{平均エラー率}$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービス レベルの例外: Search の Free レベルは本 SLA の適用対象外です。

[目次](#) / [定義](#)

Azure Cognitive Services

用語の追加定義

「**トランザクション試行総数**」とは、所定の Cognitive Service API について 1 請求月間にお客様が行った、認証された API 要求の総数です。トランザクション試行総数には、最初のエラー コードを受信してから 5 分以内に繰り返し行われる、エラー コードを返す API 要求は含まれません。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「失敗したトランザクション数」とは、トランザクション試行総数のうち、エラー コードに終わった Cognitive Service API に対するすべての要求のセットです。失敗したトランザクション数には、最初のエラー コードを受信してから 5 分以内に繰り返し行われる、エラー コードを返す API 要求は含まれません。

各 API サービスの「月間稼働率」とは、特定の API サブスクリプションの 1 請求月間のトランザクション試行総数から失敗したトランザクション数を差し引き、トランザクション試行総数で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\text{月間稼働率} = \frac{(\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数})}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

サービス クレジット

Cognitive Services API には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービス レベルの例外: Free レベルについては SLA は提供されません。

[目次](#) / [定義](#)

Azure Communication Gateway

用語の追加定義

「割り当て電話番号」とは、以下のすべての基準を満たす電話番号です。

- Operator Connect または Teams Phone Mobile 環境でプロビジョニングされている。
- 電話番号が、Azure Communications Gateway 経由で接続するように設定されている。
- 電話番号のステータスが Operator Connect または Teams Phone Mobile 環境で「割り当て済み」である。これには、ユーザー、会議ブリッジ、音声アプリケーション、-第三者のアプリケーションへの割り当てが含まれますが、それらに限定されません。

「ダウンタイム」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて割り当て電話番号が Azure Communications Gateway 経由で音声通話を開始または受信できなかった時間です。

「ダウンタイム時間 (分)」とは、所定のダウンタイムに、Azure Communications Gateway 経由で音声通話を開始または受信できなかった割り当て電話番号の数を乗じたダウンタイムの合計時間 (分) です。

「最大利用時間 (分)」とは、1 請求月間において Azure Communications Gateway が正常にデプロイされた (プロビジョニング ステータスが完了と表示されるなどの) 時間 (分) に、当該月間中に割り当てられた電話番号の最大数を乗じた合計時間 (分) です。

「月間稼働率」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム (分)}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス停止の原因が、マイクロソフトが管理していない第三者のソフトウェア、機器もしくはサービスの不具合、またはマイクロソフトが本サービスの一環として実行していないマイクロソフトソフトウェアにある場合、本 SLA は適用されません。

お客様による Azure Communications Gateway の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	25%
98% 未満	50%
95 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Azure コミュニケーション サービス

用語の追加定義

「ダウンタイム」とは、エンド ユーザーが PSTN 通話を開始できない、または PSTN を介して会議の音声にダイヤルインできない期間です。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**ユーザー時間 (分)**」とは、月の総時間 (分) にユーザーの総数を乗じた時間から、予定されていたダウンタイムの総時間を差し引いたものを意味します。

音声およびビデオ通話 SLA

月間稼働率:月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間高品質通話率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

通話以外のサービス

他のすべてのサービスは、SLA の計算をサービス ゲートウェイの稼働時間に基づいて行います。これは、Azure コミュニケーション サービス内の次の個別サービスにそれぞれ適用されます。

- チャット
- SMS
- リソース プロバイダー
- 認証 (UTM)

定義:

「**稼働率**」は、次の式で計算されます。

$$\frac{\text{要求総数} - \text{利用不能要求数}}{\text{要求総数}} \times 100$$

利用不能要求数は結果が 5xx エラーとなる要求数です。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

追加条件: サービス クレジットは利用できなかった個別サービスに適用されます。たとえば、顧客が SMS サービスとチャット サービスを使用していて、SMS サービスが SLA を満たしていない場合、SMS の使用に対するクレジットを受け取ります。チャットの使用には受け取れません。

利用時間は、Azure コミュニケーション サービスが管理をしているサービスにのみ基づきます。通信接続業者や通信事業者などの第三者サービスは除外されます。

[目次 / 定義](#)

Azure Confidential Ledger

Azure Confidential Ledger の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の管理対象 Confidential Ledger が Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての管理対象 Confidential Ledger にわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**除外されるトランザクション**」とは、管理対象 Confidential Ledger を作成、更新、削除するためのトランザクションです。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての管理対象 Confidential Ledger にわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、管理対象 Confidential Ledger を使用できなかった時間です。Confidential Ledger で、除外されるトランザクション以外のトランザクションを実行しようとする試みが、1 分間連続してエラー コードに終わるか、またはマイクロソフトが要求を受領してから 5 秒以内に成功コードが返されなかった場合に、その Confidential Ledger は 1 分間使用できなかったと見なされます。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

Azure Confidential Ledger サービスの「**月間稼働率**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおける最大利用時間 (分) の総時間からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による各 Azure Confidential Ledger の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Container Apps

用語の追加定義

「**アプリ**」とは、Azure Container Apps サービスのお客様がデプロイするマイクロサービスまたはアプリケーションです。

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間においてアプリが有効になると予測される総時間 (分) を意味します。1 請求月間においてアプリが有効となることが予測される時間はお客様が設定するスケール ルールに基づきます。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイした所定のアプリのすべてのデプロイ時間 (分) の合計です。

Azure Container Apps の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**ダウンタイム**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのデータベースにわたる合計累積時間 (分) のうち、1 つ以上の Apps を使用できなかった時間です。所定のアプリとマイクロソフトのインターネット ゲートウェイ間で 1 分間連続して接続が失われたときに、そのアプリは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率:「月間稼働率」は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Container Apps サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Container Instances

用語の追加定義

「**接続**」とは、コンテナ グループと、コンテナ グループが許可されたトラフィック用に構成されている、TCP または UDP ネットワーク プロトコルを使用する他の IP アドレスとの間の、双方向ネットワークトラフィックを意味します。

「**コンテナ グループ**」とは、同じライフサイクルとネットワークリソースを共有する、併置されたコンテナの集合です。

コンテナ グループの月間稼働率の計算およびサービス レベル:

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が特定のコンテナ グループをデプロイしていた総時間 (分) です。最大利用時間 (分) は、お客様の操作の結果として特定のコンテナ グループが開始された時点から、お客様の操作の結果として特定のコンテナ グループが停止または削除された時点まで測定されます。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち接続が確保されていなかった時間の総時間 (分) です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

お客様によるコンテナ グループの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Container Registry

用語の追加定義

「**管理対象レジストリ**」とは、Basic、Standard、または Premium コンテナ レジストリのインスタンスを意味します。

「**レジストリ エンドポイント**」とは、コンテナ レジストリに関連する操作を実行するためにクライアントが所定の管理対象レジストリにアクセスする際の、アクセス元となるホスト名を意味します。

「**レジストリトランザクション**」とは、クライアントからレジストリ エンドポイントに送信されたトランザクション要求のセットです。

管理対象コンテナ レジストリの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft サブスクリプションにおいてお客様が所定の管理対象コンテナ レジストリをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、管理対象レジストリを使用できなかった総時間 (分) です。レジストリトランザクションを送信しようとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終るか、下表に規定する最大処理時間以内に応答がなかった場合に、管理対象レジストリは 1 分間使用できなかったと見なされます。

トランザクションの種類	最大処理時間
リスト (リポジトリ、マニフェスト、タグ)	8 分
その他	1 分

管理対象コンテナ レジストリの「**月間稼働率**」は、次の計算式を使用して計算されます。

$$\text{月間稼働率} = \frac{(\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム})}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

コンテンツ配信ネットワーク (CDN)

CDN サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

マイクロソフトは、お客様が使用する商業的に合理的な独立した測定システムからのデータを確認します。

お客様は、一般的に利用可能で、世界の主要な大都市圏 (中国を除く) の 5 つ以上の異なる場所を代表する標準エージェントの測定システムのリストから、一連のエージェントを選択する必要があります。

測定システムのテスト (頻度は、1 つのエージェントにつき 1 時間あたり 1 回以上) は、以下のモデルに基づいて HTTP GET 操作を実行するよう構成されます。

1. テストファイルは、お客様のオリジン (Azure ストレージ アカウントなど) に配置されます。
2. GET 操作では、適切な Microsoft Azure ドメイン名のホスト名からオブジェクトを要求することにより、CDN サービスを通じてファイルを取得します。
3. テストファイルは以下の基準を満たすものとします。
 - i. 明示的な "Cache-control: public" ヘッダーを含めるか、"Cache-Control: private" ヘッダーを含めないことにより、テスト オブジェクトでキャッシングを可能にする。
 - ii. テスト オブジェクトは 50 KB 以上、1 MB 未満のサイズのファイルである。
 - iii. 生データは、測定期間中に技術的な問題が発生したエージェントの測定結果を削除するよう調整される。

[目次](#)

→ [はじめに](#)

→ [一般条件](#)

→ [サービス固有の条件](#)

→ [付録](#)

「**月間稼働率**」とは、CDN がエラーなしでクライアントの要求に応答して要求されたコンテンツを配信する、HTTP トランザクションの割合 (%) です。CDN サービスの月間稼働率は、オブジェクトが正常に配信された回数を、(誤ったデータを削除した後の) 要求の総数で割った値です。

お客様による CDN サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99.5% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Azure Cosmos DB

Azure Cosmos DB サービス向けに列挙された SLA の詳細には、以下のデータベース API および残りの API による PostgreSQL の API に関する明確な定義と詳細が含まれています。

- Azure Cosmos DB for PostgreSQL
- Azure Cosmos DB for NoSQL
- Azure Cosmos DB for MongoDB
- Azure Cosmos DB for Apache Cassandra
- Azure Cosmos DB for Apache Gremlin
- Azure Cosmos DB for Table

Microsoft Azure Cosmos DB for PostgreSQL

「**サーバー**」とは、所定の Azure Cosmos DB for PostgreSQL サーバーです。

「**高可用性クラスター**」とは高可用性ノードのセットを意味します。

「**高可用性ノード**」とは、高可用性が有効になっているクラスター内のノードを意味します。

「**コーディネーター ノード**」とはクラスター コーディネーターの役割を割り当てられたノードです。

「**ワーカー ノード**」とはワーカーの役割を割り当てられたノードです。

「**ノード**」とは、PostgreSQL コーディネーターまたはワーカー用 Azure Cosmos DB のノードです。

PostgreSQL – 高可用性ノード用 Microsoft Azure Cosmos DB の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が所定の高可用性ノードをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、ノードを使用できなかった総時間 (分) です。ノードへの接続の確立を 1 分間連続して試行し、エラーコードが返された場合または応答がなかった場合、そのノードは 1 分間使用できなかったと見なされます。ワーカー ノードについてそのコーディネーター ノードが 1 分間使用できなかった場合、ワーカー ノードも 1 分間使用できなかったと見なされます。

PostgreSQL 高可用性ノード用 Azure Cosmos DB の「**月間稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による PostgreSQL 高可用性ノード用 Microsoft Azure Cosmos DB の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

Microsoft Azure Cosmos DB for NoSQL、Microsoft Azure Cosmos DB for MongoDB、Microsoft Azure Cosmos DB for Apache Cassandra、Microsoft Azure Cosmos DB for Apache Gremlin、Microsoft Azure Cosmos DB for Table

用語の追加定義

「**コンテナ**」とは、データ アイテムのコンテナであり、トランザクションおよびクエリのスケールの単位でもあります。

「**使用 RU 数**」とは、1 秒間に Azure Cosmos DB コンテナが処理するすべての要求によって使用された要求ユニットの総数です。

「**データベース アカウント**」とは、Azure Cosmos DB リソース モデルの最上位のリソースです。1 つの Azure Cosmos DB データベース アカウントには、1 つ以上のデータベースが含まれます。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**失敗した要求**」とは、要求総数のうち、エラー コードを返すか、または以下の表に記載されている上限値内で成功コードを返さない要求です。
「**失敗した読み込み要求**」とは、読み込み要求総数のうち、エラーコードを返すか、または以下の表に記載されている上限値内で成功コードを返さない要求です。

操作	処理待機時間の上限値
リソース操作	5 秒
メディア操作	60 秒

「**プロビジョニング RU 数**」とは、1 秒間に所定の Azure Cosmos DB コンテナについてプロビジョニングされた要求ユニットの総数です。
「**プロビジョニングされたスループット リソース**」とは、プロビジョニングされた RU の全数が請求される、プロビジョニングされたスループット モードで構成された Azure Cosmos DB コンテナです。
「**速度制限要求**」とは、1 秒間にコンテナ内の 1 つのパーティションにおいて使用 RU 数がプロビジョニング RU 数を超えたことを示す、Azure Cosmos DB コンテナから 429 ステータスコードが返された要求を意味します。
「**要求単位 (RU)**」とは、Azure Cosmos DB のスループットの尺度です。
「**リソース**」とは、データベース アカウントと関連付けられた、URI でアドレス指定が可能なエンティティのセットです。
「**サーバーレス リソース**」とは、消費された RU の全数が請求される、サーバーレス モードで構成された Azure Cosmos DB コンテナです。
「**成功要求**」とは、要求総数から失敗要求を差し引いたものです。
「**読み込み要求総数**」とは、請求月に所定の Azure サブスクリプションにおいて 1 時間間隔でリソースに対して発行される、レート制限された要求およびすべての失敗読み込み要求を含む、あらゆる読み込み要求のセットです。
「**要求総数**」とは、1 請求月に所定の Azure サブスクリプションにおいて 1 時間内でリソースに対して発行される、レート制限された要求およびすべての失敗要求を含む、あらゆる要求のセットです。

可用性の SLA

「**読み込みエラー率**」とは、Azure サブスクリプションのすべてのリソースにおいて、所定の 1 時間に失敗した読み込み要求の合計を読み込み要求総数で割った値です。所定の 1 時間における読み込み要求総数が 0 である場合、その期間の読み込みエラー率は 0% となります。
「**エラー率**」とは、Azure サブスクリプションのすべてのリソースにおいて、所定の 1 時間に失敗した要求の合計を要求総数で割った値です。所定の 1 時間における要求総数が 0 である場合、その期間のエラー率は 0% となります。
1 請求月間における「**平均エラー率**」とは、請求月における各時間のエラー率の合計を、請求月の合計時間数で割った値です。
「**請求月間における平均読み込みエラー率**」とは、請求月における各時間の読み込みエラー率の合計を、請求月の合計時間数で割った値です。
可用性ゾーンおよび 5 つの一貫性レベルのいずれかで構成された単一 Azure リージョンにスコープされているデータベース アカウントを介して展開される Azure Cosmos DB サービスの「**月間稼働率 (単一リージョン)**」は、請求月における既定の Microsoft Azure サブスクリプションに対する平均エラー率を 100% から差し引いた値です。
月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$100\% - \text{平均エラー率}$$

プロビジョニングされたスループット リソースのサービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

サーバーレス リソースのサービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

可用性ゾーンおよび 5 つの一貫性レベルのいずれかで構成された単一 Azure リージョンにスコープされているデータベース アカウントを介して展開される Azure Cosmos DB サービスの「**月間稼働率 (可用性ゾーンを伴う単一リージョン (SR-AZ))**」は、請求月における既定の Microsoft Azure サブスクリプションに対する平均エラー率を 100% から差し引いた値です。
月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$100\% - \text{平均エラー率}$$

プロビジョニングされたスループット リソースのサービス クレジット:

月間可用性率 (SR-AZ)	サービス クレジット
99.995% 未満	10%
99% 未満	25%

サーバーレス リソースのサービス クレジット:

月間可用性率 (SR-AZ)	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

2 つ以上のリージョンにまたがるように構成されたデータベース アカウント経由で展開される Azure Cosmos DB サービスの「**月間読み込み稼働率 (複数のリージョン)**」は、請求月における既定 Microsoft Azure サブスクリプションの平均読み取りエラー率を 100% から差し引いた値です。

月間読み込み稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$100\% - \text{平均読み込みエラー率}$$

プロビジョニングされたスループット リソースのサービス クレジット:

月間読み込み稼働率	サービス クレジット
99.999% 未満	10%
99% 未満	25%

サーバーレス リソースのサービス クレジット:

月間読み込み稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

複数の Azure リージョンと複数の書き込み可能なロケーションにまたがるように構成されたデータベース アカウント経由で展開される Azure Cosmos DB サービスの「**複数の書き込みロケーションの月間稼働率**」は、請求月における所定の Microsoft Azure サブスクリプションの平均エラー率を 100% から差し引いた値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\text{月間稼働率 (\%)} = 100\% - \text{平均エラー率}$$

プロビジョニングされたスループット リソースのサービス クレジット:

複数の書き込みロケーションの月間稼働率	サービス クレジット
99.999% 未満	10%
99% 未満	25%

サーバーレス リソースのサービス クレジット:

複数の書き込みロケーションの月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

スループットの SLA

「**スループット失敗要求**」とは、1 秒間にコンテナ内の 1 つのパーティションにおいて使用 RU 数がプロビジョニング RU 数を超える前に、エラー コードに終わった速度制限要求を意味します。

「**エラー率**」とは、所定の Azure サブスクリプションのすべてのリソースにおいて、所定の 1 時間にスループット失敗要求の合計を要求総数で割った値です。所定の 1 時間における要求総数が 0 である場合、その期間のエラー率は 0% となります。

1 請求月間における「**平均エラー率**」とは、請求月における各時間のエラー率の合計を、請求月の合計時間数で割った値です。

Azure Cosmos DB サービスの「**月間スループット率**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおける平均エラー率を、100% から差し引いた値です。

月間スループット率を数式で表すと、次のようになります。

100% - 平均エラー率

プロビジョニングされたスループット リソースのサービス クレジット:

月間スループット率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

一貫性の SLA

「**K**」とは、書き込みに対して読み取りが遅れた所定のデータ アイテムのバージョンの数を意味します。

「**T**」とは、所定の期間を意味します。

「**一貫性レベル**」とは、一貫性保証をサポートする、特定の読み取り要求の設定を意味します。以下の表は、一貫性レベルに関連する保証についてまとめたものです。Session、Bounded Staleness、Consistent Prefix、および Eventual Consistency のレベルはすべて「緩やか」と呼ばれます。

一貫性レベル	一貫性保証
厳密	線形化可能性
Session	自己の書き込みの読み取り (書き込みリージョン内) モニタリングな読み取り Consistent Prefix
Bounded Staleness	自己の書き込みの読み取り (書き込みリージョン内) モニタリングな読み取り (リージョン内) Consistent Prefix 有界整合性制約 < K、T
Consistent Prefix	Consistent Prefix
最終的	最終的

「**一貫性違反率**」とは、所与の 1 時間の間に特定の Azure サブスクリプション内のすべてのリソースにわたって、選択した一貫性レベルを要求総数で割って指定される一貫性保証を実行する際に配信できなかった成功要求数です。所定の 1 時間における要求総数が 0 である場合、その期間の一貫性違反率は 0% となります。

1 請求月間における「**平均一貫性違反率**」とは、請求月における各時間の一貫性違反率の合計を、請求月の合計時間数で割った値です。Azure Cosmos DB サービスの「**月間一貫性達成率**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間の平均一貫性違反率を、100% から引いた値です。

月間一貫性率: Azure Cosmos DB サービスの場合、所定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間の平均一貫性違反率を、100% から引いた値です。

月間一貫性率を数式で表すと、次のようになります。

100% - 平均一貫性違反率

サービス クレジット:

一貫性達成率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

待機時間の SLA

「**アプリケーション**」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間に、高速ネットワークが有効になったローカルの Azure 地域内で、TCP 直接接続で構成された Azure Cosmos DB クライアント SDK を使用して展開された Azure Cosmos DB アプリケーションを意味します。

「**N**」とは、所定の 1 時間にペイロード サイズ 1 KB 以下のデータ アイテム読み取り操作またはデータ アイテム書き込み操作を実行する所定のアプリケーションにおいて、成功した要求の数を意味します。

「**S**」とは、所定の 1 時間にペイロード サイズ 1 KB 以下のデータ アイテム読み取り操作またはデータ アイテム書き込み操作を実行する所定のアプリケーションについて、成功した要求の応答時間を待機時間で昇順に並べ替えたセットを意味します。

「**序数ランク**」とは、最も近いランクを採用した 99 パーセンタイル値を意味し、数式で表すと次のようになります。

$$\text{序数ランク} = \frac{99}{100} \times N$$

「**P99 待機時間**」とは、S の序数ランクでの値を意味します。

「**過剰待機時間**」とは、アプリケーションにより送信された成功した要求について、P99 待機時間がデータ アイテム読み取り操作では 10 ミリ秒以上、データ アイテム書き込み操作では 10 ミリ秒以上となった、時間の総数を意味します。所定の 1 時間における成功した要求の数が 0 である場合、その期間の過剰待機時間は 0 となります。

1 請求月間における「**平均過剰待機時間率**」とは、過剰待機時間の合計を、その請求月の合計時間数で割った値です。

5 つの一貫性レベルのいずれかで構成された 1 つの Azure 地域を対象としたデータベース アカウント、または 4 つの緩和一貫性レベルのいずれかで構成された複数の地域に広がるデータベース アカウントを通じて展開された特定の Azure Cosmos DB アプリケーションの場合、「**月間 P99 待機時間達成率**」は、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間の平均過剰待機時間率を、100% から引いた値です。

月間 P99 待機時間達成率を数式で表すと、次のようになります。

$$100\% - \text{平均過剰待機時間率}$$

プロビジョニングされたスループット リソースのサービス クレジット:

月間 P99 待機時間達成率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Data Catalog

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に購入された Data Catalog の総時間 (分) です。

「**エントリ**」とは、テーブル、ビュー、メジャー、クラスター、レポートなど、Data Catalog でのカタログ オブジェクト登録を意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションに関連付けられた Data Catalog のデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: デプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、Data Catalog を使用できなかった時間です。管理者が Data Catalog に対しユーザーを追加もしくは削除しようとする試み、またはユーザーがエントリを登録、検索もしくは削除するために Data Catalog に対する API 呼び出しを実行しようとする試みが、すべてエラー コードに終わるか、または 5 分以内に応答が返されなかった場合に、その Data Catalog は 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Data Factory

用語の追加定義

「**リソース**」とは、データ ファクトリ内で作成された統合ランタイム (Azure、SSIS、および自己ホスト統合ランタイムを含む)、トリガー、パイプライン、データ セット、およびリンクされたサービスを意味します。

「**アクティビティ実行**」とは、アクティビティの実行または実行の試みを意味します。

Data Factory API 呼び出しの月間稼働率の計算

用語の追加定義

「**要求総数**」とは、所定の Azure サブスクリプションにおいて 1 請求月間に行われた、除外される要求を除く、リソースに対するすべての操作実行要求のセットです。

「**除外される要求**」とは、HTTP 408 状態コード以外の HTTP 4xx 状態コードに終わった要求のセットです。

「**失敗した要求**」とは、要求総数のうち、エラー コードまたは HTTP 408 状態コードを返したか、あるいは 2 分以内に成功コードを返さなかったすべての要求のセットです。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

Data Factory サービスに対して行われた API 呼び出しの「**月間稼働率**」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間の要求総数から失敗した要求数を差し引き、要求総数で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\text{月間稼働率} = \frac{(\text{要求総数} - \text{失敗した要求数})}{\text{要求総数}}$$

お客様による Data Factory サービス内の API 呼び出しの使用には、以下のサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Data Factory アクティビティ実行の月間稼働率の計算

用語の追加定義:

「**アクティビティ実行総数**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて試行されたアクティビティ実行の総数です。

「**遅延アクティビティ実行数**」とは、試行されたアクティビティ実行のうち、予定実行時間後 4 分以内に実行が開始されなかったが、実行に必要なすべての依存関係が満たされていたアクティビティ実行の総数です。

Data Factory サービスの「**月間稼働率**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおける 1 請求月間のアクティビティ実行総数から遅延アクティビティ実行数を差し引き、アクティビティ実行総数で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{アクティビティ実行総数} - \text{遅延アクティビティ実行数}}{\text{アクティビティ実行総数}} \times 100$$

お客様による Data Factory サービス内のアクティビティ実行には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Data Lake Analytics

用語の追加定義

「**操作総数**」とは、1 請求月間に所定の Azure サブスクリプションのすべての Data Lake Analytics アカウントにおいて 1 時間以内に試行された認証済み操作の総数です。

「**失敗した操作**」とは、操作総数のうち、エラー コードを返した、または、アカウントの作成と削除については 5 分以内、それ以外のすべての操作については 25 秒以内 (ペイロードを含む操作については MB ごとにさらに 2 秒追加) に成功コードを返さなかった、すべての操作のセットです。

「**エラー率**」とは、所定の 1 時間に失敗した操作の総数を操作総数で割った値です。1 時間以内の操作総数が 0 である場合、その期間のエラー率は 0% となります。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$100\% - \text{平均エラー率}$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Data Lake Storage Gen1

用語の追加定義

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**操作総数**」とは、1 請求月間の所定の Azure サブスクリプションのすべての Data Lake Store アカウントにおいて 1 時間以内に試行された認証済み操作の総数です。

「**失敗した操作**」とは、操作総数のうち、エラー コードを返した、または、アカウントの作成と削除については 5 分以内、複数のファイルに対する操作についてはファイルごとに 2 秒以内、データ転送操作については MB ごとに 2 秒以内、それ以外のすべての操作については 2 秒以内に成功コードを返さなかった、すべての操作のセットです。

「**エラー率**」とは、所定の 1 時間に失敗した操作の総数を操作総数で割った値です。1 時間以内の操作総数が 0 である場合、その期間のエラー率は 0% となります。

1 請求月間における「**平均エラー率**」とは、請求月における各時間のエラー率の合計を、請求月の合計時間数で割った値です。

「**月間稼働率**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおける 1 請求月間の平均エラー率を、100% から引いた値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$100\% - \text{平均エラー率}$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Azure Database for MariaDB

用語の追加定義

「**サーバー**」とは、任意の MariaDB 用 Azure Database のサーバーを意味します。

MariaDB 用 Microsoft Azure Database の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が特定のサーバーをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、サーバーを使用できなかった総時間 (分) です。お客様がサーバーへの接続の確立を 1 分間連続して試行し、すべての試行でエラー コードが返された場合、1 分間使用できなかったと見なされます。

MariaDB 用 Azure Database の「**月間稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による MariaDB 用 Microsoft Azure Database サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Azure Database for MySQL

Microsoft Azure Database for MySQL – シングル サーバー

用語の追加定義

「**サーバー**」とは、任意の Azure Database for MySQL サーバー - シングル サーバーを意味します。

Microsoft Azure Database for MySQL – シングル サーバー用の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が特定のサーバーをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、サーバーを使用できなかった総時間 (分) です。お客様がサーバーへの接続の確立を 1 分間連続して試行し、すべての試行でエラー コードが返された場合、1 分間使用できなかったと見なされます。

Azure Database for MySQL の「**月間稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Database for MySQL - シングル サーバーの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

Microsoft Azure Database for MySQL - フレキシブル サーバー

用語の追加定義

「**サーバー**」とは、所定の Azure Database for MySQL サーバー - フレキシブル サーバーを意味します。
フレキシブル サーバーに関連する「**高可用性**」とは、ゾーン冗長または同一ゾーン冗長でデプロイされた高可用性サーバーのセット (プライマリおよびスタンバイ) を意味します。

Microsoft Azure Database for MySQL - フレキシブル サーバーの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が特定のサーバーをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、サーバーを使用できなかった総時間 (分) です。サーバーへの接続の確立を 1 分間連続して試行し、失敗した場合、そのサーバーは 1 分間使用できなかったと見なされます。

Azure Database for MySQL - フレキシブル サーバーの「**月間稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

ゾーン冗長高可用性モードで構成された Azure Database for MySQL - フレキシブル サーバーの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.00% 以上 99.99% 未満	10%
95.00% 以上 99.00% 未満	25%
95% 未満	100%

同一ゾーン高可用性モードで構成された Azure Database for MySQL - フレキシブル サーバーの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.00% 以上 99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

お客様による高可用性モードで構成されない Azure Database for MySQL - フレキシブル サーバーの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.00% 以上 99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Database for PostgreSQL

Azure Database for PostgreSQL - シングル サーバー

用語の追加定義

「**サーバー**」とは、所定の Azure Database for PostgreSQL サーバー - シングル サーバーを意味します。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**高可用性クラスター**」とは高可用性ノードのセットを意味します。

「**高可用性ノード**」とは、高可用性が有効になっているサーバー グループ内のノードを意味します。

「**コーディネーター ノード**」とはクラスター コーディネーターの役割を割り当てられたノードです。

「**ワーカー ノード**」とはワーカーの役割を割り当てられたノードです。

PostgreSQL - Single Server 用 Microsoft Azure Database の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が特定のサーバーをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、サーバーを使用できなかった総時間 (分) です。サーバーへの接続の確立を 1 分間連続して試行し、エラーコードが返された場合、そのサーバーは 1 分間使用できなかったと見なされます。

Azure Database for PostgreSQL の「**月間稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Database for PostgreSQL - シングル サーバーの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

Microsoft Azure Database for PostgreSQL - フレキシブル サーバー

用語の追加定義:

「**サーバー**」とは、任意の Azure Database for PostgreSQL サーバー フレキシブル サーバーを意味します。

フレキシブル サーバーに関連する「**高可用性**」とは、ゾーン冗長構成または同一ゾーン冗長でデプロイされた高可用性サーバー (プライマリおよびスタンバイ) のセットを意味します。

Microsoft Azure Database for PostgreSQL - フレキシブル サーバーの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が特定のサーバーをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、サーバーを使用できなかった総時間 (分) です。サーバーへの接続の確立を 1 分間連続して試行し、失敗した場合、そのサーバーは 1 分間使用できなかったと見なされます。

Azure Database for PostgreSQL - フレキシブル サーバーの「**月間稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

ゾーン冗長高可用性モードで構成された Azure Database for PostgreSQL - フレキシブル サーバーの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.00% 以上 99.99% 未満	10%
95.00% 以上 99.00% 未満	25%
95.00% 未満	100%

同一ゾーン冗長高可用性モードで構成された Azure Database for PostgreSQL - フレキシブル サーバーの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.00% 以上 99.95% 未満	10%
99.00% 未満	25%

お客様による高可用性モードで構成されない Azure Database for PostgreSQL – フレキシブル サーバーの使用には、以下のサービスレベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.00% 以上 99.9% 未満	10%
99.00% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Databricks

用語の追加定義

「**Azure Databricks Gateway**」とは、お客様と Azure Databricks の間で UI と API のリクエストをプロキシする一連の計算リソースです。

Azure Databricks の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がすべての Azure Databricks ワークスペースをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてデプロイされたすべての Azure Databricks ワークスペースにおける合計累計時間 (分) のうち、使用できなかった時間です。Azure Databricks Gateway への接続の確立を 1 分間連続して試行し、すべての試行が失敗した場合、その Azure Databricks ワークスペースは 1 分間使用できなかったと見なされます。

Azure Databricks サービスの「**月間稼働率**」は、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割り、100 を乗じた値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Databricks の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure DDoS Protection

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて DDoS Protection サービスが使用可能になっていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、保護対象の Azure リソースを使用できなかった総時間 (分) です。DDoS Protection が攻撃を軽減せず、その直接の結果として基となる Azure リソースが該当する SLA を満たせなかった場合、1 分間使用できなかったと見なされます。

「**月間稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割り、100 を乗じた値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure DDoS Protection の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99.95% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Defender

用語の追加定義

「**保護対象ノード**」とは、課金目的でノードとしてカウントされる Microsoft Azure リソースを意味し、Azure Defender 用に構成されます。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**セキュリティ監視**」とは、保護対象ノードの評価を意味し、これによりセキュリティヘルスの状態、推奨事項およびセキュリティの警告などの結果が Azure Defender に表示される可能性があります。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の保護対象ノードがセキュリティ監視用にデプロイされ構成されていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、1 請求月間に所定の保護対象ノードのセキュリティ監視情報を使用できなかった合計累積時間 (分) です。セキュリティ監視情報を取得しようとする試みが 1 分間連続してエラーコードに終わるか、または 2 分以内に成功コードが返されなかった場合に、その保護対象ノードは 1 分間使用できなかったと見なされます。

所定の請求月の所定の保護対象ノードに対する Azure Defender の「**月間稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による各保護対象ノードの使用には、以下のサービスレベルおよびサービスクレジットが適用されます。

月間稼働率	サービスクレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービスレベルの例外: Azure セキュリティセンターの Free レベルは本 SLA の適用対象外です。

[目次](#) / [定義](#)

Defender External Attack Surface Management

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が所定の Defender EASM リソースをデプロイしていた合計時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Defender EASM リソースのデータを利用できなかった総時間 (分) です。HTTP 操作で成功コードが 1 分間返されなかった場合、所定の Defender EASM リソースを 1 分間利用できなかったと見なされます。

所定の Defender EASM リソースの「**月間クエリ稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割り、100 を乗じた値です。

月間クエリ稼働率は次の式を使用して計算されます：

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Defender External Attack Surface Management の使用には、以下のサービスレベルおよびサービスクレジットが適用されます。

月間クエリ稼働率	サービスクレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Dev Ops

用語の追加定義

「**Azure Pipeline**」とは、Azure DevOps Services におけるアプリケーションのビルドおよび展開をお客様に許可する機能を意味します。

「**ユーザーベース拡張機能**」とは、Azure DevOps Marketplace を介してユーザー単位で販売される、マイクロソフトが公開している Azure DevOps Services の拡張機能セットを意味します。

「**Azure DevOps Services ユーザー**」とは、お客様のサブスクリプションの Azure DevOps Services アカウント内でユーザーが使用できる機能のセットを意味します。提供される機能については、[Azure DevOps](#) Web サイトを参照してください。

Azure DevOps サービス ユーザーとユーザーベース拡張機能の月間稼働率の計算およびサービスレベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に購入されたユーザーまたはユーザーベース拡張機能の総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションについて、1 請求月間におけるすべての有料のユーザーおよびユーザーベース拡張機能のデプロイ時間 (分) を合計した時間です。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**ダウンタイム**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションに関するすべてのユーザーおよびユーザーベース拡張機能にわたるデプロイ時間のうち、サービスを使用できなかった合計時間 (分) です。所定のユーザーまたはユーザーベース拡張機能について、Azure Pipelines サービスに関する操作以外の操作の実行を求めるすべての HTTP 要求が 1 分間連続してエラー コードに終わるか、応答が返されなかった場合に、そのユーザーまたはユーザーベース拡張機能は 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: Azure DevOps サービス ユーザーおよびユーザーベース拡張機能の場合、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間について、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

Azure DevOps Services が使用できなかった場合、Azure DevOps Services ユーザーおよびユーザーベース拡張機能にサービス クレジットが適用されます。お客様による Azure Pipelines サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Azure Pipelines の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて有償の Azure Pipelines サービスが使用可能になっていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて Azure Pipelines サービスを使用できなかった時間の合計累積時間 (分) です。お客様が開始した操作の実行を求める Azure Pipelines サービスに対するすべての HTTP 要求が 1 分間連続してエラー コードに終わるか、応答が返されなかった場合に、Azure Pipelines サービスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

Azure Pipelines サービスの「**月間稼働率**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて 1 請求月間の最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Pipelines サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Azure Digital Twins

用語の追加定義

「**メッセージ**」とは、デプロイされた Azure Digital Twins インスタンスにより、Event Hub、Event Grid、Service Bus などのエンドポイント サービスに送信されるイベントを意味します。

「**API 操作**」とは、モデルおよび Digital Twins で実行される、クエリを含む、読み取り、書き込み、更新、削除、およびその他の操作を意味します。

月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間において所定の Azure Digital Twins インスタンスが Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Azure サブスクリプションにデプロイされたすべての Azure Digital Twins インスタンスにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Azure サブスクリプションにデプロイされたすべての Azure Digital Twins にわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、その Azure Digital Twins インスタンスを使用できなかった時間です。Azure Digital Twins インスタンスでメッセージの送信または API 操作を行おうとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、その Azure Digital Twins インスタンスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Digital Twins の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Azure DNS

用語の追加定義

「**DNS ゾーン**」とは、DNS ゾーンおよびレコード セットを含む Azure DNS サービスのデプロイを意味します。

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の DNS ゾーンが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてデプロイされたすべての DNS ゾーンにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**有効な DNS 要求**」とは、DNS ゾーン内の一致するレコード セットについての、DNS ゾーンに関連付けられた Azure DNS サービスのネーム サーバーに対する DNS 要求を意味します。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、DNS ゾーンを使用できなかった合計累積時間 (分) です。DNS ゾーンが有効な DNS 要求に対して 2 秒以内に DNS 応答を返さなかった場合に、その DNS ゾーンは 1 分間使用できなかったと見なされます。ただし、有効な DNS 要求が DNS ゾーンに関連付けられたすべてのネーム サーバーに対して行われ、少なくとも 60 秒間連続して再試行されることを条件とします。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
100 未満	10%
99.99% 未満	25%
99.5% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Event Grid

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様が Event Grid をデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様がデプロイしたすべての Event Grid にわたる最大利用時間 (分) のうち、Event Grid を使用できなかった総時間 (分) です。すべてのメッセージ公開要求でエラー コードが返されるか、または 1 分以内に成功 コードが返されなかった場合に、所定の Event Grid は 1 分間使用できなかったと見なされます。

「**月間稼働率**」: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

Event Hubs

用語の追加定義

「**メッセージ**」とは、Service Bus がサポートするプロトコルを使用して、Service Bus のリレー、キュー、トピック、または通知ハブを通じて送受信される、ユーザーが定義したコンテンツを意味します。

Basic および Standard レベルにおける Event Hubs の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Event Hub が Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて Event Hubs の Basic または Standard レベルに基づきお客様がデプロイしたすべての Event Hubs にわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてイベント ハブの Basic または Standard レベルに基づきお客様がデプロイしたすべてのイベント ハブにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、イベント ハブを使用できなかった時間です。イベント ハブでメッセージの送受信またはその他の操作を行おうとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、そのイベント ハブは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Event Hubs の Basic および Standard レベルの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

Premium レベルおよび Dedicated レベルにおける Event Hubs の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Event Hub が Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて Event Hubs の Premium レベルまたは Dedicated レベルに基づきお客様がデプロイしたすべての Event Hubs にわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて Event Hubs の Premium レベルまたは Dedicated レベルに基づきお客様がデプロイしたすべての Event Hubs にわたるデプロイ時間のうち、Event Hubs を使用できなかった合計累積時間 (分) です。イベント ハブでメッセージの送受信またはその他の操作を行おうとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、そのイベント ハブは 1 分間使用できなかったと見なされます。

Event Hubs の「**月間稼働率**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおける最大利用時間 (分) の総時間からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Premium レベルまたは Dedicated レベルの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

Azure ExpressRoute

用語の追加定義

「**専用回線**」とは、ExpressRoute サービスで提供される、ExpressRoute 接続プロバイダーを通じたお客様の施設と Microsoft Azure との間の接続の論理表記です。このような接続は、パブリック インターネットを経由しません。

「**最大利用時間 (分)**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、1 請求月間に所定の専用回線が Microsoft Azure の 1 つまたは複数の Virtual Network にリンクされている総時間 (分) です。

「**Virtual Network**」とは、Microsoft Azure 内にネットワーク境界を形成する、ユーザーが定義した IP アドレスおよびサブネットの集合を含む仮想プライベート ネットワークを意味します。

「**VPN Gateway**」とは、Virtual Network とお客様のオンプレミス ネットワークの間のクロスプレミス接続を容易にするゲートウェイを意味します。

「**ダウンタイム**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて専用回線を使用できなかった合計累積時間 (分) です。お客様が、Virtual Network に関連付けられている VPN Gateway への IP レベル接続の確立を 1 分間試行し、すべての試行が 30 秒以上失敗した場合に、その専用回線は 1 分間使用できなかったと見なされます。

「**月間稼働率**」は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット お客様による ExpressRoute サービス内の各専用回路の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Azure Firewall

用語の追加定義

「**Azure Firewall Service**」とは、お客様の仮想ネットワークに展開された論理ファイアウォール インスタンスを意味します。

1 つの可用性ゾーン内にデプロイされた Azure Firewall サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて Azure Firewall サービスがデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Azure Firewall サービスの 1 請求月間の最大利用時間 (分) のうち、その Azure Firewall サービスを使用できなかった合計累積時間 (分) です。Azure Firewall サービスへの接続の試行が 1 分間連続して失敗した場合、Azure Firewall サービスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

次のサービス レベルおよびサービス クレジットは、1 つの可用性ゾーン内にデプロイされるときに、**Azure Firewall Service** のお客様の使用に適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

2 つ以上の可用性ゾーン内にデプロイされた Azure Firewall Service の毎月のアップタイム計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、Microsoft サブスクリプションにおいて、同じリージョン内の 2 つ以上の可用性ゾーン内で 1 請求月間に Azure Firewall サービスがデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、2 つ以上の可用性ゾーン内でデプロイされた、所定の Azure Firewall サービスの 1 請求月間の最大利用時間 (分) のうち、Azure Firewall サービスを使用できなかった合計累積時間 (分) です。Azure Firewall Service への接続試行が 1 分間連続して失敗した場合、Azure Firewall Service はその 1 分間使用できなかったと見なされます。

2 つ以上の可用性ゾーン内にデプロイされた Azure Firewall の「**月間稼働率**」は、次の式を使用して計算します。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

同じリージョン内の 2 つ以上の可用性ゾーン内にデプロイされる場合、お客様の Azure Firewall Service の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Fluid Relay

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて所定の Azure Fluid Relay リソースが 1 つ以上デプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、1 請求月間に所定の Azure Fluid Relay リソースが 1 つ以上デプロイされていた合計累積時間 (分) のうち、Azure Fluid Relay リソースへのサービス コールを使用できなかった時間 (分) です。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Fluid Relay リソースの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Front Door and Azure Front Door (クラシック)

Azure Front Door and Azure Front Door (クラシック) の月間稼働率の計算およびサービス レベル

マイクロソフトは、お客様が使用する商業的に合理的な独立した測定システムからのデータを確認します。

お客様は、一般的に利用可能で、世界の主要な大都市圏 (中国を除く) の 5 つ以上の異なる場所を代表する標準エージェントの測定システムのリストから、一連のエージェントを選択する必要があります。

- 測定システムのテスト (頻度は、1 つのエージェントにつき 5 分あたり 1 回以上) は、以下のモデルに基づいて HTTP GET 操作を実行するよう構成されます。
- テストファイルは、お客様のバックエンド (Azure ストレージ アカウントなど) に配置されます。
- GET 操作では、適切な Microsoft Azure ドメイン名のホスト名からオブジェクトを要求することにより、Azure Front Door and Azure Front Door (クラシック) を通じてファイルを取得します。
- テストファイルは以下の基準を満たすものとします。
 - テストオブジェクトは 50 KB 以上のサイズのファイルである。
 - 生データは、測定期間中に技術的な問題が発生したエージェントの測定結果を削除するよう調整される。

「**月間稼働率**」とは、Azure Front Door and Azure Front Door (クラシック) がエラーなしでクライアントの要求に応答して要求されたコンテンツを配信する、HTTP トランザクションの割合 (%) です。Azure Front Door and Azure Front Door (クラシック) の月間稼働率は、オブジェクトが正常に配信された回数を、(誤ったデータを削除した後の) 要求の総数で割った値です。

お客様による Azure Front Door and Azure Front Door (クラシック) の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99.9% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

Azure Functions

用語の追加工義

「**Function App**」は関連するトリガーでデプロイされた 1 つ以上の関数を集めたものです。

従量課金プランの Function App に対する月間稼働率の計算とサービス レベル

「**トリガー実行総数**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が行ったすべての Function App の実行総数です。

「**利用不能実行数**」とは、トリガー実行総数のうち、利用できなかった実行総数です。トリガー起動後 5 分以内に、所定の Function App の履歴ログにアウトプットが捕捉されなかった場合、実行に失敗したことになります。

従量課金プランの Function App の「**月間稼働率**」は、トリガー実行総数から利用不能実行数を差し引き、トリガー実行総数で割った後で 100 を乗じて計算します。

$$\frac{\text{トリガー実行総数} - \text{利用不能実行数}}{\text{トリガー実行総数}} \times 100$$

お客様が従量課金プランの Function App を使用する場合、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

Premium プランまたは Dedicated App Service プランでの Function App に対する月間稼働率の計算とサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間ににおいて所定の Function App のトリガーが可能な総時間 (分) です。デプロイ時間 (分) は、ある月においてトリガーされる関数の実行数に基づいてではなく、サービスにおいて関数の実行をトリガーできる総時間に基づいて測定されます。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様がデプロイした所定の Function App のすべてのデプロイ時間 (分) の合計です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Function App をトリガーできなかった総時間 (分) です。所定の Function App がホストされているプラン (Premium プランまたは Dedicated App Service プラン) とマイクロソフトのインターネット ゲートウェイとの間の接続が 1 分間失われた時に、その Function App は 1 分間使用できなかったと見なされます。

Premium プランまたは Dedicated App Service プランでの Function App の「**月間稼働率**」は、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った後で 100 を乗じて計算します。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

HDInsight

用語の追加工義

「**クラスター インターネット ゲートウェイ**」とは、クラスターへのすべての接続要求を代理で行う HDInsight クラスター内の仮想マシンのセットを意味します。

「**デプロイ時間 (分)**」とは、所定の HDInsight クラスターが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**HDInsight クラスター**」または「**クラスター**」とは、HDInsight サービスの 1 つのインスタンスを実行する仮想マシンの集合を意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのクラスターにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

ダウンタイム: デプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、HDInsight サービスを使用できなかった時間です。クラスター インターネット ゲートウェイへの接続の確立を 1 分間連続して試行し、すべての試行が失敗した場合、そのクラスターは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Health Bot

用語の追加定義

「**Azure Health Bot プレミアム チャネル**」とは、Web チャットと Direct Line を含む、プレミアム カテゴリの Bot Framework チャネルを意味します。

「**Health Bot カスタマー アプリケーション**」とは、Azure Health Bot サービスに登録され、Azure Health Bot サービスからメッセージを送受信するように構成された、お客様のインターネット向け会話型 Health Bot アプリケーションを意味します。

「**Health Bot クライアント**」とは、Health Bot カスタマー アプリケーションのうち、エンド ユーザーが利用する部分を意味します。

「**Azure Health Bot**」とは、強力でインテリジェントな仮想アシスタントを構築、接続、テストおよび展開するためのプラットフォームを意味します。

「**Azure Health Bot チャネル API エンドポイント**」とは、Health Bot クライアントで Health Bot チャネルを介した HTTP 通信に使用される REST API エンドポイントを意味します。

「**API 要求総数**」とは、1 請求月間に Azure Health Bot チャネル API エンドポイントに対して Health Bot カスタマー アプリケーションまたは Health Bot クライアントが行った HTTP 要求の総数を意味します。

「**失敗した API 要求数**」とは、API 要求総数のうち、エラー コードを返した要求、または 2 分以内に応答しなかった要求の総数を意味します。

「**月間稼働率**」とは、API 要求総数から失敗した API 要求数を差し引き、API 要求総数で割り、100 を乗じた値です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{API 要求総数} - \text{失敗した API 要求数}}{\text{API 要求総数}} \times 100$$

お客様による Microsoft Health Bot チャネルの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Information Protection

ダウンタイム: エンド ユーザーが IRM ドキュメントおよび電子メールを作成または使用することができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間稼働率	サービス クレジット
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Azure IoT Central

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の IoT Central アプリケーションが所定の Microsoft Azure サブスクリプションにデプロイされていた総時間 (分) です。

「**デバイス ID 操作**」とは、IoT Central アプリケーションのデバイスで実行された作成、読み取り、更新、および削除操作を意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてデプロイされたすべての IoT Central アプリケーションにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**メッセージ**」とは、デプロイされた IoT Central アプリケーションが IoT Central アプリケーションに登録されたデバイスに送信した、または IoT Central アプリケーションに登録済みデバイスから受信したコンテンツを意味します。

ダウンタイム: 最大利用時間 (分) のうち、IoT Central アプリケーションを使用できなかった合計累積時間 (分) です。IoT Central アプリケーションでのメッセージの送受信試行、またはデバイス ID 操作の実行試行が 1 分間連続してエラー コードを返す、または 5 分以内に成功コードを返さなかった場合、IoT Central アプリケーションはその 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure IoT Hub

IoT Hub の月間稼働率の計算およびサービスレベル

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の IoT Hub が Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**デバイス ID 操作**」とは、IoT Hub のデバイス ID レジストリで実行する作成、読み取り、更新および削除操作を意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてデプロイされたすべての IoT Hub にわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**メッセージ**」とは、サービスのサポート対象であるプロトコルを使用して、デプロイされた IoT Hub が IoT Hub に登録されたデバイスに送信した、または IoT Hub が登録済みデバイスから受信したコンテンツを意味します。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてデプロイされたすべての IoT Hub にわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、その IoT Hub を使用できなかった時間です。IoT Hub でメッセージの送受信またはデバイス ID 操作を行おうとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、その IoT Hub は 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による IoT Hub の使用には、以下のサービスレベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービスレベルの例外: IoT Hub サービスの Free レベルは本 SLA の適用対象外です。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

IoT Hub デバイス プロビジョニング サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義:

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイした所定のデバイス プロビジョニング サービスの総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、デバイス プロビジョニング サービスを使用できなかった総時間 (分) です。デバイスプロビジョニング サービスでデバイスの登録またはレコードの登録操作を実施する試みが 1 分間連続してエラーコードに終わるか、または 2 分以内に成功コードが返されなかった場合に、そのデバイスプロビジョニングサービスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率:月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による IoT Hub デバイス プロビジョニング サービスの使用には、以下のサービスレベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Key Vault

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定のキー資格情報コンテナーが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**除外されるトランザクション**」とは、キー資格情報コンテナー、キー、またはシークレットを作成、更新、削除するためのトランザクションです。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様がデプロイしたすべてのキー資格情報コンテナーにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様がデプロイしたすべてのキー資格情報コンテナーにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、そのキー資格情報コンテナーを使用できなかった時間です。キー資格情報コンテナーで、除外されるトランザクション以外のトランザクションを実行しようとする試みが、1 分間連続してエラー コードに終わるか、またはマイクロソフトが要求を受領してから 5 秒以内に成功コードが返されなかった場合に、そのキー資格情報コンテナーは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Key Vault Managed HSM

Managed HSM の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Managed HSM ゾーンが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての Managed HSM にわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**除外されるトランザクション**」とは、Managed HSM、キー、ロール割り当て、ロール定義の作成、更新、削除、およびセキュリティドメインのダウンロード/アップロードを実行するためのトランザクションです。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての Managed HSM にわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、その Managed HSM を使用できなかった時間です。所定の Managed HSM で、除外されるトランザクション以外のトランザクションを実行しようとする試みが、1 分間連続してエラー コードに終わるか、またはマイクロソフトが要求を受領してから 5 秒以内に成功コードが返されなかった場合に、その Managed HSM は 1 分間使用できなかったと見なされます。

[目次](#)

→ [はじめに](#)

→ [一般条件](#)

→ [サービス固有の条件](#)

→ [付録](#)

Managed HSM サービスの「**月間稼働率**」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間の最大利用時間 (分) の総時間からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。
月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Managed HSM サービスの使用には、以下のサービスレベルおよびサービスクレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Kubernetes Service (AKS)

用語の追加定義

「**Azure Kubernetes Service (AKS) クラスター**」Kubernetes クラスターは、以下の 2 つの構成要素に分けられます。

- コントロール プレーン ノードは、コア Kubernetes サービスおよびアプリケーション ワークロードのオーケストレーションを提供します。
- ノードはアプリケーション ワークロードを実行します。

「**Kubernetes API Server**」Azure Kubernetes Service (AKS) クラスターを作成すると、コントロール プレーンが自動的に作成され構成されます。コントロール プレーンには API サーバーが含まれており、基になる Kubernetes API を公開します。

「**可用性ゾーン**」とは、Azure リージョン内の障害分離領域であり、冗長電源、冷却、およびネットワークを提供します。

可用性ゾーンを使用する AKS クラスターの月間稼働率の計算およびサービスレベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、停止または削除する操作をお客様が開始した時点まで、1 請求月間に可用性ゾーンで AKS クラスターが有効になっていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、リージョン内でプロビジョニングされた可用性ゾーンで有効になった AKS クラスターから Kubernetes API Server に接続されていなかった時間の合計累積時間 (分) です。

可用性ゾーンで有効になった AKS クラスターの「**月間稼働率**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、1 請求月間の最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

リージョン内の可用性ゾーンを有効にした AKS クラスターのお客様の使用には、以下のサービスレベルおよびサービスクレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

可用性ゾーンを使用しない AKS クラスターの月間稼働率の計算およびサービスレベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、クラスターを停止または削除する操作をお客様が開始した時点まで、1 請求月間にプロビジョニングされた AKS クラスターが有効になっていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、AKS クラスターが Kubernetes API Server に接続されていなかった時間の合計累積時間 (分) です。

「**月間稼働率**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、1 請求月間の最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

可用性ゾーンを有効にしていなかった AKS クラスターのお客様の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Azure ラボ サービス

用語の追加定義

「**ラボ仮想マシン**」とは、Azure Lab Services においてラボ内にプロビジョニングされた仮想マシンと定義されます。

「**ラボ仮想マシン接続**」とは、ラボ仮想マシンと、ラボ仮想マシンが許可されたトラフィック用に構成されている、TCP または UDP ネットワーク プロトコルを使用する他の IP アドレスとの間の、双方向ネットワークトラフィックを意味します。この IP アドレスは、ラボの仮想マシンと同じ仮想ネットワーク内の IP アドレスでも、ルーティング可能なパブリック IP アドレスでも構いません。

Azure Lab Services の月間稼働時間の計算とサービス レベル

「**月内時間 (分)**」とは、所定の月における総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、月内時間 (分) のうちラボ仮想マシン接続が確保されていなかった時間の合計累積時間 (分) です。

「**月間稼働率**」は、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてラボの仮想マシンでダウンタイムが発生した月内時間 (分) の割合で計算されます。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{月内時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{月内時間 (分)}} \times 100$$

お客様によるラボの仮想マシンの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Load Balancer

用語の追加定義

「**負荷分散エンドポイント**」とは、IP アドレスおよび関連付けられた IP トランスポート ポート定義です。

「**正常な仮想マシン**」とは、Azure Standard Load Balancer から送信される正常性プローブに対して成功コードを返す仮想マシンです。仮想マシンには、負荷分散ポートとの通信を許可するネットワーク セキュリティ グループ規則がなければなりません。

「**接続**」とは、トラフィックを許可するよう構成された任意の IP アドレスから送受信することができる、サポートされている IP トランスポート プロトコルを介した双方向のネットワークトラフィックを意味します。

Azure ロードバランサーの月間稼働率の計算およびサービス

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が Azure Standard Load Balancer (2 つ以上の正常仮想マシンにサービスを提供する) をデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、所定の Azure Standard Load Balancer を使用できなかった総時間 (分) です。すべての正常仮想マシンがロードバランスエンドポイント経由で、1 分間接続できない場合、1 分間使用できなかったと見なされます。ダウンタイムには、SNAT ポートの消耗が原因となった時間は含まれません。

Azure 標準ロードバランサーの「**月間稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割り、100 を乗じた値です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

お客様による Azure ロード バランサー 使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99.9% 未満	25%

サービス レベルの例外: 基本ロードバランサーについては SLA は提供されません。

[目次](#) / [定義](#)

Azure Load Testing

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Azure Load Testing サービス リソースが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての Azure Load Testing サービス リソースにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**ダウンタイム**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての Azure Load Testing サービス リソースにわたる合計デプロイ時間 (分) のうちロード テスト リソースを使用できなかった時間です。操作の実行を求めるすべての HTTP 要求がエラー コードに終わるか、5 分以内に応答が返されなかった場合に、所定のサービスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

「**月間稼働率**」は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Load Testing の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Log Analytics (クエリの可用性に関する SLA)

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様が特定の Log Analytics ワークスペースをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Log Analytics ワークスペースのデータを使用できなかった総時間 (分) です。HTTP 操作で成功コードが 1 分間返されなかった場合、所定の Log Analytics ワークスペースが 1 分間利用できなかったと見なされます。

特定の Log Analytics ワークスペースの「**月間クエリ稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割って 100 を乗じた値です。

月間クエリ稼働率: 月間クエリ稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間クエリ稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

Logic App

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間において所定の Logic App を Microsoft Azure で実行するように設定していた総時間 (分) です。デプロイ時間 (分) は、Logic App が作成された時点または Logic App を実行する操作をお客様が開始した時点から、Logic App を停止または削除する操作をお客様が開始した時点まで測定されます。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてすべての Logic Apps にわたりデプロイされていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての Logic App にわたるデプロイ時間のうち、Logic App を使用できなかった合計累積時間 (分) です。所定の Logic App とマイクロソフトのインターネット ゲートウェイ間で 1 分間連続して接続が失われたときに、その Logic App は 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Azure Machine Learning

Machine Learning によるリアルタイム スコアリングの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**トランザクション 試行総数**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションについて 1 請求月間にお客様が行った、API 要求の総数です。

「**失敗したトランザクション**」とは、トランザクション 試行総数のうち、エラー コードもしくは HTTP 4xx 状態コードを返した、または 600 秒以内に成功コードを返さなかったすべての要求のセットです。

「**月間稼働率**」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間のトランザクション 試行総数から失敗したトランザクション数を差し引き、トランザクション 試行総数で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{トランザクション 試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション 試行総数}} \times 100$$

お客様による、Machine Learning によるリアルタイム スコアリングの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Machine Learning によるコンピューティング管理の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**トランザクション 試行総数**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションについて 1 請求月間にお客様が行った、API 要求の総数です。

「**失敗したトランザクション**」とは、要求総数のうち、エラー コードもしくは HTTP 408 状態コードを返した、または 30 秒以内に成功コードを返さなかったすべての要求のセットです。

「**月間稼働率**」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間のトランザクション 試行総数から失敗したトランザクション数を差し引き、トランザクション 試行総数で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{トランザクション 試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション 試行総数}} \times 100$$

お客様による、Machine Learning によるマネジメント プレーン運用の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間稼働率	サービス クレジット
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Machine Learning Studio (クラシック)

Machine Learning Studio 要求応答サービス (RRS) の月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義

「失敗したトランザクション数」とは、トランザクション試行総数のうち、エラー コードに終わったすべての要求のセットです。

「トランザクション試行総数」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションについて 1 請求月間にお客様が行った、認証された REST RRS API 要求の総数です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

お客様による Machine Learning Studio RRS API サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

サービス レベルの例外: Azure Machine Learning Studio の Free レベルは本 SLA の適用対象外です。

Machine Learning Studio バッチ実行サービス (BES) および Management API サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義

「失敗したトランザクション数」とは、トランザクション試行総数のうち、エラー コードに終わったすべての要求のセットです。

「トランザクション試行総数」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションについて 1 請求月間にお客様が行った、認証された REST BES および管理 API 要求の総数です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

お客様による Machine Learning Studio BES および Management API サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービス レベルの例外: Azure Machine Learning Studio の Free レベルは本 SLA の適用対象外です。

[目次](#) / [定義](#)

Azure Maps

用語の追加定義

「トランザクション試行総数」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が行った、認証された API 要求の総数です。トランザクション試行総数には、最初のエラー コードを受信してから 5 分以内に繰り返し行われる、エラー コードを返す API 要求は含まれません。

「失敗したトランザクション数」とは、トランザクション試行総数のうち、エラー コードに終わるか、またはその他、サービスが受信してから 60 秒以内に成功コードが返されなかったすべての要求の数です。

Azure Map API の「月間稼働率」とは、トランザクション試行総数から失敗したトランザクション数を引いた数値をトランザクション試行総数で割り、100 を掛けた値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

お客様による Azure Maps API の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Media Services

用語の追加定義

「**割当送信帯域幅**」とは、メディア サービスについてお客様が管理ポータルで構成した帯域幅の量を意味します。割当送信帯域幅には、管理ポータルで「**ストリーミング ユニット**」またはこれに類似するラベルが付けられていることがあります。

「**チャネル**」とは、メディア データを受信するように構成されたメディア サービス内のエンドポイントを意味します。

「**エンコード**」とは、メディア サービス タスクで構成された、サブスクリプション単位のメディア ファイルの処理を意味します。

「**インデクサー タスク**」とは、所要時間が 5 分以上の MP3 入力ファイルから音声コンテンツを抽出するように構成された Media Services タスクを意味します。

「**メディア占有ユニット**」とは、Azure Media Services アカウントでお客様が購入した占有ユニットを意味します。

「**メディア サービス**」とは、管理ポータルに作成される、お客様の Microsoft Azure サブスクリプションに関連付けられた Azure Media Services アカウントを意味します。各 Microsoft Azure サブスクリプションには、2 つ以上のメディア サービスを関連付けることができます。

「**メディア サービス要求**」とは、お客様のメディア サービスに対して発行される要求を意味します。

「**メディア サービス タスク**」とは、お客様が構成した、メディア処理作業の個別の操作を意味します。メディア処理操作には、メディア ファイルのエンコードおよび変換が含まれます。

「**ストリーミング ユニット**」とは、1 つのメディア サービスについてお客様が購入した予約済みの送信容量を意味します。

「**有効なキー要求**」とは、お客様のメディア サービス内の既存のコンテンツ キーについてコンテンツ保護サービスに対して行われたすべての要求を意味します。

「**有効なメディア サービス要求**」とは、少なくとも 1 つのストリーミング ユニットが購入済みであり、メディア サービスに割り当てられている場合に、当該メディア サービスに関連付けられているお客様の Azure ストレージ アカウント内の、既存のメディア コンテンツに関するすべての適格なメディア サービス要求を意味します。有効なメディア サービス要求には、総スループットが割当帯域幅の 80% を超えるメディア サービス要求は含まれません。

エンコード サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**トランザクション試行総数**」とは、1 つのサブスクリプションについて 1 請求月間にお客様が行った、1 つのメディア サービスに関する認証された REST API 要求の総数です。トランザクション試行総数には、最初のエラー コードを受信してから 5 分以内に繰り返し行われる、エラー コードを返す REST API 要求は含まれません。

「**失敗したトランザクション数**」とは、トランザクション試行総数のうち、マイクロソフトが要求を受領してから 30 秒以内に成功コードが返されなかったすべての要求のセットです。

Azure Media Services エンコード サービスの「**月間稼働率**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて 1 請求月間のトランザクション試行総数から失敗したトランザクション数を差し引き、トランザクション試行総数で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

お客様による Azure Media Services エンコード サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

メディア インデクサーの月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義:

「**トランザクション試行総数**」とは、1 つのサブスクリプションについて 1 請求月間に、利用可能なメディア占有ユニットを使用してお客様が実行を試行したインデクサー タスクの総数です。

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

「失敗したトランザクション」とは、トランザクション試行総数のうち、a) 入力ファイルの所要時間の 3 倍の時間以内に完了しなかった、または b) インデクサー タスクがメディア占有ユニットを使用できるようになった時点から 5 分以内に処理が開始されなかった、インデクサー タスクのセットです。

メディア インデクサーの「月間稼働率」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて 1 請求月間のトランザクション試行総数から失敗したトランザクション数を差し引き、トランザクション試行総数で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

お客様によるメディア インデクサーの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

ストリーミング サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義:

「デプロイ時間 (分)」とは、1 請求月間において所定のストリーミング ユニットが購入され、1 つのメディア サービスに割り当てられていた総時間 (分) です。

「最大利用時間 (分)」とは、1 請求月間に購入され 1 つのメディア サービスに割り当てられたすべてのストリーミング ユニットにわたるすべてのデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: デプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、ストリーミング サービスを使用できなかった時間です。ストリーミング ユニットに対して行われた有効なすべてのメディア サービス要求が 1 分間連続してエラー コードに終わった場合に、そのストリーミング ユニットは 1 分間使用できなかったと見なされます。

Azure Media Services ストリーミング サービスの「月間稼働率」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて 1 請求月間の最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Media Services オンデマンド ストリーミング サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Video Indexer サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義:

「トランザクション試行総数」とは、サブスクリプションについて 1 請求月間にお客様が行った、認証された Video Indexer API 要求の総数です。トランザクション試行総数には、最初のエラー コードを受信してから 5 分以内に繰り返し行われる、エラー コードを返す Video Indexer API 要求や、ファイルをバイト配列コンテンツとして送信する POST アップロード要求は含まれません。

「失敗したトランザクション数」とは、トランザクション試行総数のうち、エラー コードに終わるか、またはその他、クライアントによる要求の送信が完了してから 360 秒以内に応答が送信されなかったすべての要求の数です。

Video Indexer サービスの「月間稼働率」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて 1 請求月間のトランザクション試行総数から失敗したトランザクション数を差し引き、トランザクション試行総数で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

お客様による Azure Video Indexer サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%

月間稼働率	サービス クレジット
99% 未満	25%

ライブ チャネルの月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間において所定のチャネルが購入され、1 つのメディア サービスに割り当てられて、実行状態にあった総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に購入され 1 つのメディア サービスに割り当てられたすべてのチャネルにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: デプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、ライブ チャネル サービスを使用できなかった時間です。所定のチャネルについて 1 分間連続して外部接続が失われた場合、そのチャネルは 1 分間使用できなかったと見なされます。

ライブ チャネル サービスの「**月間稼働率**」とは、所定の Azure サブスクリプションにおいて 1 請求月間の最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Media Services ライブ チャネル サービスの使用には、以下のサービスレベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

コンテンツ保護サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義

「**トランザクション試行総数**」とは、所定の Azure サブスクリプションについて 1 請求月間にお客様が行った、すべての有効なキー要求を意味します。

「**失敗したトランザクション数**」とは、トランザクション試行総数に含まれるすべての有効なキー要求のうち、エラー コードに終わるか、またはその他コンテンツ保護サービスが受信してから 30 秒以内に成功コードが返されなかったトランザクションを意味します。

Azure Media Services の「**月間稼働率**」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて 1 請求月間のトランザクション試行総数から失敗したトランザクション数を差し引き、トランザクション試行総数で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

お客様による Azure Media Service コンテンツ保護サービスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft Cost Management

Azure Cost Management の可用性の月間稼働率の計算

「**要求総数**」とは、所定の 1 請求月間に使用された、クラウド間の ACM サービスの要求の総数です。

「**失敗した要求**」とは、要求総数のうち、エラー コードを返した、またサービスを提供できなかった Azure Cost Management サービスへのすべての要求のセットです。

「**月間稼働率**」とは、1 請求月間の要求総数から失敗した要求数を差し引き、要求総数で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{要求総数} - \text{失敗した要求数}}{\text{要求総数}} \times 100$$

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

お客様による Azure Cost Management の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

追加条件: 使用金額データを収集できない原因が AWS エンドポイント、Azure Cost Management の外部のサービス、お客様による Azure SLA 構成の変更に関連する問題である場合、SLA は適用されません。

[目次 / 定義](#)

Microsoft Genomics

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が作成したすべての Microsoft Genomics アカウントがアクティブになっていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Microsoft Genomics を使用できなかった総時間 (分) です。認証された Genomics サービス REST API 要求を送信しようとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、1 分以内に受信確認が返されなかった場合に、Microsoft Genomics は 1 分間使用できなかったと見なされます。

Microsoft Genomics の「**月間稼働率**」は、次の計算式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Mobile Services

用語の追加定義

「**失敗したトランザクション数**」には、トランザクション試行総数に含まれる API 呼び出しのうち、エラー コードに終わるか成功コードが返されなかったトランザクションが含まれます。

「**トランザクション試行総数**」とは、Azure Mobile Services が実行されている所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、1 請求月に Azure Mobile Services に対して行われた API 呼び出しの累積総数です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービス レベルの例外: サービス レベルおよびサービス クレジットは、お客様による Standard および Premium レベルの Mobile Services の使用に適用されます。Mobile Services の Free レベルは本 SLA の適用対象外です。

[目次 / 定義](#)[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

Azure Monitor

Azure Monitor Alert の月間稼働率の計算およびサービス

用語の追加定義:

「**アラート ルール**」とは、アラート サービスで既に分析に利用できる監視イベント データを使ってアラートを生成するために使用される信号条件の集合です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様がアラート ルールをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、アラート ルールを使用できなかった総時間 (分) です。アラート ルール内部で定義されたリソースのテレメトリ信号を分析しようとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、またはスケジュールされたアラート開始時間から 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、所定のアラート ルールは 1 分間使用できなかったと見なされます。

「**月間稼働率**」とは、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割り、100 を乗じた値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Monitor アラートの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Azure Monitor Notification Delivery の月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義

「**アクション グループ**」とは、所定の優先通知配信方法を定義するアクションの集合です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様がデプロイしたアクション グループのすべてのデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: 最大利用時間 (分) のうち、アクション グループを使用できなかった総時間 (分) です。アクション グループに関連してアラートの送信または登録管理操作を行おうとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、そのアクション グループは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間の最大利用時間 (分) の総時間からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス レベルとサービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Log Analytics および Application Insights も参照してください。

[目次 / 定義](#)

Multi-Factor Authentication サービス

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Multi-Factor Authentication プロバイダーが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての Multi-Factor Authentication プロバイダーにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての Multi-Factor Authentication プロバイダーにわたるデプロイ時間のうち、Multi-Factor Authentication サービスが Multi-Factor Authentication プロバイダーの認証要求を受信または処理できなかった合計累積時間 (分) です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure NetApp Files

用語の追加定義

「**ボリューム**」とは、ファイル システムを備えた Azure NetApp Files 内の論理ストレージ リソースであり、データを保存するために使用されます。
「**ボリューム接続**」とは、ボリュームと、ボリュームが許可されたトラフィック用に構成されている、TCP または UDP ネットワーク プロトコルを使用する他の IP アドレスとの間の、双方向ネットワークトラフィックを意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様がボリュームをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Azure リージョン内でボリューム接続がされていなかった時間の合計累積時間 (分) です。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Network Watcher

用語の追加定義

「**ネットワーク診断ツール**」とは、ネットワーク診断およびトポロジ ツールの集合です。

「**最大診断チェック数**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様の構成に従ってネットワーク診断ツールが実施した診断操作の総数です。

「**失敗した診断チェック数**」とは、最大診断チェック数のうち、エラー コードを返すか、または下表に規定する最大処理時間以内に応答を返さなかった診断操作の総数です。

診断ツール	最大処理時間
IP フローの確認 次ホップ パケット キャプチャ セキュリティ グループ ビュー トポロジ 接続モニター 接続モニター (クラシック)	2 分
VPN トラブルシューティング	10 分

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**月間稼働率**」は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大診断チェック数} - \text{失敗した診断チェック数}}{\text{最大診断チェック数}} \times 100$$

サービスレベル:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Notification Hubs

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Notification Hub が Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて Notification Hub の Basic または Standard レベルに基づきお客様がデプロイしたすべての Notification Hub にわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて Notification Hub の Basic または Standard レベルに基づきお客様がデプロイしたすべての Notification Hub にわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、Notification Hub を使用できなかった時間です。所定の Notification Hub に関連して通知の送信または登録管理操作を行おうとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、その Notification Hub は 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービスレベルの例外: サービスレベルおよびサービス クレジットは、お客様による Notification Hub の Basic および Standard レベルの使用に適用されます。Notification Hubs の Free レベルは本 SLA の適用対象外です。

[目次](#) / [定義](#)

Azure Virtual Machines のオンデマンド キャパシティ予約

用語の追加定義

「**可用性ゾーン**」とは、Azure リージョン内の障害分離領域であり、冗長電源、冷却、およびネットワークを提供します。

「**キャパシティ**」は、仮想マシン インスタンスの予約数量を指定するオンデマンド キャパシティ予約の属性です。

「**オンデマンド キャパシティ予約**」は、Azure サブスクリプションで生成されるオブジェクトで、特定の場所にある特定の仮想マシン インスタンスについて予約したキャパシティの数量です。

「**仮想マシン**」とは、Azure のマルチテナント環境で、個別にまたは Virtual Machine Scale Set の一部としてデプロイできる永続的なインスタンスの種類を意味します。

「**割り当て済み仮想マシン**」は、オンデマンド キャパシティ予約の属性です。オンデマンド キャパシティ予約に割り当てられた仮想マシンのリストを参照してください。

「**サポートされるデプロイ**」は、仮想マシンのデプロイを意味し、定義されている場合は可用性ゾーンなどの場所に一致します。既存のオンデマンド キャパシティ予約の正確な仮想マシン サイズを使用しており、機能の[使用法ドキュメント](#)に準拠しています。

「**予約ユニット**」とは、オンデマンド キャパシティ予約の 1 つのインスタンスを意味します。たとえば、オンデマンド キャパシティ予約で仮想マシン 10 台のキャパシティが指定された場合は、10 台の予約ユニットがあります。

「**未使用キャパシティ予約**」とは、割り当て済み仮想マシンの数量がキャパシティに満たないオンデマンド キャパシティ予約を意味します。

「**デプロイに使用不可**」は、未使用キャパシティ予約を使用するように構成された、次の 2 つの条件を満たす、サポートされるデプロイとして定義されています。

[目次](#)

→ [はじめに](#)

→ [一般条件](#)

→ [サービス固有の条件](#)

→ [付録](#)

- i. 仮想マシン キャパシティの不足を示すエラーを受信する。仮想マシン デプロイの障害で、他のエラー タイプに属するか、ディスクのキャパシティ不足、または他の Azure リソースがこの要件を満たしていない、また
- ii. オンデマンド キャパシティ予約が引き続き未使用キャパシティ予約の定義を満たしている (他の仮想マシンが未使用キャパシティ予約を使い切っていないなど)。

オンデマンド キャパシティ予約の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**使用不可時間 (分)**」は、未使用キャパシティ予約がデプロイに使用不可となった時間 (分) として定義されています。デプロイに使用不可の条件が発生したときから、使用不可時間 (分) は、(a) 後続のサポートされるデプロイが成功するまで、(b) 別のサポートされるデプロイの試みによって他のデプロイに使用不可の条件が引き起こされるまで、または (c) 15 分経過するまで累積されます。サポートされるデプロイが試みられないまま 15 分経過した場合、使用不可時間 (分) は後続のデプロイに使用不可の条件が発生した時点で再び累積されます。

使用不可時間 (分) は、使用できない各予約ユニットについて累積されます。1 つの予約ユニットが使用されるようになっても別のユニットが未使用の場合、使用不可時間 (分) は未使用の予約ユニットについてのみ引き続き累積されます。

機能ドキュメントの [example calculation](#) を参照してください。

「**ダウンタイム**」とは、所定の月間稼働時間 (分) のうち予約ユニットあたりの使用不可時間の合計累積時間 (分) を意味します。各予約ユニットの「**月間稼働率**」は、予約ユニットでダウンタイムが発生した月内時間 (分) の割合が算出されます。

$$\frac{\text{月内時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{月内時間 (分)}} \times 100$$

お客様によるオンデマンド キャパシティ予約の各予約ユニットの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。サービス クレジットは、オンデマンド キャパシティ予約の総費用ではなく、各予約ユニットの費用に基づいて発行されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Azure Orbital Ground Station

用語の追加定義

「**Azure Orbital Ground Station Service**」は、お客様の衛星から Microsoft Azure までの軌道で低遅延接続を提供する完全に管理された地上局サービスです。本 SLA においては、サービスはマイクロソフトが所有し運営する地上局に対してのみ接続を構成し、マイクロソフトのパートナーが所有し運営する地上局に対しては構成しません。

「**スケジュールされた接続**」とは、マイクロソフトが所有し運営する Azure Orbital Ground Station とお客様の衛星間の接続で、お客様が (Azure Portal または API 経由で) 要求し、マイクロソフトがスケジュールした (要求された接続のステータスが Azure Portal または API インターフェースに「スケジュール済み」と表示される) ことが確認されています。

「**ダウンタイム**」とは、スケジュールされた接続時間のうち、データが、顧客の衛星から Azure 上の顧客の仮想ネットワーク エンドポイントまで、または Azure 上の顧客の仮想ネットワーク エンドポイントから顧客の衛星まで、いずれの場合も Azure Orbital Ground Station サービスの障害によりエンドツーエンドで渡されない時間です。

月間接続成功率およびサービス レベル

管理対象コンテナー レジストリの「**月間接続成功率**」とは、スケジュールされた接続時間 (分) から総ダウンタイム時間 (分) を差し引き、スケジュールされた接続時間 (分) で割った値です。これを数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{スケジュールされた総接続時間 (分)} - \text{ダウンタイム (分)}}{\text{スケジュールされた総接続時間 (分)}} \times 100$$

当該月間サービス料金については Azure Orbital Ground Station サービスに、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間接続成功率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間接続成功率	サービス クレジット
98% 未満	25%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Private 5G Core

用語の追加定義

「**当該月間サービス料金**」とは、サービス クレジットの支払義務を負う月に適用される、お客様が本サービスに対して実際に支払った合計料金を意味します。

「**コントロール プレーン操作**」とは、3GPP 信号メッセージを意味します。

「**ダウンタイム**」は、以下のサービス固有の条件においてサービスごとに定義されます。

「**オンライン サービス**」とは、お客様が本サービスを管理するために使用することができる、マイクロソフトが提供する Web インターフェイスを意味します。

「**サービスレベル**」とは、マイクロソフトが本サービスの提供において遵守することに同意した、本 SLA に規定するパフォーマンスの指標を意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいて所定の Private 5G Core がデプロイされていた合計累積時間 (分) です。Edge Service の場合、以下の条件のために使用できなかった時間 (分) は計算に含まれません。

- 物理プラットフォームまたはオペレーティング システムを使用できなかったとき。
- 予定されたソフトウェア アップグレードの時間帯。
- システムが製品ドキュメントに定義された定格負荷を超えて実行されたとき。
- Edge サービスが実行している物理プラットフォーム外のネットワークの問題のために使用できなかったとき。
- Azure Private 5G Core または基礎となるオペレーティング システムの構成によってシステムが正常に要求を処理できなかったとき。

所定の Azure Private 5G Core の「**月間稼働率**」とは、Azure Private 5G Core の 1 請求月間の最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\text{月間稼働率} \% = \frac{(\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム})}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

このサービスには、エッジ サービスとオンライン サービスの 2 つの構成要素があり、各構成要素のダウンタイムの説明は以下のとおりです。

エッジ サービス: 以下の各号のいずれかに該当する場合、1 分間のダウンタイムと見なされます。

- サービスが、1 分間すべてのコントロール プレーン操作に対して応答または処理を行わない。
- 完全に確立された PDU セッションで転送されたパケットが 99.9% に満たない。

オンライン サービス: サービスのリソースを作成、更新、または表示しようとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 2 分以内に成功コードが返されなかった場合は、1 分間のダウンタイムと見なされます。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービスレベルの例外:

- G0 は本 SLA の適用対象外です。
- パフォーマンスまたは可用性の問題の原因
 - マイクロソフトが提供したもの以外のサービス、ハードウェアまたはソフトウェアの使用 (帯域幅の不足に起因する問題または第三者のソフトウェアもしくはサービスに関連する問題を含みますがこれらに限定されません)
 - お客様による、所要構成要件の不遵守、サポート対象プラットフォームの不使用、利用規定の不履行、または、お客様による、本サービスの機能に適合しない (サポートされていない操作の実行を試みることなど)、またはマイクロソフトから公開されているガイドダンスに適合しない方法での本サービスの使用
 - お客様による規定のクォータを超える操作の実行の試み、またはマイクロソフトによる、不正行為と疑われる行為の調整

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

- パッチを適用するためのダウンタイムが発生し、インフラストラクチャが稼働率の計算から除外される月間メンテナンス期間。

[目次](#) / [定義](#)

Azure Private Link

用語の追加定義

「**Azure Private Link Service**」とは、Azure Private Link が有効にされ、お客様独自の仮想ネットワーク内にデプロイされるお客様独自のサービスのことです。

「**Azure Private Endpoint**」とは、Azure Private Link が有効になっているサービスを、お客様の仮想ネットワークのプライベート IP アドレスに接続するネットワーク インターフェイスです。

月間稼働率の計算

「**最大利用時間 (分)**」とは、Microsoft Azure サブスクリプションにおいて 1 請求月間に Azure Private Link Service または Azure Private Endpoint がデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Azure Private Link Service または Azure Private Endpoint に対する 1 請求月間の最大利用時間 (分) のうち、Azure Private Link Service または Azure Private Endpoint を使用できなかった合計累積時間 (分) です。Azure Private Endpoint の接続試行が 1 分間連続して失敗した場合、Azure Private Endpoint はその 1 分間使用できなかったと見なされます。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Red Hat OpenShift

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Azure Red Hat OpenShift クラスターが Microsoft Azure サブスクリプションにデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、1 請求月間の最大利用時間 (分) のうち、所定の Azure Red Hat OpenShift クラスター API エンドポイントが使用できなかった合計累積時間 (分) です。クラスター API エンドポイントへの接続試行が 1 分間連続して失敗した場合、クラスターはその 1 分間使用できなかったと見なされます。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Remote Rendering

用語の追加定義

「**変換**」とは、レンダリング セッション中に 3D モデルを必要な形式に変換するプロセスを意味します。

「**レンダリング セッション**」は、Remote Rendering サービスとの相互作用を意味します。

変換 REST API トランザクションの月間稼働率の計算およびサービス レベル

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**トランザクション試行総数**」とは、所定のサブスクリプションにおいて 1 請求月間にお客様が行った、Azure Remote Rendering サービスの変換機能に対する認証された REST API 要求の総数です。トランザクション試行総数には、最初のエラーコードを受信してから 5 分以内に繰り返し行われる、エラーコードを返す REST API 要求は含まれません。

「**失敗したトランザクション数**」とは、トランザクション試行総数のうち、マイクロソフトが要求を受領してから 30 秒以内にエラーコードが返されたすべての要求のセットです。

Azure Remote Rendering サービスの「**月間稼働率**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間のトランザクション試行総数から失敗したトランザクション数を差し引き、トランザクション試行総数で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

お客様による Azure Remote Rendering サービスの変換機能の使用には、以下のサービスレベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

レンダリング セッションの月間稼働時間の計算とサービス レベル

「**デプロイ時間**」とは、1 請求月間中、お客様が操作を開始したことでレンダリング セッションが割り当てられてから、お客様がある操作を開始し、その結果セッションが停止するまでのレンダリング セッションにおける合計分数です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間におけるデプロイ時間 (分) を、すべてのレンダリング セッションを通して合計した時間です。

「**ダウンタイム**」とは、デプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、Remote Rendering サービスを使用できなかった時間です。所定のレンダリング セッションについて 1 分間連続して外部接続が失われた時に、そのセッションは 1 分間使用できなかったと見なされます。

レンダリング セッションの「**月間稼働率**」とは、特定の Azure サブスクリプションの 1 請求月間の最大利用時間 (分) の総時間からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Azure Remote Rendering サービスのレンダリング セッションの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Route Server

月間稼働率の計算

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Azure Route Server が Microsoft Azure サブスクリプションにデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Azure Route Server を使用できなかった合計累積時間 (分) です。Azure Route Server への接続試行が 1 分間連続して失敗した場合、Azure Route Server はその 1 分間使用できなかったと見なされます。

所定の Azure Route Server の「**月間稼働率**」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間について、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による各 Azure Route Server の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

SAP HANA on Azure Large Instances

用語の追加定義

「**単一インスタンスに対する通知済みメンテナンス**」とは、単一インスタンスに影響を及ぼす、ネットワーク、ハードウェア、または本サービスの保守もしくはアップグレードに関するダウンタイムの期間を意味します。マイクロソフトは、当該ダウンタイム開始の少なくとも 5 日前までに通知を公開するかお客様に通知します。

「**高可用性ペア**」とは、同じリージョンにデプロイされ、お客様によってアプリケーション層のシステムのレプリケーション用に構成された、2 つ以上の同一の SAP HANA on Azure ラージ インスタンスを意味します。お客様は、アーキテクチャ設計プロセスにおいて、高可用性ペアの構成体をマイクロソフトに申告する必要があります。

「**SAP HANA on Azure 接続**」とは、SAP HANA on Azure ラージ インスタンスと、当該インスタンスが許可されたトラフィック用に構成されている、TCP または UDP ネットワークプロトコルを使用する他の IP アドレスとの間の、双方向ネットワークトラフィックを意味します。IP アドレスは、関連付けられた Azure サブスクリプションの仮想ネットワーク上の IP アドレスでなければなりません。

「**単一インスタンス**」とは、高可用性ペアにデプロイされていない、単一の Microsoft SAP HANA on Azure Large インスタンス マシンと定義されます。

SAP HANA on Azure 高可用性ペアの月間稼働率の計算およびサービスレベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、同じ高可用性ペアにデプロイされたすべての SAP HANA on Azure インスタンスの、1 請求月間における合計累積時間 (分) です。最大利用時間 (分) は、お客様が開始した操作の結果として同じ高可用性ペア内の 2 つ以上のインスタンスの両方が開始された時点から、お客様が当該インスタンスを停止する操作を開始した時点まで測定されます。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち SAP HANA on Azure 接続が確保されていなかった時間の合計累積時間 (分) です。

月間稼働率: SAP HANA on Azure 高可用性ペアの月間稼働率は、次の計算式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

SAP HANA on Azure 高可用性ペアのサービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99.9% 未満	25%

SAP HANA on Azure 単一インスタンスの月間稼働率の計算およびサービスレベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様がデプロイしたすべての SAP HANA on Azure 単一インスタンスの合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち SAP HANA on Azure 接続が確保されていなかった時間の合計累積時間 (分) です。ダウンタイムには、単一インスタンスに対する通知済みメンテナンスは含まれません。

月間稼働率: SAP HANA on Azure 単一インスタンスの月間稼働率は、次の計算式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による SAP HANA on Azure 単一インスタンスの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

[目次 / 定義](#)

Scheduler

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間における総時間 (分) です。

「**予定実行時間**」とは、スケジュールされたジョブの実行開始が予定されている時間を意味します。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**スケジュールされたジョブ**」とは、指定したスケジュールに従って Microsoft Azure 内で実行するようにお客様が指定したアクションを意味します。

ダウンタイム: 1 請求月間においてお客様のスケジュールされたジョブの 1 つ以上の実行が遅延していた時間の合計累積時間 (分) です。予定実行時間後に実行が開始されていない場合、スケジュールされたジョブは実行が遅延していると見なされます。ただし、スケジュールされたジョブの実行が予定実行時間から 30 分以内に開始された場合、かかる実行遅延時間はダウンタイムと見なされないものとします。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Service-Bus

用語の追加定義

「**メッセージ**」とは、Service Bus がサポートするプロトコルを使用して、Service Bus のリレー、キューまたはトピックを通じて送受信される、ユーザーが定義したコンテンツを意味します。

リレーの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定のリレーが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのリレーにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのリレーにわたるデプロイ時間のうち、そのリレーを使用できなかった合計累積時間 (分) です。リレーへの接続を確立しようとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、そのリレーは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: リレーの月間稼働率とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間について、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様によるリレーの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

キューおよびトピックの月間稼働率の計算およびサービス レベル

用語の追加定義:

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定のキューまたはトピックが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのキューおよびトピックにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのキューおよびトピックにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、そのキューまたはトピックを使用できなかった時間です。キューまたはトピックでメッセージの送受信またはその他の操作を行おうとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、そのキューまたはトピックは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: キューおよびトピックの場合、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて最大利用時間 (分) の総時間からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様によるキューおよびトピックの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure SignalR サービス

用語の追加定義

「**ダウンタイム**」とは、SignalR サービスの 1 請求月間の最大利用時間 (分) のうち、SignalR サービスを使用できなかった合計累積時間 (分) です。SignalR トランザクションを送信しようとする試みがすべて、1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 1 分以内に成功コードが返されなかった場合に、SignalR サービスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、お客様が SignalR サービスをデプロイしていた総時間 (分) です。

「**SignalR サービス エンドポイント**」とは、SignalR トランザクションを実行するためにサーバーまたはクライアントが SignalR サービスにアクセスする場合の、アクセス元となるホスト名を意味します。

「**SignalR サービス トランザクション**」とは、SignalR サービス エンドポイントを通じてクライアントからサーバーに、またはサーバーからクライアントに送信されたトランザクション要求のセットです。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による SignalR サービス Standard レベルの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。SignalR サービスの Free レベルは本 SLA の適用対象外です。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Site Recovery

用語の追加定義

「**フェールオーバー**」とは、保護されたインスタンスの制御を、シミュレーションとしてまたは実際にプライマリ サイトからセカンダリ サイトに移行する処理を意味します。

「**オンプレミスと Azure 間のフェールオーバー**」とは、保護されたインスタンスの、Azure 以外のプライマリ サイトから Azure 上のセカンダリ サイトへのフェールオーバーを意味します。

「**Azure 間のフェールオーバー**」とは、保護されたインスタンスの、Azure プライマリ サイトから Azure セカンダリ サイトへのフェールオーバーを意味します。

「**オンプレミス間のフェールオーバー**」とは、保護されたインスタンスの、Azure 以外のプライマリ サイトから Azure 以外のセカンダリ サイトへのフェールオーバーを意味します。

「**保護されたインスタンス**」とは、Site Recovery サービスによってプライマリ サイトからセカンダリ サイトにレプリケートするように構成されている仮想または物理マシンを意味します。保護されたインスタンスは、管理ポータル [復旧サービス] セクションにある [保護された項目] タブに列挙されます。

オンプレミス間のフェールオーバーに関する月間稼働率の計算およびサービス レベル

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**フェールオーバー時間 (分)**」とは、1 請求月間に保護されたインスタンスのオンプレミス間のフェールオーバーを試行して完了しなかった総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間において所定の保護されたインスタンスが Azure Site Recovery サービスによってオンプレミス間でレプリケートするように構成されていた総時間 (分) です。

「**保護されたインスタンス**」とは、Azure Site Recovery サービスによってプライマリ サイトからセカンダリ サイトにレプリケートするように構成されている仮想または物理マシンを意味します。保護されたインスタンスは、管理ポータル [復旧サービス] セクションにある [保護された項目] タブに列挙されます。

ダウンタイム: Azure Site Recovery サービスを使用できなくなり、保護されたインスタンスのフェールオーバーを 30 分に 1 回以上の頻度で継続的に再試行してもフェールオーバーできなかったフェールオーバー時間の合計累積時間 (分) です。

月間稼働率: 所定の請求月における特定の保護されたインスタンスのオンプレミス間のフェールオーバーの場合、最大利用時間 (分) の総時間からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

オンプレミス間のフェールオーバーのためにお客様が Site Recovery サービス内で保護されたインスタンスを使用する場合には、それぞれ以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

オンプレミスと Azure 間のフェールオーバーに関する月間目標復旧時間およびサービス レベル

「**目標復旧時間 (RTO)**」とは、お客様が、オンプレミスと Azure 間のレプリケーションにおいて計画上または計画外の停止が発生した保護されたインスタンスのフェールオーバーを開始した時点から、保護されたインスタンスが Microsoft Azure で仮想マシンとして実行される時点までの時間を意味します。ただし、手動アクションまたはお客様のスクリプトの実行に関連する時間は除きます。

「**月間目標復旧時間**」: 所定の請求月におけるオンプレミスと Azure 間のレプリケーション用に構成された特定の保護されたインスタンスについては、月間目標復旧時間は 2 時間とします。

オンプレミスと Azure 間のフェールオーバーのためにお客様が Site Recovery サービス内で保護されたインスタンスを使用する場合には、それぞれ以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間目標復旧時間	サービス クレジット
2 時間超	100%

Azure 間のフェールオーバーに関する月間目標復旧時間およびサービス レベル

「**目標復旧時間 (RTO)**」とは、お客様が Azure 間でレプリケーションするために、保護されたインスタンスのフェールオーバーを開始した時点から、保護されたインスタンスがセカンダリ Azure リージョンで仮想マシンとして実行される時点までの時間を意味します。ただし、手動アクションまたはお客様のスクリプトの実行に関連する時間は除きます。

所定の請求月における Azure 間のレプリケーション用に構成された特定の保護されたインスタンスについては、「**月間目標復旧時間**」は 2 時間とします。

Azure 間のフェールオーバーのためにお客様が Site Recovery サービス内で保護されたインスタンスを使用する場合には、それぞれ以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間目標復旧時間	サービス クレジット
2 時間超	100%

[目次 / 定義](#)

Spatial Anchors

用語の追加定義

「**トランザクション試行総数**」とは、所定の Azure Spatial Anchors API において 1 請求月間にお客様が行った Azure Spatial Anchors に関する認証された API 要求の総数です。トランザクション試行総数には、最初のエラー コードを受信してから 5 分以内に繰り返し行われる、エラー コードを返す API 要求は含まれません。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**失敗したトランザクション数**」とは、トランザクション試行総数のうち、エラー コードに終わった Azure Spatial Anchors API に対するすべての要求のセットです。

月間稼働率の計算

Azure Spatial Anchors の「**月間稼働率**」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間のトランザクション試行総数から失敗したトランザクション数を差し引き、トランザクション試行総数で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}} \times 100$$

Azure Spatial Anchors API には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Spring Apps

用語の追加定義

「**アプリ**」とは、Azure Spring Apps 内でお客様がデプロイする Spring Boot App を意味します。Basic レベルのアプリは除きます。

「**Spring Apps Service Runtime**」とは、マイクロソフトによってホスティングされる Spring Apps コンポーネント (Spring Apps Config Server、Spring Apps Registry など) の集合です。

Azure Spring Apps の月間稼働時間の計算およびサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間において所定のアプリを Microsoft Azure で実行するように設定していた総時間 (分) です。デプロイ時間 (分) は、アプリが作成された時点またはアプリを実行する操作をお客様が開始した時点から、アプリを停止または削除する操作をお客様が開始した時点まで測定されます。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのアプリにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**ダウンタイム**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのアプリにわたるデプロイ時間 (分) の合計のうち、そのアプリを使用できなかった合計時間 (分) です。アプリと、マイクロソフトのインターネット ゲートウェイまたは Azure Spring Apps Service Runtime の間の接続を行おうとする試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 5 分以内に成功コードが返されなかった場合に、そのアプリは 1 分間使用できなかったと見なされます。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure SQL Database

用語の追加定義

「**可用性ゾーン**」とは、Azure リージョン内の障害分離領域であり、冗長電源、冷却、およびネットワークを提供します。

「**データベース**」とは、いずれかのサービス層で作成され、1 つのデータベースとして、もしくはエラスティック プールでデプロイされる Microsoft Azure SQL Database を意味します。

「**ゾーン冗長デプロイ**」は、複数の可用性ゾーンにデプロイされるデータベースです。

「**プライマリ**」とは、他の Azure リージョン内で、データベースとアクティブ ジオ (主要地域) レプリケーション関係を持つデータベースを意味します。プライマリは、アプリケーションからの読み取りおよび書き込み要求を処理することができます。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**セカンダリ**」とは、他の Azure リージョン内でプライマリと非同期ジオ (主要地域) レプリケーション関係を維持するデータベースまたはマネージ インスタンスで、フェールオーバー ターゲットとして使用できるものを意味します。セカンダリは、アプリケーションからの読み取り専用リクエストを処理することができます。

「**対応セカンダリ**」とは、プライマリと同じ構成、同じサービス層内で作成されたセカンダリを意味します。セカンダリがエラスティック プール内で作成される場合、プライマリとセカンダリの両方が、マッチング構成を持ち、対応する構成に対して 250 データベースを超えない密度を持つエラスティック プール内で作成される場合に対応と見なされます。

Azure SQL Database サービス の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定のデータベースが Microsoft Azure で利用可能であった総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおけるデプロイ時間 (分) を合計した時間です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてすべてのデータベースにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、そのデータベースを使用できなかった時間です。データベースへの接続の確立を 1 分間連続して試行し、すべての試行が失敗した場合、そのデータベースは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 所定のデータベースについて、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて最大利用時間 (分) の総時間からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様によるゾーン冗長デプロイ向けに構成されている SQL Database サービスの General Purpose、Business Critical、または Premium レベルの使用には、次のサービス レベルとサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.995% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

お客様によるゾーン冗長デプロイ向けに構成されている SQL Database サービスの General Purpose、Business Critical、または Premium レベルの使用には、次のサービス レベルとサービス クレジットは適用されません。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

お客様による SQL Database サービスの Basic または Standard レベルの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

目標回復ポイント (RPO)

「**ジオ (主要地域) レプリケーション リンク**」とは、特定のプライマリとセカンダリ間の接続を表すプログラム上のオブジェクトです。

「**ジオ (主要地域) レプリケーション ラグ**」とは、プライマリにトランザクションがコミットされた時から、そのトランザクション ログの更新が持続しているとセカンダリが確認するまでの時間幅です。

「**レプリケーション ラグ チェック**」とは、特定のジオ (主要地域) レプリケーション リンクのジオ (主要地域) レプリケーション ラグ値を取得するプログラム メソッドです。

「**目標回復ポイント (RPO)**」とは、5 秒を超えないジオ (主要地域) レプリケーション ラグを意味します。

「**N**」とは、所定の時間内に行われる、所定のジオ (主要地域) レプリケーション リンクに対するレプリケーション ラグ チェックの回数です。

「**S**」とは、所定の時間内に行われる、所定のジオ (主要地域) レプリケーション リンクに対するレプリケーション ラグ チェック結果 (昇順) のラグ別セットです。

「**序数ランク**」とは、最も近いランクを採用した 99 パーセンタイル値を意味し、数式で表すと次のようになります。

$$\frac{99}{100} \times N$$

「P99 レプリケーション ラグ」は、序数順位が S の値です。

「デプロイ時間 (時間)」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて所定の対応セカンダリが利用可能であった総時間 (時間) です。

「過剰ラグ時間 (時間)」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、レプリケーション ラグ チェックが RPO 以上の P99 レプリケーション ラグになった 1 時間単位の総数です。所定の 1 時間におけるレプリケーション ラグ チェックの回数が 0 の場合、その 1 時間の過剰ラグ時間 (時間) は 0 となります。

所定のデータベース デプロイの「月次 RPO 達成率」は、次の数式で計算します。

$$100\% - \frac{\text{過剰ラグ時間 (時間)}}{\text{デプロイ時間 (時間)}} \times 100$$

お客様による Azure SQL Database サービスの対応セカンダリがある Business Critical 層におけるアクティブ ジオ (主要地域) レプリケーション機能の使用には、次のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

操作	RPO	月次 RPO 達成率	サービス クレジット
ジオ (主要地域) レプリケーション	5 秒	100% 未満	対応セカンダリの月次コスト総額の 10%

目標回復時間 (RTO)

「計画外フェールオーバー」とは、プライマリがオフラインの時、対応セカンダリをプライマリとして有効にするためにお客様が開始するアクションです。

「回復時間」とは、計画外フェールオーバーからセカンダリがプライマリとして作動するまでにかかる時間です。

「目標回復時間 (RTO)」とは、30 秒を超えない最大許容回復時間を意味します。

「非対応の計画外フェールオーバー」とは、RTO 内に完了できなかった計画外フェールオーバーです。

1 請求月間の所定のサブスクリプションにおける所定のデータベース デプロイの「月次 RTO 達成率」は、次の数式で表します。

$$\frac{\text{計画外フェールオーバーの総数} - \text{非対応の計画外フェールオーバーの総数}}{\text{計画外フェールオーバーの総数}} \times 100$$

お客様による SQL Database サービスの対応セカンダリがある Business Critical サービス層におけるアクティブ ジオ (主要地域) レプリケーション機能の使用には、次のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

操作	RTO	月次 RTO 達成率	サービス クレジット
シングル データベースの計画外フェールオーバー	30 秒	100% 未満	対応セカンダリの月次コスト総額の 100%

[目次 / 定義](#)

Azure SQL Managed Instance

用語の追加定義

「インスタンス」とは、いずれかのサービス層で作成され、1 つのインスタンスとしてデプロイされる Microsoft Azure SQL Managed Instance を意味します。

「対応ネットワーク構成」とは、Microsoft ネットワーク セキュリティ グループの着信セキュリティ規則と Microsoft Azure Virtual Network サブネットのホスティング インスタンスの必須 Microsoft Azure User Defined Routes インスタンスを含む、Microsoft Azure Virtual Network のホスティング インスタンスのすべての必須構成要素を意味し、管理トラフィックを滞りなく流れるようにして、データトラフィックを Microsoft Azure Virtual Network サブネットのホスティング インスタンスに配置された専用ゲートウェイに導きます。

Azure SQL Managed Instance サービスの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「デプロイ時間 (分)」とは、1 請求月間に所定のインスタンスが Microsoft Azure で利用可能であった総時間 (分) です。

「最大利用時間 (分)」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおけるデプロイ時間 (分) を合計した時間です。

「ダウンタイム」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてすべてのインスタンスにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、そのインスタンスを使用できなかった時間です。インスタンスへの接続の確立を 1 分間連続して試行し、すべての試行が失敗した場合、そのインスタンスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

所定のインスタンスの「月間稼働率」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間について、最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による、対応ネットワーク構成がある SQL Managed Instance サービスの Business Critical サービス層の使用には、次のサービス レベル およびサービス クレジットが適用されます:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

お客様による、対応ネットワーク構成がある SQL Managed Instance サービスの General Purpose サービス層の使用には、次のサービス レベル およびサービス クレジットが適用されます:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

SQL Server Stretch Database

用語の追加定義

「データベース」とは、SQL Server Stretch Database の 1 つのインスタンスを意味します。

「最大利用時間 (分)」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて所定のデータベースがデプロイされていた総時間 (分) です。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのデータベースにわたる合計累積時間 (分) のうち、そのデータベースを使用できなかった時間です。データベースへの接続の確立を 1 分間連続して試行し、すべての試行が失敗した場合、そのデータベースは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Static Web Apps

用語の追加定義

「デプロイ時間 (分)」とは、1 請求月間において所定のアプリを Microsoft Azure で実行するように設定していた総時間 (分) です。デプロイ時間 (分) は、アプリが作成された時点またはアプリを実行する操作をお客様が開始した時点から、アプリを停止または削除する操作をお客様が開始した時点まで測定されます。

「最大利用時間 (分)」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのアプリにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「アプリ」とは、静的な Web アプリ内でお客様がデプロイする Web アプリを意味します。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのアプリにわたるデプロイ時間のうち、そのアプリを使用できなかった合計累積時間 (分) です。所定のアプリとマイクロソフトのインターネット ゲートウェイ間で 1 分間連続して接続が失われたときに、そのアプリは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

追加条件: サービスクレジットは、お客様の静的な Web アプリの使用により発生する料金のみ適用され、提供される他の種類のアプリにより発生する料金には適用されません。

ストレージ アカウント

用語の追加定義

1 請求月間における「**平均エラー率**」とは、請求月における各時間のエラー率の合計を、請求月の合計時間数で割った値です。

「**BLOB ストレージ アカウント**」とは、BLOB としてデータを保存するためのストレージ アカウントであり、そのアカウント内のデータにアクセスする頻度を示すアクセス レベルを指定することができます。

「**ブロック BLOB ストレージ アカウント**」とは、データをブロックまたは付属 BLOB としてソリッド ステートドライブに保存するためのストレージ アカウントです。

「**クール アクセス レベル**」とは、アカウント内のデータに対するアクセス頻度が低いことを示す BLOB またはアカウントの属性であり、ホット アクセス レベルの BLOB より可用性のサービス レベルが低くなっています。

「**ホット アクセス レベル**」とは、アクセス頻度が高いことを示す BLOB またはアカウントの属性です。

「**除外されるトランザクション**」とは、ストレージトランザクション総数にも失敗したストレージトランザクション数にも数えられないストレージトランザクションです。除外されるトランザクションには、事前認証の失敗、認証の失敗、規定のクォータを超えてストレージ アカウントに対して試行されたトランザクション、コンテナ、ファイル共有、テーブルまたはキューの作成または削除、キューの解除、ストレージ アカウント間の BLOB またはファイルのコピーが含まれます。

「**エラー率**」とは、一定の時間 (現在は 1 時間に設定されています) において失敗したストレージトランザクションの総数を、ストレージトランザクション総数で割った値です。所定の 1 時間におけるストレージトランザクション総数が 0 である場合、その期間のエラー率は 0% となります。

「**失敗したストレージトランザクション数**」とは、ストレージトランザクション総数のうち、それぞれのトランザクションの種類に関連付けられた最大処理時間 (下表を参照) 以内に完了しなかったすべてのストレージトランザクションのセットです。最大処理時間には、ストレージ サービス内でトランザクション要求を処理した時間のみが含まれ、Storage サービスとの間で要求を転送するためにかかる時間は含まれません。

トランザクションの種類	最大処理時間
PutBlob と GetBlob (ブロックおよびページを含む) 有効なページ BLOB 範囲の取得	要求の処理中に転送される MB 数に 2 を乗じた秒数
PutFile と GetFile	要求の処理中に転送される MB 数に 2 を乗じた秒数
BLOB のコピー	90 秒 (ソースの BLOB とターゲットの BLOB が同じストレージ アカウントにある場合)
CopyFile	90 秒 (ソース ファイルとターゲット ファイルが同じストレージ アカウントにある場合)
PutBlockList GetBlockList	60 秒
テーブル クエリ リスト操作 検索操作	10 秒 (処理を完了するか、続行を返す)
バッチ テーブル操作	30 秒
すべてのシングル エンティティ テーブル操作 他のすべての BLOB、ファイルおよびメッセージ操作	2 秒

これらの数値は最大処理時間を表しています。実際の時間と平均時間は、かなり短くなると予想されます。

失敗したストレージトランザクション数には、以下は含まれません:

- 適切なバック オフ原則に従っていないため、ストレージ サービスによって調整されたトランザクション要求。
- タイムアウトが上記のそれぞれの最大処理時間未満に設定されているトランザクション要求。
- プライマリ リージョンへの要求が失敗した場合に、ストレージ アカウントに関連付けられたセカンダリ リージョンに対する要求の実行がお客様が試行しなかった、RA-GRS アカウントに対するトランザクション読み取り要求。
- Geo レプリケーションラグにより失敗した RA-GRS アカウントに対するトランザクション読み取り要求。

GRS アカウントおよび RA-GRS アカウントの「**Geo レプリケーション ラグ**」とは、ストレージ アカウントのプライマリ リージョンに保存したデータをそのストレージ アカウントのセカンダリ リージョンにレプリケートするためにかかる時間を意味します。GRS アカウントおよび RA-GRS アカウントのセカンダリ リージョンへのレプリケーションは非同期で行われるため、ストレージ アカウントのプライマリ リージョンに書き込まれたデータがセカンダリ リージョンで直ちに利用できるようになるわけではありません。お客様は、ストレージ アカウントの Geo レプリケーション ラグを問い合わせることはできますが、マイクロソフトが本 SLA に基づき Geo レプリケーション ラグの長さについて保証することはありません。

「**地理冗長ストレージ (GRS) アカウント**」とは、プライマリ リージョン内でデータの同期レプリケーションを行った後、セカンダリ リージョンに非同期にレプリケーションを行うストレージ アカウントを意味します。お客様は、GRS アカウントに関連付けられたセカンダリ リージョンに対し、データを直接読み書きすることはできません。

「**ローカル冗長ストレージ (LRS) アカウント**」とは、プライマリ リージョン内でのみデータの同期レプリケーションを行うストレージ アカウントを意味します。

「**プライマリ リージョン**」とは、お客様がストレージ アカウントを作成するときに選択した、ストレージ アカウント内のデータが存在する地理的なリージョンを意味します。お客様は、ストレージ アカウントに関連付けられたプライマリ リージョン内に保存されたデータに対してのみ、書き込み要求を行うことができます。

「**読み取りアクセス地理冗長ストレージ (RA-GRS) アカウント**」とは、プライマリ リージョン内でデータの同期レプリケーションを行った後、セカンダリ リージョンに非同期にレプリケーションを行うストレージ アカウントを意味します。お客様は、RA-GRS アカウントに関連付けられたセカンダリ リージョンについて、データを直接読み取ることはできますが、書き込むことはできません。

「**セカンダリ リージョン**」とは、ストレージ アカウントに関連付けられたプライマリ リージョンに基づき Microsoft Azure が割り当てた地理的なリージョンであって、GRS アカウントまたは RA-GRS アカウント内のデータがレプリケートされ保存されるリージョンを意味します。お客様は、ストレージ アカウントに関連付けられたセカンダリ リージョンを指定することはできません。

「**ストレージトランザクション総数**」とは、所定のサブスクリプションにおける Storage サービスのすべてのストレージ アカウントで 1 時間以内に試行された、除外されるトランザクションを除くすべてのストレージトランザクションのセットです。

「**ゾーン冗長ストレージ (ZRS) アカウント**」とは、複数の施設でデータのレプリケーションを行うストレージ アカウントを意味します。これらの施設は、同じ地理的なリージョン内にある場合も、2 つの地理的なリージョンにまたがっている場合もあります。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます:

$$100\% - \text{平均エラー率}$$

サービス クレジット – LRS、ZRS、GRS、および RA-GRS (書き込み要求) アカウント内のホット BLOB および LRS ブロック BLOB ストレージ アカウント内の BLOB:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービス クレジット – RA-GRS (読み取り要求) アカウント:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

サービス クレジット – LRS、GRS、および RA-GRS (書き込み要求) BLOB ストレージ アカウント (クール アクセス レベル):

月間稼働率	サービス クレジット
99% 未満	10%
98% 未満	25%

サービス クレジット – RA-GRS (読み取り要求) BLOB ストレージ アカウント (クール アクセス レベル):

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
98% 未満	25%

サービスの例外: クールおよびアーカイブ SLA は、クールおよびアーカイブ レベルをサポートするストレージ アカウント タイプにのみ適用されます。

StorSimple

用語の追加定義

「**バックアップ**」とは、登録された StorSimple デバイスに保存されているデータを、Microsoft Azure 内の 1 つ以上の関連付けられたクラウドストレージアカウントにバックアップするプロセスです。

「**クラウド階層化**」とは、登録された StorSimple デバイスに保存されているデータを、Microsoft Azure 内の 1 つまたは複数の関連付けられたクラウドストレージアカウントに転送するプロセスです。

「**失敗**」とは、StorSimple サービスを使用できなくなったために、正しく構成されたバックアップ、階層化、または復元操作を完了できないことを意味します。

「**管理項目**」とは、StorSimple サービスを使用してクラウドストレージアカウントにバックアップするよう構成されたボリュームを意味します。

「**復元**」とは、登録された StorSimple デバイスに、それに関連付けられたクラウドストレージアカウントからデータをコピーするプロセスです。

StorSimple サービスの月間稼働率の計算およびサービスレベル

「**デプロイ時間 (分)**」とは、管理項目がお客様によって、Microsoft Azure 内の StorSimple ストレージアカウントに対するバックアップまたはクラウド階層化用に構成されていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションについて、すべての管理項目にわたるデプロイ時間 (分) を合計した値です。

ダウンタイム: 最大利用時間 (分) のうち、管理項目で StorSimple サービスを使用できなかった総時間 (分) です。所定の管理項目に関してバックアップ、クラウド階層化、または復元操作が最初に失敗した時点から、その管理項目のバックアップ、クラウド階層化、または復元操作が正常に開始されるまで、StorSimple サービスは、その管理項目について使用できなかったと見なされます。ただし、30 分に 1 回以上の頻度で継続的に再試行することを条件とします。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による StorSimple サービスの使用には、以下のサービスレベルおよびサービスクレジットが適用されます。

月間稼働率	サービスクレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

StorSimple Data Manager の月間稼働率の計算およびサービスレベル

「**要求総数**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、StorSimple Data Manager サービスに対するすべての操作実行要求の数から、除外される要求数を差し引いた値です。

「**除外される要求数**」とは、HTTP 4xx 状態コードに終わった要求の数です。

「**失敗した要求数**」とは、要求総数のうち、エラーコードを返した、または 60 秒以内に成功コードを返さなかったすべての要求の数です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{要求総数} - \text{失敗した要求数}}{\text{要求総数}} \times 100$$

サービスクレジット:

月間稼働率	サービスクレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Azure Stream Analytics

Stream Analytics API 呼び出しの月間稼働率の計算

用語の追加定義

「**トランザクション試行総数**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、Stream Analytics サービス内のストリーミングジョブを管理するために行った、認証された REST API 要求の総数です。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「**失敗したトランザクション数**」とは、トランザクション試行総数のうち、エラー コードに終わるか、またはその他マイクロソフトが要求を受領してから 5 分以内に成功コードが返されなかったすべての要求のセットです。

Stream Analytics サービス内の API 呼び出しの「**月間稼働率**」を数式で表すと、次のようになります。

$$\text{月間稼働率} = \frac{\text{トランザクション試行総数} - \text{失敗したトランザクション数}}{\text{トランザクション試行総数}}$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Stream Analytics ジョブの月間稼働率の計算

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間において所定のジョブが Stream Analytics サービス内にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのジョブにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**ダウンタイム**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのジョブにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、そのジョブを使用できなかった時間です。デプロイされたジョブについて 1 分間連続してデータが処理されなかったまたはデータを処理できなかったときに、そのジョブは 1 分間使用できなかったと見なされます。

Stream Analytics サービス内のジョブの「**月間稼働率**」を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Azure Synapse Analytics

用語の追加定義

Synapse SQL

「**データベース**」とは、Synapse SQL データベースを意味します。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて所定のデータベースが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) を意味します。

「**クライアント操作**」とは、Azure Synapse Analytics がサポートする登録されたすべての操作のセットを意味します。

「**ダウンタイム**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて所定のデータベースを使用できなかった合計累積時間 (分) を意味します。1 分間に完了したすべてのクライアント操作のうち 1% を超える操作についてエラー コードが返された場合、そのデータベースは 1 分間使用できなかったと見なされます。

所定のデータベースの「**月間稼働率**」とは、1 請求月間の所定の Azure サブスクリプションにおいて最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

Azure Synapse でのデータ統合

「**データ統合リソース**」とは、Azure Synapse ワークスペース内で作成された統合ランタイム (Azure および自己ホスト統合ランタイムを含む)、トリガー、パイプライン、データセット、およびリンクされたサービスを意味します。

「**アクティビティ実行**」とは、アクティビティの実行または実行の試みを意味します。

データ統合 API 呼び出しの月間稼働率の計算

「**要求総数**」とは、1 請求月間の所定の Azure サブスクリプションにおいて、除外された要求を除く、データ統合リソースに対するすべての操作実行要求のセットを意味します。

「**除外された要求**」とは、HTTP 408 状態コード以外の HTTP 4xx 状態コードに終わった要求のセットを意味します。

「**失敗した要求**」とは、要求総数のうち、エラー コードもしくは HTTP 408 状態コードを返した、またはその他 2 分以内に成功コードを返さなかったすべての要求のセットを意味します。

データ統合リソースに対して行われた API 呼び出しの「**月間稼働率**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて 要求総数から失敗した要求数を差し引き、要求総数で割った値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{要求総数} - \text{失敗した要求数}}{\text{要求総数}} \times 100$$

お客様による Synapse ワークスペース内のデータ統合 API 呼び出しの使用には、以下のサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Spark セッションに対する Azure Synapse の Apache Spark の計算

「**Spark セッション**」とは、対話モードまたはバッチ モードで、ジョブを実行する新しいセッションを開始することです。セッション構成やリソース消費などユーザー エラーによるセッション障害を除きます。

お客様による Synapse ワークスペース内の Spark の使用には、以下のサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99% 未満	10%
95% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Time Series Insights

用語の追加定義

「**環境**」とは、Time Series Insights 環境です。

Time Series Insights データブレイク API の月間稼働時間計算とサービスレベル

「**Time Series Insights データブレイク API**」とは、Time Series Insights のイベント分析クエリ API です。

「**要求**」とは、Time Series Insights データブレイク API がサポートする文書化された要求です。

「**失敗した要求**」とは、エラー コードを返す要求です。

「**エラー率**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプション内のすべての環境について、所定の 1 分間隔で失敗した要求の合計数を要求総数で割った値です。ユーザーがこの間隔内に要求をまったく行っていない場合、その間隔のエラー率は 0% です。

「**平均エラー率**」とは、1 請求月における分あたりのエラー率の合計を、その請求月の合計分数で割った値です。

Time Series Insights データブレイク API の「**月間稼働率**」とは、1 請求月における所定の Microsoft Azure サブスクリプションに対する平均エラー率を 100% から差し引いて計算します。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$100\% - \text{平均エラー率}$$

お客様による Time Series Insights データブレイク API の使用には、以下のサービスレベルおよびサービスクレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

Traffic Manager サービス

用語の追加定義

「**デプロイ時間 (分)**」とは、1 請求月間において所定の Traffic Manager プロファイルが Microsoft Azure にデプロイされていた総時間 (分) です。

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間の所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべての Traffic Manager プロファイルにわたるデプロイ時間 (分) の合計です。

「**Traffic Manager プロファイル**」または「**プロファイル**」とは、管理ポータルに表示される、ドメイン名、エンドポイント、およびその他の構成設定を含む、お客様が作成した Traffic Manager サービスのデプロイを意味します。

「**有効な DNS 応答**」とは、1 つ以上の Traffic Manager サービスのネーム サーバー クラスターから受信した、所定の Traffic Manager プロファイルで指定されたドメイン名の DNS 要求に対する DNS 応答を意味します。

ダウンタイム: 所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様がデプロイしたすべてのプロファイルにわたるデプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、そのプロファイルを使用できなかった時間です。所定のプロファイルで指定された DNS 名の DNS クエリを 1 分間連続して行い、そのすべてのクエリに対して 2 秒以内に有効な DNS 応答がなかった場合、そのプロファイルは 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%

仮想マシン

用語の追加定義

「**可用性セット**」とは、単一障害点を避けるために異なる障害ドメインにデプロイされた 2 つ以上の仮想マシンを意味します。

「**可用性ゾーン**」とは、Azure リージョン内の障害分離領域であり、冗長電源、冷却、およびネットワークを提供します。

「**Azure Dedicated Host**」は物理サーバーを提供し、1 台以上の Azure 仮想マシンをホスティングし SLA は autoReplaceOnFailure が必須設定 (既定) です。

「**データ ディスク**」とは、仮想マシンに接続される永続仮想ハード ディスクであって、アプリケーション データの格納に使用されるものを意味します。

「**Dedicated Host Group**」とは、単一障害点を避けるために異なる障害ドメイン間の Azure リージョン内にデプロイされた Azure Dedicated Hosts の集合です。

「**障害ドメイン**」とは、電源およびネットワーク接続などの共通のリソースを共有するサーバーの集合を意味します。

「**オペレーティング システム ディスク**」とは、仮想マシンに接続される永続仮想ハード ディスクであって、仮想マシンのオペレーティング システムの格納に使用されるものを意味します。

「**単一インスタンス**」とは、可用性セットにデプロイされていない、または可用性セットにデプロイされた 1 つのインスタンスのみを保有している、単一の Microsoft Azure 仮想マシンと定義されます。

「**仮想マシン**」とは、個別にまたは可用性セットの一部として、あるいは Dedicated Host Group を使用してデプロイできる永続的なインスタンスの種類を意味します。仮想マシンは、Azure Dedicated Hosts を使用して Azure 内のマルチテナント環境に、または分離された単一テナント環境にデプロイできます。

「**仮想マシン接続**」とは、仮想マシンと、仮想マシンが許可されたトラフィック用に構成されている、TCP または UDP ネットワーク プロトコルを使用する他の IP アドレスとの間の、双方向ネットワークトラフィックを意味します。この IP アドレスは、仮想マシンと同じクラウド サービス内の IP アドレスでも、仮想マシンと同じ仮想ネットワーク内の IP アドレスでも、ルーティング可能なパブリック IP アドレスでも構いません。

可用性ゾーンに含まれる仮想マシンの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、同じリージョンの 2 つ以上の可用性ゾーンにわたってデプロイされた 2 つ以上のインスタンスを持つすべての仮想マシンの、1 請求月間における合計累積時間 (分) です。最大利用時間 (分) は、お客様が開始した操作の結果として同じリージョン内の 2

つの可用性ゾーンにわたる 2 つ以上の仮想マシンの両方が開始された時点から、お客様がその仮想マシンを停止または削除する操作を開始した時点まで測定されます。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうちリージョンで仮想マシン接続が確保されていなかった時間の合計累積時間 (分) です。

可用性ゾーンに含まれる仮想マシンの「**月間稼働率**」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間の最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\text{月間稼働率} = \frac{(\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム})}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

お客様による同じリージョン内の 2 つ以上の可用性ゾーンにわたってデプロイされた仮想マシンの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

可用性セット、または同じ Dedicated Host Group に含まれる仮想マシンの月間稼働率の計算およびサービス レベル

最大利用時間 (分): 同じ可用性セット、または同じ Dedicated Host Group にデプロイされた 2 台以上のインスタンスを持つ、インターネットに接続するすべての仮想マシンの、1 請求月間における合計累積時間 (分) です。最大利用時間 (分) は、お客様が開始した操作の結果として同じ可用性セット、または同じ Dedicated Host Group 内の 2 台以上の仮想マシンの両方が開始された時点から、お客様が仮想マシンを停止または削除する操作を開始した時点まで測定されます。

ダウンタイム: 最大利用時間 (分) のうち、仮想マシン接続が確保されていなかった時間の合計累積時間 (分) です。

月間稼働率: 仮想マシンの「月間稼働率」とは、特定の Microsoft Azure サブスクリプションの 1 請求月間の最大利用時間 (分) の総時間からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\text{月間稼働率} = \frac{(\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム})}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

お客様による可用性セットまたは同じ Dedicated Host Group 内の仮想マシンの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。この SLA は、Azure 共有ディスクを利用する可用性セットには適用されません。

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

単一インスタンス仮想マシンの月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**月内時間 (分)**」とは、所定の月における総時間 (分) です。

ダウンタイム: 月内時間 (分) のうち仮想マシン接続が確保されていなかった時間の合計累積時間 (分) です。

月間稼働率: すべてのオペレーティング システム ディスクおよびデータ ディスクについて Premium Storage を使用する単一インスタンス仮想マシンでダウンタイムが発生した月内時間 (分) の割合を、100% から差し引いて算出されます。

$$\text{月間稼働率} = \frac{(\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム})}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

お客様による単一インスタンス仮想マシンの使用には、ディスク タイプ別に、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。複数のディスク タイプを使用する単一インスタンス仮想マシンについては、仮想マシン上のすべてのディスクの最も低い SLA が適用されます。

稼働率 (Premium および Ultra SSD)	稼働率 (Standard SSD Managed Disk)	稼働率 (Standard HDD Managed Disk)	サービス クレジット
99.9% 未満	99.5% 未満	95% 未満	10%
99% 未満	95% 未満	92% 未満	25%

稼働率 (Premium および Ultra SSD)	稼働率 (Standard SSD Managed Disk)	稼働率 (Standard HDD Managed Disk)	サービス クレジット
95% 未満	90% 未満	90% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Virtual Network Manager

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Azure Virtual Network Manager が Microsoft Azure サブスクリプションにデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Azure Virtual Network Manager を使用できなかった合計累積時間 (分) です。Azure Virtual Network Manager への接続試行が 1 分間連続して失敗した場合、Azure Route Server はその 1 分間使用できなかったと見なされます。

「**月間稼働率**」は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による各 Azure Virtual Network Manager の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Virtual WAN

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に所定の Azure Virtual WAN が Microsoft Azure サブスクリプションにデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Azure Virtual WAN を使用できなかった合計累積時間 (分) です。Azure Virtual WAN への接続の試行が 1 分間連続して失敗した場合、Azure Virtual WAN は 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure VMware ソリューション

追加の要件

クライアントは、すべての仮想マシンのストレージに、以下の最小構成を維持する必要があります。

- クラスタのホスト数が 3~5 の場合には、失敗許容回数 = 1、およびクラスタのホスト数が 6~16 の場合には、失敗許容回数 = 2 となります。
- クラスタのストレージ容量に、25% のスラック スペースを保持します (VSAN ストレージ ガイドに記載)。
- クライアントはマイクロソフトが Availability Commitment (可用性コミットメント) に達するのを防ぐ Elevated Privilege (権限昇格) モードでアクションを実施していません。
- 仮想マシンの開始をサポートするのに十分な容量がクラスタ上にあります。
- 合計利用アップタイムの計算に、予定メンテナンスは含まれていません。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

用語の追加定義

Azure VMware Solution ワークロード インフラストラクチャの月間アップタイムの計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、VMware クラスター内のすべての仮想マシンに対する請求月間に、Azure VMware Solution がデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、Azure の所定の VMware クラスターに対する 1 請求月間の最大利用時間 (分) のうち、本サービスを使用できなかった合計累積時間 (分) です。以下の各号のいずれかに該当する場合、1 分間使用できなかったと見なされます。

- 稼働しているクラスター内の仮想マシンがすべて、4 分間連続して接続できなかった。
- 仮想マシンがすべて、4 分間連続してストレージにアクセスできなかった。
- 仮想マシンがすべて、4 分間連続して起動できなかった。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

Azure VMware 管理ツールの月間アップタイムの計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、所定の VMware クラスターに対する 1 請求月間に、Azure VMware 管理ツールがデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、Azure の 所定の VMware クラスターに対する 1 請求月間の最大利用時間 (分) のうち、Management サービス (vCenter Server および NSX Manager) を使用できなかった合計累積時間 (分) です。以下の各号のいずれかに該当する場合、1 分間使用できなかったと見なされます。

- vCenter Server が、4 分間連続して接続できなかった。
- NSX Manager が、4 分間連続して接続できなかった。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Azure VMware Solution by CloudSimple

追加の要件

クライアントは、すべての仮想マシンのストレージに、以下の最小構成を維持する必要があります:

- クラスターのホスト数が 3~5 の場合には、失敗許容回数 = 1、およびクラスターのホスト数が 6~32 の場合には、失敗許容回数 = 2 となります。
- クラスターのストレージ容量に、25% のスラック スペースを保持します (VSAN ストレージ ガイドに記載)
<https://docs.vmware.com/en/VMware-vSphere/6.7/vsan-671-administration-guide.pdf>
- 仮想マシンの開始をサポートするのに十分な容量がクラスター上にあり、クライアントはベンダーが Availability Commitment (可用性コミットメント) に達するのを防ぐ Escalated Privilege (権限昇格) モードでアクションを実施していません。
- 合計利用アップタイムの計算に、予定メンテナンスは含まれていません。

用語の追加定義

Azure VMware Solutions ワークロード インフラストラクチャの月間アップタイムの計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、VMware クラスター内のすべての仮想マシンに対する請求月間に、Azure VMware Solutions がデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

「**ダウンタイム**」とは、Azure の所定の VMware クラスターに対する 1 請求月間の最大利用時間 (分) のうち、本サービスを使用できなかった合計累積時間 (分) です。所定の 1 分間が必要な状態にあった場合に、1 分間使用できなかったと見なされます。

- 稼働しているクラスター内の仮想マシンがすべて、4 分間連続して接続できなかった。
- 仮想マシンがすべて、4 分間連続してストレージにアクセスできなかった。
- 仮想マシンがすべて、4 分間連続して起動できなかった。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	30%

Azure VMware 管理ツールの月間アップタイムの計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、所定の VMware クラスターに対する 1 請求月間に、Azure VMware 管理ツールがデプロイされていた合計累積時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、Azure の 所定の VMware クラスターに対する 1 請求月間の最大利用時間 (分) のうち、Management サービス (vCenter Server および NSX Manager) を使用できなかった合計累積時間 (分) です。所定の 1 分間が必要な状態にあった場合に、1 分間使用できなかったと見なされます。

- vCenter Server が、4 分間連続して接続できなかった。
- NSX Manager が、4 分間連続して接続できなかった。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	30%

[目次](#) / [定義](#)

Azure VNet NAT

用語の追加定義

「**静的パブリック IP アドレス**」とは、ユーザーのワークロード用に構成された IP アドレスを意味します。静的 IP アドレスは変わりません。

「**ネットワーク アドレス変換**」は、複数の Azure コンピューティング リソース (仮想マシン) が 1 つのパブリック アドレスからインターネットに接続できるようにするために、プライベート ネットワークのプライベート IP アドレスをパブリック IP アドレスに変換するプロセスです。

「**接続**」とは、トラフィックを許可するよう構成された任意の IP アドレスから送受信することができる、サポートされている IP 転送ポート プロトコルを介した双方向のネットワークトラフィックを意味します。

「**アウトバウンド ネットワークトラフィック**」とは、インターネット経由でプライベート ネットワークからパブリック ネットワークへ流れるトラフィックを意味します。

Azure VNet NAT の月間家老率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に 1 つの Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が Azure VNet NAT (2 つ以上の正常仮想マシンにサービスを提供する) をデプロイしていた総時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、所定の Azure VNet NAT サービスを使用できなかった合計時間 (分) です。すべての正常仮想マシンが VNet NAT エンドポイント経由で、1 分間接続できない場合、1 分間使用できなかったと見なされます。ダウンタイムには、SNAT ポートの消耗が原因となった時間は含まれません。

Azure VNet NAT の「**月間稼働率**」とは、1 請求月間に最大利用時間 (分) からダウンタイムを差し引き、最大利用時間 (分) で割り、100 を乗じた値です。

月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

$$\frac{\text{最大利用時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間(分)}} \times 100$$

お客様による Azure NAT Gateway の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

月間稼働率	サービス クレジット
99.99% 未満	10%
99.9% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

VPN Gateway

用語の追加定義

「**最大利用時間(分)**」とは、1 請求月間に所定の VPN Gateway が Microsoft Azure サブスクリプションにデプロイされていた合計累積時間(分)です。

ダウンタイム: 最大利用時間(分)のうち、VPN Gateway を使用できなかった合計累積時間(分)です。VPN Gateway への接続を 1 分間試行し、そのうちの 30 秒間連続して接続できなかった場合、VPN Gateway は 1 分間使用できなかったと見なされます。

月間稼働率: 所定の VPN Gateway の月間稼働率とは、その VPN Gateway の 1 請求月間の最大利用時間(分)からダウンタイムを差し引き、最大利用時間(分)で割った値です。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

$$\frac{\text{最大利用時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間(分)}} \times 100$$

お客様による各 VPN Gateway の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。

Basic の VPN Gateway または ExpressRoute Gateway のサービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

VPN の Gateway および ExpressRoute SKU の Gateway (Basic 以外):

月間稼働率	サービス クレジット
99.95% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Azure Web PubSub

用語の追加定義

「**Web PubSub サービス エンドポイント**」とは、サーバーまたはクライアントが Web PubSub トランザクションを実行するために Web PubSub サービスにアクセスするアクセス元のホスト名です。

「**Web PubSub トランザクション**」とは、Web PubSub サービス エンドポイントを介してクライアントからサーバーに、またはサーバーからクライアントに送信された一連のトランザクション要求です。これらのトランザクション要求には、サーバー/クライアントと Web PubSub サービス エンドポイント間の接続の設定と、Web PubSub サービス エンドポイントを通じたメッセージの送信が含まれます。

Web PubSub サービス インスタンスの月間稼働率の計算とサービス レベル

「**最大利用時間(分)**」とは、所定の Microsoft Azure サブスクリプションにおいて、1 請求月間にお客様が Web PubSub サービスをデプロイしていた合計時間(分)です。

「**ダウンタイム**」とは、Web PubSub サービスに対する 1 請求月間の最大利用時間(分)のうち、Web PubSub サービスを使用できなかった合計累積時間(分)です。Web PubSub トランザクションの送信試行が、1 分間連続してエラー コードを返す、または 1 分以内に成功コードを返さない場合、その 1 分間は使用できなかったと見なされます。

Web PubSub サービスの「**月間稼働率**」は、最大利用時間(分)からダウンタイムを差し引き、最大利用時間(分)で割って計算されます。月間稼働率を数式で表すと、次のようになります。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Web PubSub サービスの Standard レベルの使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます。Web PubSub サービスの Free レベルのサービスは本 SLA の適用対象外となります。

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

Windows 10 IoT Core Services

Windows 10 IoT Core Services の月間稼働率の計算およびサービス レベル

「**最大利用時間 (分)**」とは、1 請求月間に Microsoft Azure サブスクリプションにおいてお客様が Windows 10 IoT Core Services をデプロイしていた合計時間 (分) です。

「**ダウンタイム**」とは、最大利用時間 (分) のうち、Windows 10 IoT Core Services を使用できなかった合計時間 (分) です。Device Update Center へのサインインまたは Device Update Center での操作の試みが 1 分間連続してエラー コードに終わるか、または 2 分以内に成功コードが返されなかった場合に、その Windows 10 IoT Core Services インスタンスは 1 分間使用できなかったと見なされます。

「**月間稼働率**」月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

お客様による Windows 10 IoT Core Services の使用には、以下のサービス レベルおよびサービス クレジットが適用されます

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)

その他のオンライン サービス

Microsoft Defender for Identity

用語の追加定義

「**ダウンタイム**」とは、管理者が Microsoft Defender for Identity ポータルにアクセスすることができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次](#) / [定義](#)
[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

Bing Maps Enterprise Platform

ダウンタイム: マイクロソフトのデータセンターの規定どおり本サービスを利用することができない期間です。ただし、お客様が Bing Maps Platform SDK に記載されているアクセス方法、認証、および追跡方法を使用して本サービスにアクセスしていることを条件とします。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{月の総時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{月の総時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、上記の本サービスの各要素を利用できない当該月内の総時間 (分) として測定されます。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

サービス レベルの例外: 本 SLA は、オープン バリューおよびオープン バリュー サブスクリプション ボリューム ライセンス契約を通じて購入した Bing Maps Enterprise Platform には適用されません。

サービス クレジットは、(i) お客様が Bing Maps Platform API の使用条件に規定された期間内にサービス更新を実装しなかった場合、および (ii) お客様が、既知の大幅な使用料の増加について 90 日前までにマイクロソフトに通知しなかった場合は適用されません。ここで大幅な使用料の増加とは、前月の使用料に対する 50% 以上の増加と定義されます。

[目次](#) / [定義](#)

Bing Maps Mobile Asset Management

ダウンタイム: マイクロソフトのデータセンターの規定どおり本サービスを利用することができない期間です。ただし、お客様が Bing Maps Platform SDK に記載されているアクセス方法、認証、および追跡方法を使用して本サービスにアクセスしていることを条件とします。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{月の総時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{月の総時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、上記の本サービスの各要素を利用できない当該月内の総時間 (分) として測定されます。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

サービス レベルの例外: 本 SLA は、オープン バリューおよびオープン バリュー サブスクリプション ボリューム ライセンス契約を通じて購入した Bing Maps Enterprise Platform には適用されません。

サービス クレジットは、(i) お客様が Bing Maps Platform API の使用条件に規定された期間内にサービス更新を実装しなかった場合、および (ii) お客様が、既知の大幅な使用料の増加について 90 日前までにマイクロソフトに通知しなかった場合は適用されません。ここで大幅な使用料の増加とは、前月の使用料に対する 50% 以上の増加と定義されます。

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft Cloud App Security

ダウンタイム: お客様の IT 管理者またはお客様の登録ユーザーが、適切な資格情報でログオンできない期間です。予定されていたダウンタイムは、年間 (暦年) 10 時間を超えないものとします。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービス レベルの例外: このサービス レベルは、以下には適用されません。(i) 本サービスのサブスクリプションの一部としてライセンスを取得したオンプレミス ソフトウェア、または (ii) 本サービスのサブスクリプションの一部としてライセンスを取得したサービスに対し、API (アプリケーション プログラミング インターフェイス) を介して更新プログラムを提供するインターネット ベースのサービス (Microsoft Cloud App Security を除く)。

[目次 / 定義](#)

Microsoft Power Automate

ダウンタイム: ユーザーのフローがマイクロソフトのインターネット ゲートウェイに接続することができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{月の総時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{月の総時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

サービス レベルの例外: 無料の Microsoft Power Automate については、SLA は提供されません。

[目次 / 定義](#)

Microsoft Intune

ダウンタイム: お客様の IT 管理者またはお客様の登録ユーザーが、適切な資格情報でログオンできない期間です。予定されていたダウンタイムは、年間 (暦年) 10 時間を超えないものとします。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

月間稼働率	サービス クレジット
99% 未満	50%
95% 未満	100%

サービス レベルの例外: このサービス レベルは、以下には適用されません。(i) 本サービスのサブスクリプションの一部としてライセンスを取得したオンプレミス ソフトウェア、または (ii) 本サービスのサブスクリプションの一部としてライセンスを取得したオンプレミス ソフトウェアに更新プログラムを提供するインターネット ベースのサービス (Microsoft Intune サービスを除く)。

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft Kaizala Pro

ダウンタイム: 適切な権限を有するエンド ユーザーが組織グループのメッセージの読み取りまたは投稿を行うことができない期間。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft Power Apps

ダウンタイム: 適切な権限を有するユーザーが Microsoft Power Apps のデータの一部分について読み取りまたは書き込みを行うことができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{月の総時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{月の総時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

サービス レベルの例外: 無料の Microsoft Power Apps については、SLA は提供されません。

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft Power Virtual Agents

追加工義:

「メッセージ要求総数」とは、Power Virtual Agents に対して 1 請求月間にエンド ユーザーが行った要求の総数です。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

「失敗したメッセージ要求総数」とは、メッセージ要求総数のうち Power Virtual Agents 内のシステム エラーのために Power Virtual Agents が応答メッセージを送信できない要求の総数です。

月間稼働率:月間稼働率は以下の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{メッセージ要求総数} - \text{失敗したメッセージ要求数}}{\text{メッセージ要求総数}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft Sustainability Manager

ダウンタイム:エンド ユーザーが環境にログインすることができない期間です。ダウンタイムには、予定されていたダウンタイム、本サービスのアドオン機能を利用できなかった期間、またはお客様が本サービスを改変したために本サービスにアクセスできなかった期間は含まれません。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.5% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Minecraft: Education Edition

ダウンタイム: ユーザーが Minecraft: Education Edition にアクセスすることができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{月の総時間(分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{月の総時間(分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間(分)の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Power BI Embedded

デプロイ時間 (分): 所定の組み込み容量が 1 請求月間にアクティブになっていた総時間 (分) です。

最大利用時間 (分): 1 請求月間に所定の Microsoft Azure サブスクリプションにお客様がプロビジョニングした特定の組み込み容量のデプロイ時間 (分) の合計。

ダウンタイム (分): デプロイ時間の合計累積時間 (分) のうち、以下に記載するすべての適用される Power BI 機能で組み込み容量を利用できなかった時間。

表示: サービスの Power BI ダッシュボード、レポート、およびアプリを表示します。

データセット更新: 更新操作をスケジュールまたは手動で開始して、更新速度 (サイズやデータセットなど) に影響を与える可能性があるすべての条件を考慮して、操作が予定時間内に完了すると予測します。

Power BI ポータルへのアクセス: ネットワークの条件や顧客環境またはマイクロソフト外部に特有の制限を考慮して、Power BI ポータルに予定時間内にアクセスして使用します。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム (分)}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Power BI Premium

容量: Power BI Premium 容量管理ポータルを通じて管理者がプロビジョニングした、指定された容量を意味します。容量は、1 つ以上のノードのグループです。

最大利用時間 (分): 所定のテナントについて 1 請求月間に所定の容量がインスタンス化されていた総時間 (分) です。

ダウンタイム (分): 1 請求月間に所定の容量について、作成後またはプロビジョニングを解除する前に、以下に記載するすべての適用される Power BI 機能で組み込み容量を使用できなかった合計累積時間 (分)。

表示: サービスの Power BI ダッシュボード、レポート、およびアプリを表示します。

データセット更新: 更新操作をスケジュールまたは手動で開始して、更新速度 (サイズやデータセットなど) に影響を与える可能性があるすべての条件を考慮して、操作が予定時間内に完了すると予測します。

Power BI ポータルへのアクセス: ネットワークの条件や顧客環境またはマイクロソフト外部に特有の制限を考慮して、Power BI ポータルに予定時間内にアクセスして使用します。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

[目次 / 定義](#)

Power BI Pro

ダウンタイム (分): 1 請求月間において以下に記載するすべての Power BI 機能を使用できなかった合計累積時間 (分) です。

表示: サービスの Power BI ダッシュボード、レポート、およびアプリを表示します。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

データセット更新: 更新操作をスケジュールまたは手動で開始して、更新速度 (サイズやデータセットなど) に影響を与える可能性があるすべての条件を考慮して、操作が予定時間内に完了すると予測します。

Power BI ポータルへのアクセス: ネットワークの条件や顧客環境またはマイクロソフト外部に特有の制限を考慮して、Power BI ポータルに予定時間内にアクセスして使用します。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{月の総時間 (分)} - \text{ダウンタイム (分)}}{\text{月の総時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Translator API

ダウンタイム: ユーザーが翻訳を実行することができない期間です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{月の総時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{月の総時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、上記の本サービスの各要素を利用できない当該月内の総時間 (分) として測定されます。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

[目次](#) / [定義](#)

Microsoft Defender for Endpoint

用語の追加定義

「**最大利用時間 (分)**」とは、Microsoft Defender for Endpoint ポータルの 1 請求月間における合計累積時間 (分) です。最大利用時間 (分) は、オンボード プロセスが正常に完了した結果としてテナントが作成された時点から測定されます。

「**テナント**」とは、Microsoft Defender for Endpoint のお客様固有のクラウド環境を意味します。

ダウンタイム: 最大利用時間 (分) のうち、お客様が、適切なアクセス許可を有し、有効なライセンスを保有している Microsoft Defender for Endpoint ポータルのサイト コレクションの一部にアクセスできなかった時間の合計累積時間 (分) です。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を用いて計算されます。

$$\frac{\text{最大利用時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{最大利用時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

[目次](#)

→

[はじめに](#)

→

[一般条件](#)

→

[サービス固有の条件](#)

→

[付録](#)

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%

サービス レベルの例外: 本 SLA は、試用版/プレビュー版のテナントには適用されません。

[目次](#) / [定義](#)

ユニバーサル印刷

ダウンタイム: ユニバーサル印刷サービスが利用できないために、ユーザーがプリンターの検出や印刷ジョブの送信ができない期間。または管理者がプリンターの登録や設定、アクセス制御の管理、ユニバーサル印刷のステータスや使用状況の監視ができない期間。

月間稼働率: 月間稼働率は次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{ユーザー時間 (分)} - \text{ダウンタイム}}{\text{ユーザー時間 (分)}} \times 100$$

ダウンタイムは、ユーザー時間単位で測定されます。つまり、各月につき、ダウンタイムは、当該月に発生した各インシデントの期間 (分) の合計に、かかるインシデントの影響を受けたユーザーの数を乗じた時間となります。

サービス クレジット:

月間稼働率	サービス クレジット
99.9% 未満	25%
99% 未満	50%
95% 未満	100%

サービス レベルの例外: 本 SLA は、試用版/プレビュー版のテナントには適用されません。

[目次](#) / [定義](#)

Windows 365

クラウド PC: ユーザーが Windows 365 のライセンスを取得した特定のインスタンス。

ダウンタイム: 特定のユーザーが特定のクラウド PC に接続しようとして、すべて失敗に終わった時間であり、分単位で測定されます。ただし、次のような失敗は除きます。

- 基となる Azure インフラストラクチャとは関係なく動作不能状態にあるクラウド PC によって生じた失敗 (損傷または破損したオペレーティング システム、オペレーティング システムの構成、あるいは誤構成など)。
- クラウド PC にインストールされているアプリケーションまたはその他のソフトウェアによって生じた失敗。

個々のダウンタイム: 各月の特定のユーザーのダウンタイムを意味します。

個々の時間 (分): 各月の特定のユーザーのユーザー時間 (分) を意味します。

個々の稼働率: 個々の稼働率は次のように計算されます。

$$\frac{\text{個々の時間 (分)} - \text{個々のダウンタイム}}{\text{個々の時間 (分)}} \times 100$$

ユーザー単位のクレジット: 地域の稼働率が 99.9% を下回る月の場合、ユーザー単位のクレジットは、次の表に従って、個々の稼働率が 99.9% を下回った各ユーザーに適用される当該月間サービス料金のユーザー単位の部分の割合として計算されます (ただし、地域の稼働率を下回る個々の稼働率は、地域の稼働率と同じであると見なされるものとします)。

[目次](#)

[はじめに](#)

[一般条件](#)

[サービス固有の条件](#)

[付録](#)

個々の稼働率	ユーザー単位のクレジット
99.9% 未満	10%
99% 未満	25%
95% 未満	100%

地域: 次のサイトに詳しく掲載されている地域を意味します。 <https://aka.ms/DSLARegionLink>.

地域のダウンタイム: 各月の地域におけるすべてのダウンタイムの合計を意味します。

地域の時間 (分): 各月の地域のユーザー時間 (分) を意味します。

地域の稼働率: 次の式を使用して計算されます。

$$\frac{\text{地域の時間 (分)} - \text{地域のダウンタイム}}{\text{地域の時間 (分)}} \times 100$$

サービス クレジット: Windows 365 の場合、サービス クレジットとは、当該月間サービス料金の割合ではなく、ユーザー単位のクレジットの合計を意味するものとします。

付録 A – 電子メール配信、ウイルスの検出およびブロック、迷惑メール対策の有効性、または誤判定に関するサービスレベルの確約事項

スタンダードの本サービスとして、または ECAL Suite もしくは Exchange Enterprise CAL with Services を介してライセンスを取得した Exchange Online および FOPE に関して、お客様は、マイクロソフトが (1) ウイルスの検出およびブロック、(2) 迷惑メール対策の有効性、または (3) 誤判定に対して以下に定めるサービスレベルを満たさない場合、サービス クレジットの適用を受けることができます。これらのサービスレベルのいずれかが満たされない場合、お客様はサービス クレジットの請求を行うことができます。同一のインシデントが原因で Exchange Online または EOP の複数の SLA 指標を満たすことができなかった場合、お客様は、かかるインシデントについて本サービスごとに 1 件のみサービス クレジットの請求を行うことができます。

1. ウイルスの検出およびブロックのサービスレベル

- 「ウイルスの検出およびブロック」は、ウイルスへの感染を防ぐためフィルターによって行われる、ウイルスの検出およびブロックをいいます。「ウイルス」とは既知のマルウェアとして広く定義されるものをいい、ウイルス、ワーム、およびトロイの木馬を含みます。
- 一般に使用されている商用ウイルス スキャン エンジンで検出可能なウイルスであり、かつ、EOP ネットワーク全体でその検出が可能である場合、そのウイルスは既知であるとみなされます。
- 意図しない感染である必要があります。
- ウイルスのスキャンは、EOP ウイルス フィルターによって行わなければならないません。
- EOP では、既知のウイルスに感染している電子メールをお客様に配信する場合、感染をお客様に通知し、お客様と協力して当該ウイルスの特定と除去を行います。結果として感染を防ぐことができた場合、お客様は、ウイルスの検出およびブロックのサービスレベルに基づいてサービス クレジットの適用を受けることはできません。
- ウイルスの検出およびブロックのサービスレベルは、以下には適用されないものとします。
 - スパム、フィッシングその他の詐欺、アドウェアおよびスパイウェアの形式など、電子メールの不正使用の形態がマルウェアとして分類されないもの。この場合、その対象とする性質または限定的な使用によりウイルス対策コミュニティに認識されていないため、ウイルス対策製品によってウイルスとして追跡されません。
 - NDR、通知、または送り返されたメールに含まれるウイルスであって、破損しているもの、不完全なもの、省略されているもの、または動作しないもの。
- ウイルスの検出およびブロック サービスに使用できるサービス クレジットは次のとおりです。感染が発生した場合、当該暦月に当該月間サービス料金の 25% のサービス クレジットを提供します。1 暦月あたりに請求可能な回数は、最大 1 回とします。

2. 迷惑メール対策の有効性のサービスレベル

- 「迷惑メール対策の有効性」は、1 日あたりのフィルタリング システムで検出された受信迷惑メールの割合として定義されます。
- 迷惑メール対策の有効性は、無効なメールボックスへの検出漏れを除いて計算されます。
- 計算の対象となる迷惑メールは、マイクロソフトのサービスが処理したものでなければなりません。破損したもの、形式が不正なもの、または省略されたものは除きます。
- 迷惑メール対策の有効性のサービスレベルは、内容の大部分が英語以外で記載されている電子メールには適用されないものとします。
- お客様は、迷惑メールの分類が主観的なものであることを認め、適切な時期に提供する証拠に基づいてマイクロソフトが誠実に迷惑メール検出率を算出することに同意するものとします。
- 迷惑メール対策の有効性サービスに使用できるサービス クレジットは次のとおりです。

迷惑メール対策の有効性が 99% を下回った 1 暦月中の日数の割合	サービス クレジット
25% 超	25%
50% 超	50%
100%	100%

3. 誤判定のサービスレベル

- 「誤判定」は、1 暦月中にフィルタリング システムで誤って迷惑メールと判定された正規の業務用電子メールの件数が、サービスによって処理されたすべての電子メールの件数に占める比率として定義されます。
- 誤判定されたメッセージは、すべてのヘッダーを含む完全な元のメッセージが不正対策チームに報告されるものとします。
- 誤判定は、有効なメールボックスに送信された電子メールのみに適用されます。

- d. お客様は、誤判定の分類が主観的なものであることを認め、適切な時期に提供する証拠に基づいてマイクロソフトが誠実に誤判定の比率を算出することを了解するものとします。
- e. この誤判定のサービスレベルは、以下には適用されないものとします。

i. 大量配信メール、個人あてのメール、またはポルノ画像を含むメール

ii. 内容の大部分が英語以外で記載されている電子メール

iii. ポリシー ルール、送信者評価フィルタリング、または SMTP 接続フィルターでブロックされる電子メール

iv. 迷惑メール フォルダーに配信される電子メール
- f. 誤判定サービスに使用できるサービス クレジットは次のとおりです。

暦月中の誤判定の比率	サービス クレジット
1:250,000 超	25%
1:10,000 超	50%
1:100 超	100%

付録 B – 稼働時間および電子メール配信に関するサービスレベルの確約事項

スタンドアロンの本サービス、ECAL Suite または Exchange Enterprise CAL with Services としてライセンスを取得した EOP に関して、お客様は、マイクロソフトが (1) 稼働時間および (2) 電子メール配信について以下に定めるサービスレベルを満たさない場合、サービスクレジットの適用を受けることができます。

1. 月間稼働率:

EOP の月間稼働率が特定の月において 99.999% を下回った場合、お客様は次のサービスクレジットの適用を受けることができます。

月間稼働率	サービスクレジット
99.999% 未満	25%
99.0% 未満	50%
98.0% 未満	100%

2. 電子メール配信のサービスレベル:

- 「電子メール配信時間」は、電子メールの配信時間の 1 暦月中の平均 (分) として定義されます。配信時間とは、業務用電子メールが EOP ネットワークに届いてから最初の配信が試行されるまでの経過時間をいいます。
- 電子メール配信時間は 5 分ごとに計測され、記録されます。経過時間が短いものの順に、上位 95% のデータを使用して当該暦月の平均を計算します。
- マイクロソフトは、シミュレーション用またはテスト用の電子メールを使用して、配信時間を計測します。
- 電子メール配信のサービスレベルは、有効な電子メール アカウントに配信される正規の業務用電子メール (大量配信メール以外) のみに適用されます。
- この電子メール配信のサービスレベルは、以下には適用されないものとします。
 - 隔離またはアーカイブを目的とする電子メールの配信
 - 遅延キューにある電子メール
 - サービス妨害攻撃 (DoS)
 - ループメール
- 電子メール配信サービスに使用できるサービスクレジットは次のとおりです。

平均電子メール配信時間 (上記に定義)	サービスクレジット
1 分超	25%
4 分超	50%
10 分超	100%